

食品の安全等に関する県民意識調査

調査結果報告書

群馬県 健康福祉部

目次

第1 調査の概要	5
1 調査目的	5
2 調査機関	5
3 対象者及び回収状況	5
4 調査方法	5
5 調査期間	5
6 報告書の見方	6
第2 調査結果	7
1 回答者属性	7
2 アンケート集計結果	8
2-1 食品の安全性について	8
2-2 将来を見すえて気になるもの	9
2-4 食品の安全性についての関心	10
2-5 最近の食品の安全性についての感じ方	11
2-6 項目別に見た食品の安全性についての感じ方	12
2-7 「食品の安全性への不安」の理由	15
2-8 事業者の取組への信頼感	16
2-9 事業者が食の安全に関する信頼を高めるために取り組むべきこと	17
2-10 食に関して実践していること	18
2-11 消費者が取り組むべきだと思うこと	19
2-12 行政が食の安全に関する信頼を高めるために取り組むべきこと	20
2-13 (1) 生鮮食品の購入時に重視すること	21
2-13 (2) 加工食品の購入時に重視すること	22
2-14 「食中毒予防の3原則」の認知度	23
2-15 ふだん食中毒を予防するために行っていること	24
2-16 「農薬の登録制度」の認知度	25
2-17 農産物への農薬使用についての考え方	26
2-18 食品添加物の使用についての考え方	27
2-19 食物アレルギーの症状についての認知度	28
2-20 家族以外の子どもに食べものを提供する際の食物アレルギーの有無確認	28
2-21 食品表示を確認する頻度	29
2-22 「消費期限」と「賞味期限」の意味と違いの理解	33
2-23 エネルギー等の栄養成分表示の見方	34
2-24 食の安全に関する情報を入手している媒体	35
2-25 群馬県が発信している情報の認知媒体	37
2-26 食品の安全性について理解を深める有効な方法	39
2-27 食品の安全性について知りたい情報	41

自由記入	42
資料編	53
1 集計表	53
2 アンケート画面	72

第1 調査の概要

1 調査目的

本調査は、群馬県食品安全基本計画（2020-2024）が令和6年度末に終期を迎えることから、食品の安全等に関する県民意識を的確に把握し、新計画策定のための基礎資料を得ることを目的とする。

特定の属性の者（製造者、加工者、生産者等食品関係の者）を対象とした調査は別に行わず、インターネットリサーチ会社のサービス利用者やモニター会員から群馬県在住の者を抽出し、任意で回答を得る調査とする。

2 調査機関

群馬県（健康福祉部 食品・生活衛生課）

3 対象者及び回収状況

（1）対象者

群馬県在住の18歳以上の男女 1,500人

（2）回答数及びサンプルの確保と抽出

インターネットリサーチ会社のサービス利用者やモニター会員から構成されるパネル（モニター）から抽出した調査対象者に、ウェブアンケート調査の依頼をかけ、任意で回答していただく。

（3）回収数（サンプル構成）：合計 1,500件

	20代以下	30代	40代	50代	60代以上	計
回収数	300	300	300	300	300	1,500
構成比	20%	20%	20%	20%	20%	100%

4 調査方法

インターネットモニター調査

5 調査期間

令和5年10月6日（金）～10月23日（月）

6 報告書の見方

(1) 図表中の表示について

図表中に表示する「n」は、各設問に該当する総回答数を示しており、図表及び本文中で示される構成率(%)は、これを母数として算出している。

構成比は、すべて小数点第二位を四捨五入し、小数点第一位までを表示している。そのため、表示された構成比の合計が100.0%にならない場合や、構成比の差の値、合計の値が表示された値から算出したものとは異なる場合がある。

図表の見やすさに配慮し、項目表現の一部や、図中の1.0%未満の表示を省略する場合がある。

(2) サンプル数について

設問や回答者の属性によっては、サンプル数(総回答者数n)が少ない場合や、他の属性との差が大きい場合には傾向の把握や比較にあたって留意する必要がある。また、一部の設問は、サンプル数が30未満と少ない場合、参考として掲載している。

(3) 先行する調査との比較について

比較に用いる先行調査とその本文及び図表中の表示を以下に示す。また、本調査については「令和5年度」または「今回」と表示する。

過去2回の調査の概要は以下のとおりとなります。

調査名 実施機関 調査期間 調査方法 回収数 (回収率)	食品の安全等に関する県民意識調査 調査結果報告書 群馬県 健康福祉部 食品安全局 食品安全課 平成30年8～9月 郵送法(督促状送付1回) 一般県民1,016(50.8%)	→「平成30年度」 または 「前回」
調査名 実施機関 調査期間 調査方法 回収数 (回収率)	食品の安全等に関する県民意識調査 調査結果報告書 群馬県 健康福祉部 食品安全局 食品安全課 平成26年8～9月 郵送法(督促状送付1回) 一般県民820(54.7%)	→「平成26年度」 または 「前々回」

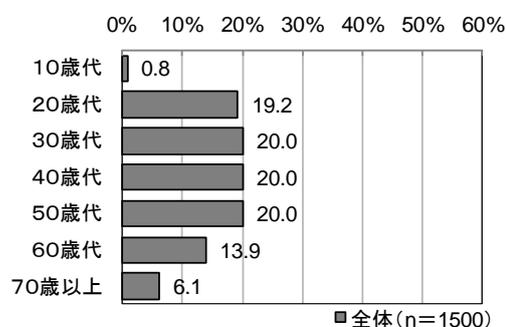
なお、先行する調査は、今回とは選択肢の表現、選択肢の数、選択できる数の設定、調査方法等が異なる点があるため、比較にあたって留意する必要がある。

第2 調査結果

1 回答者属性

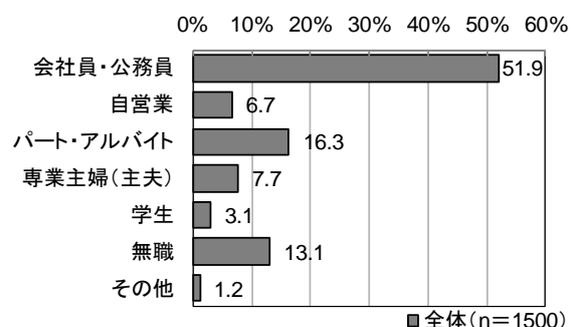
(1) 年代

年代	回答数	%
10歳代	12	0.8
20歳代	288	19.2
30歳代	300	20.0
40歳代	300	20.0
50歳代	300	20.0
60歳代	208	13.9
70歳以上	92	6.1
有効回答数	1,500	100.0



(2) 職業

職業	回答数	%
会社員・公務員	779	51.9
自営業	100	6.7
パート・アルバイト	245	16.3
専業主婦(主夫)	116	7.7
学生	46	3.1
無職	196	13.1
その他	18	1.2
有効回答数	1,500	100.0



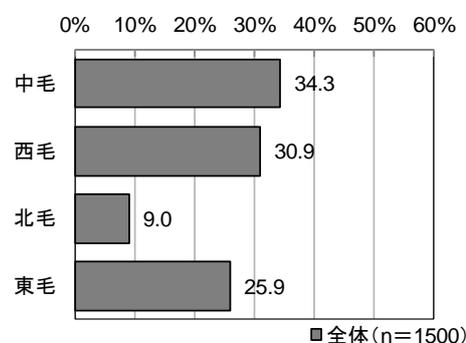
【職業 その他の内訳】

	件数	件数	
医療従事者	3	団体職員	2
投資	2	就労継続支援B型	2
管理人	1	福祉事業所利用者	1

	件数	件数	
契約社員	2	派遣	2
家族従業員	1	スポーツ選手	1
Freelancer	1		

(3) 居住地域

居住地域	回答数	%	該当地域
中毛	514	34.3	前橋市、伊勢崎市、佐波郡
西毛	463	30.9	高崎市、藤岡市、富岡市、安中市、多野郡、甘楽郡
北毛	135	9.0	沼田市、渋川市、北群馬郡、吾妻郡、利根郡
東毛	388	25.9	桐生市、太田市、館林市、みどり市、邑楽郡
有効回答数	1,500	100.0	

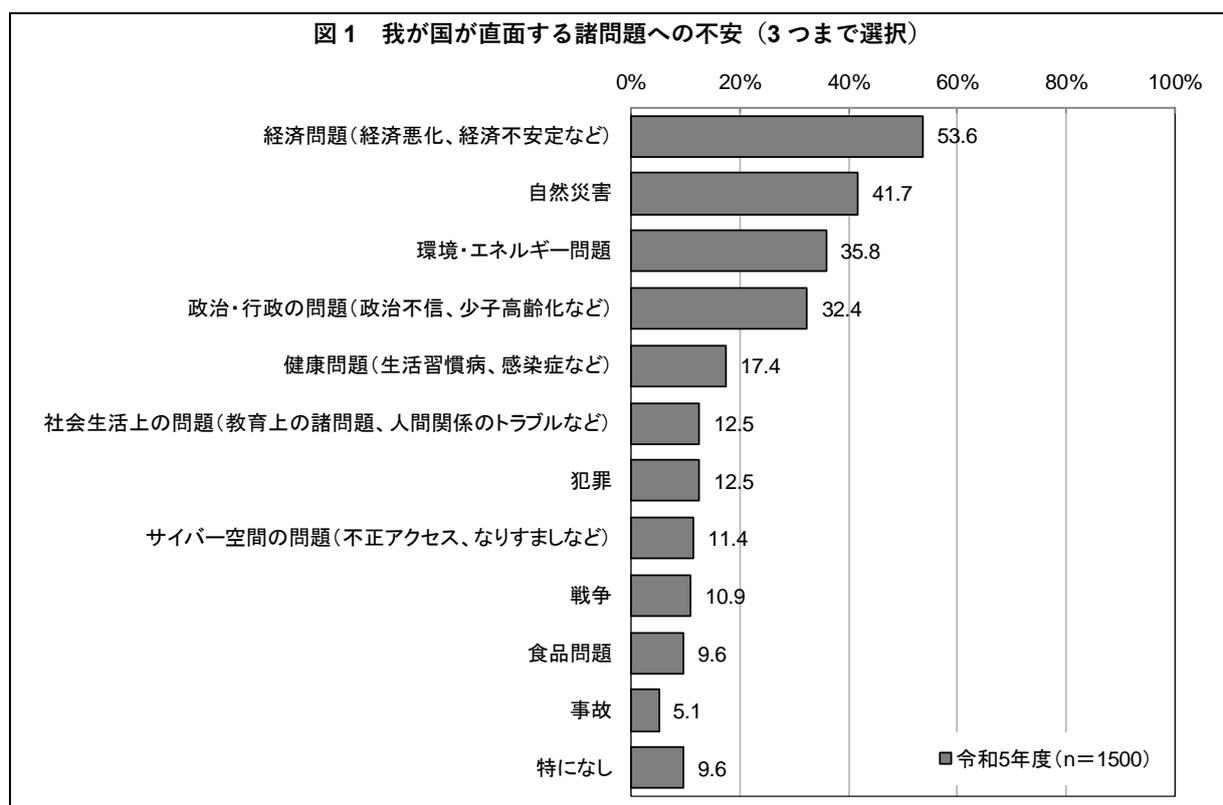


2 アンケート集計結果

2-1 食品の安全性について

問1 我が国が直面している次の諸問題の中で、不安に感じているものはどれですか。
(3つまで選択)

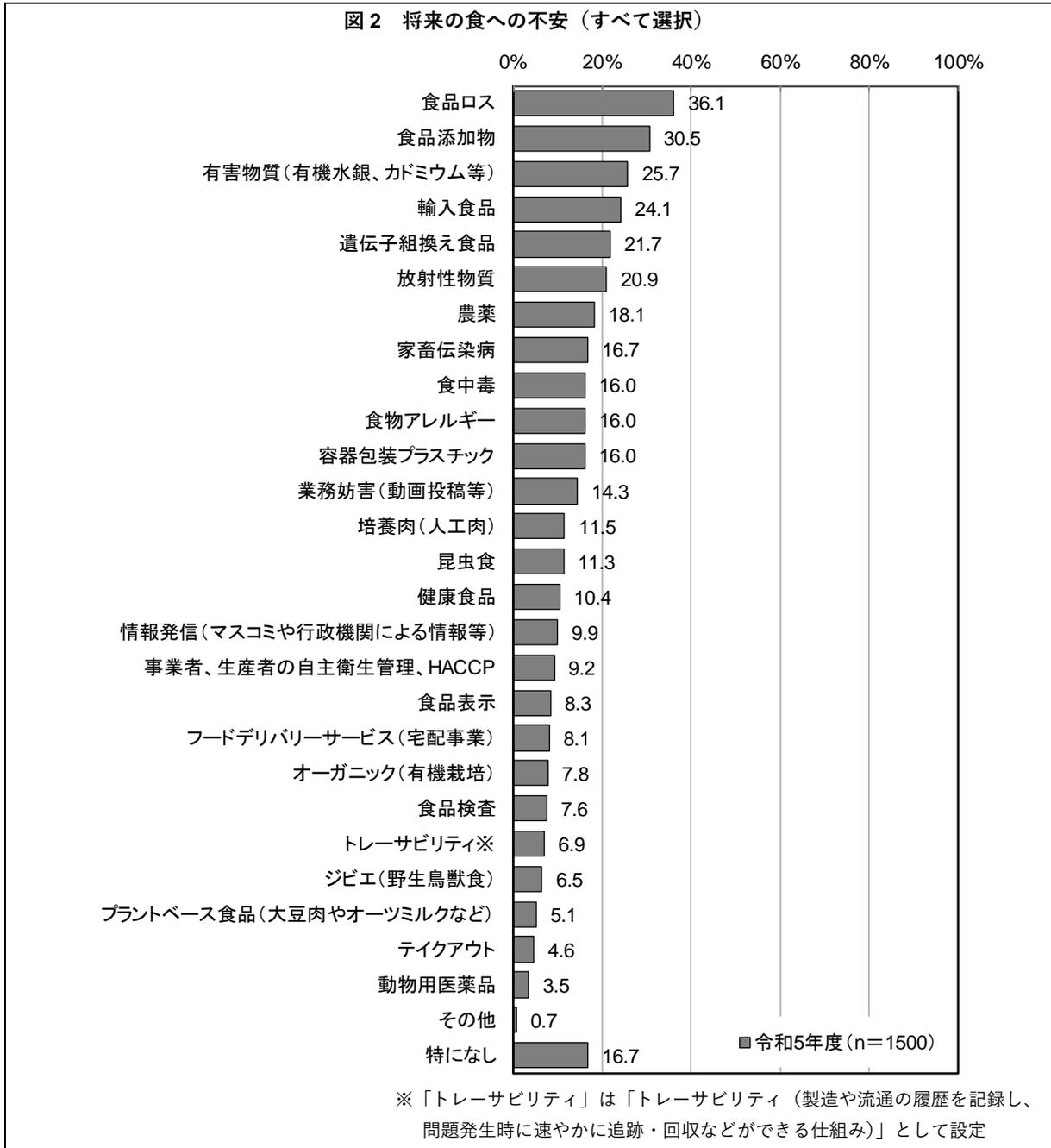
諸問題の中で、不安に感じているものは、「経済問題（経済悪化、経済不安定など）」が53.6%で最も高く、「自然災害」41.7%、「環境・エネルギー問題」35.8%が続いている。



2-2 将来を見すえて気になるもの

問2 食に関連する次の項目について、将来を見すえて、今気になるものをお答えください。
(すべて選択)

将来を見すえて今気になるものは、「食品ロス」が36.1%で最も高く、「食品添加物」30.5%、「有害物質（有機水銀、カドミウム等）」25.7%が続いている。



【その他の主な内容】

	件数		件数		件数
物価	5	自給率	4	食料不足・危機	2

2-4 食品の安全性についての関心

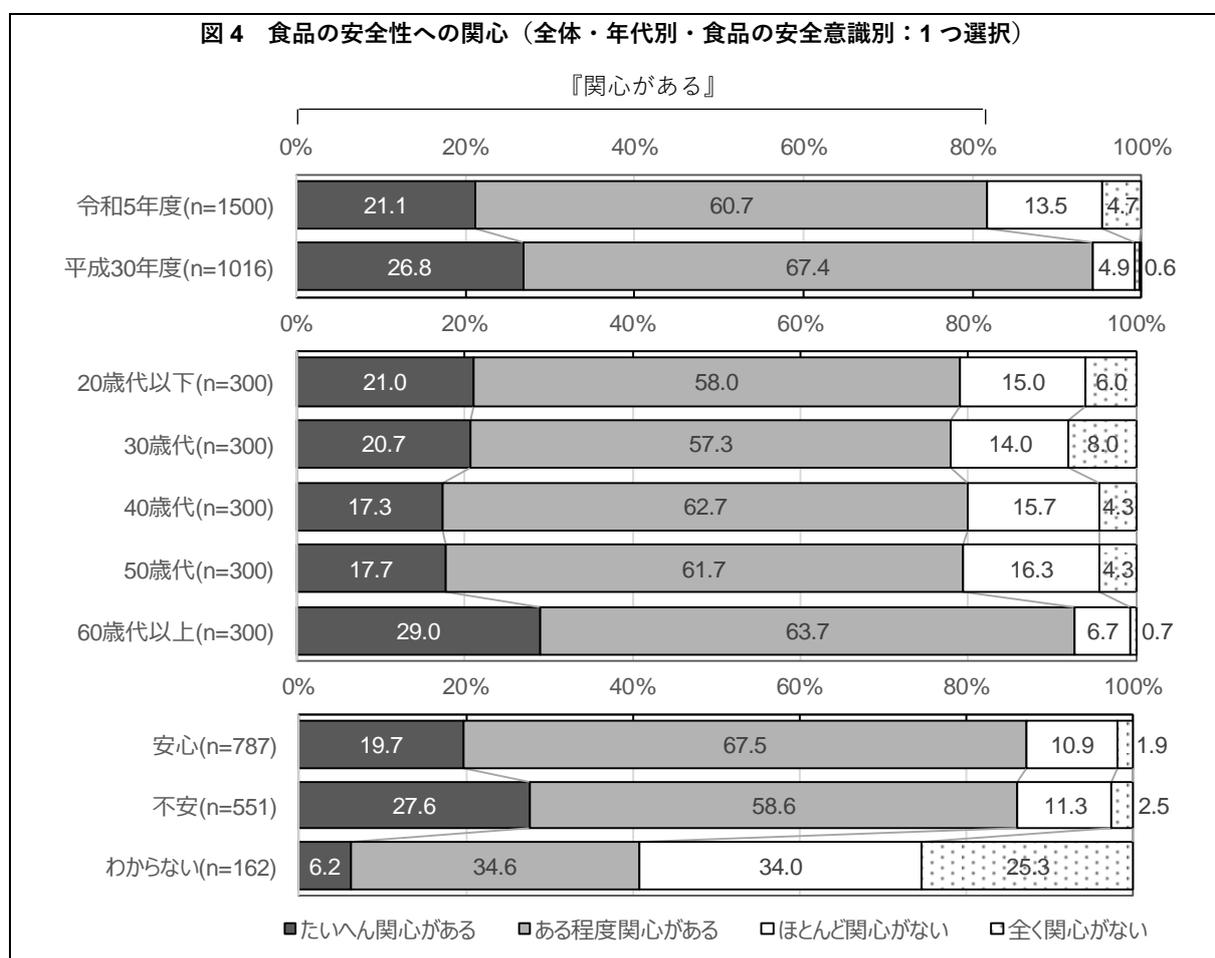
問4 食品の安全性について関心がありますか。(1つ選択)

食品の安全性について、「たいへん関心がある」と「ある程度関心がある」を合わせた『関心がある』とした人の割合は81.8%となっており、平成30年度の94.2%よりも減少している。

「たいへん関心がある」と「ある程度関心がある」を合わせた『関心がある』とした人の割合について年代別では、60歳代以上が92.7%で最も高いが、50歳代以下はそれぞれ約8割となっている。

安全性の意識別で見ると、不安とした人は「たいへん関心がある」が27.6%と最も高くなっている。

図4 食品の安全性への関心（全体・年代別・食品の安全意識別：1つ選択）

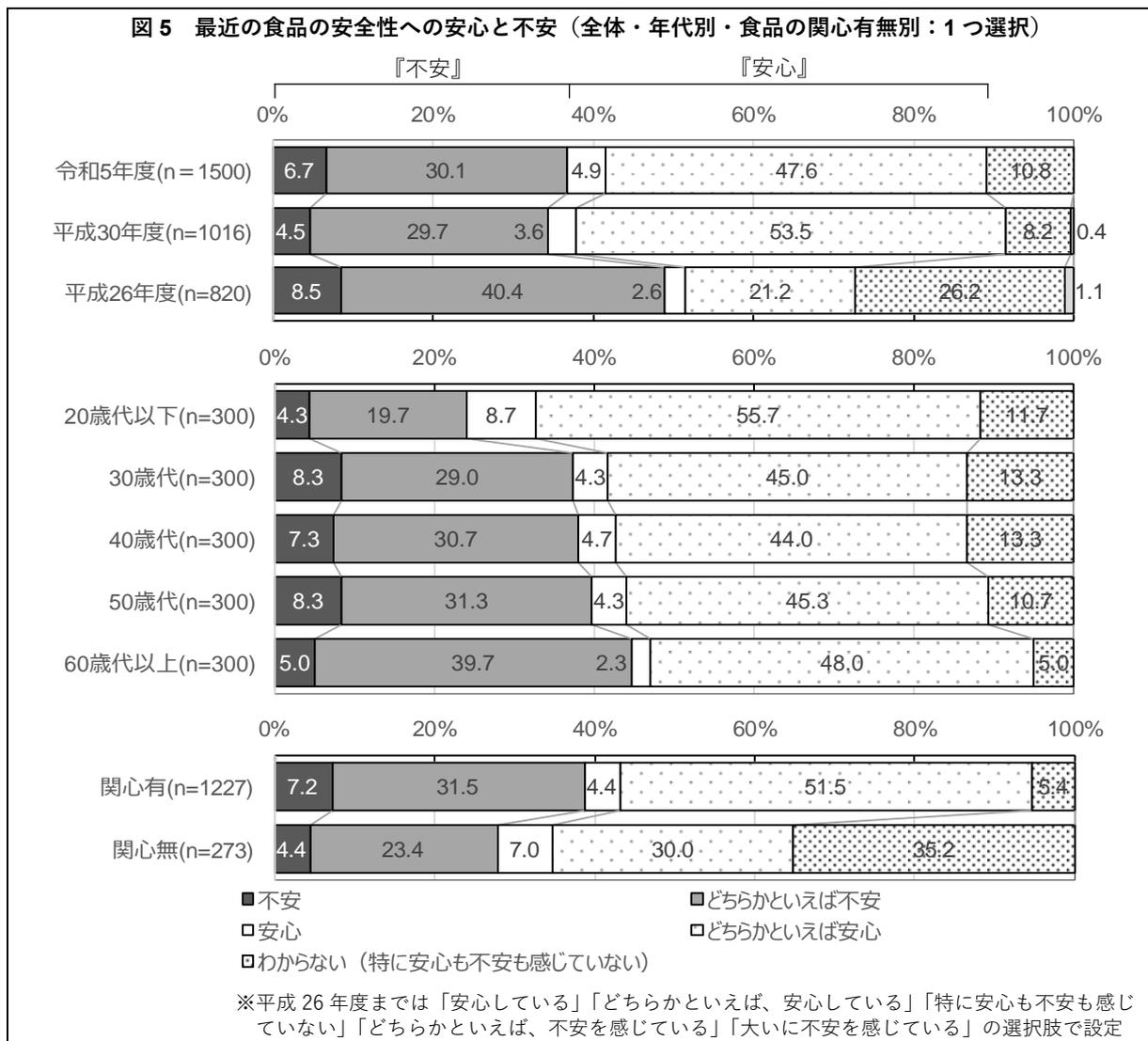


2-5 最近の食品の安全性についての感じ方

問5 最近の食品の安全性について、どのように感じていますか。(1つ選択)

「最近の食品の安全性について感じていること」について過去2回の調査と比較すると、「不安」と「どちらかという不安」を合わせた『不安』とした人の割合は、26年度が48.9%、30年度が34.2%と減少しているが、今回は36.8%と前回よりも微増となっている。一方、「安心」と「どちらかといえば安心」を合わせた『安心』とした人の割合は26年度が23.8%、30年度が57.1%と増加していたが、今回は52.5%と減少している。

年代別では、『不安』とした人の割合は、60歳代以上が44.7%で最も高く、年齢が下がるにつれて低くなっている。また、安全性の関心有無別で見ると、関心有は38.7%と関心無を上回っている。



2-6 項目別に見た食品の安全性についての感じ方

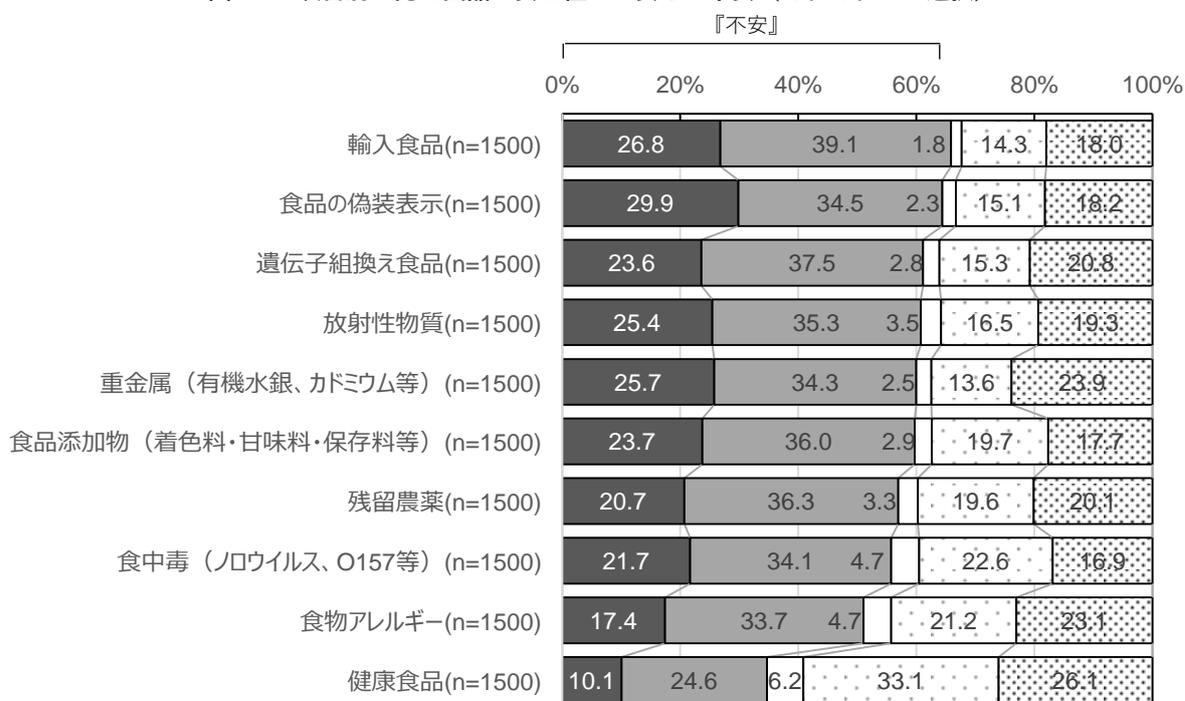
問6 食品の安全性の観点からお答えください。

各項目について、どのように感じていますか。(それぞれ1つ選択)

「食品の安全性について感じていること」について項目別に見ると、「不安」と「どちらかといえば不安」を合わせた『不安』である人の割合が最も高いのは「輸入食品」65.9%で、次いで「食品の偽装表示」64.4%、「遺伝子組換え食品」61.1%の順となっている。(図6-1)

過去2回の調査と比較すると、上位の「輸入食品」「食品の偽装表示」「放射能物質」は『不安』である人の割合が減少しているが、「食物アレルギー」「重金属(有機水銀、カドミウム等)」等は増加している。(図6-2)

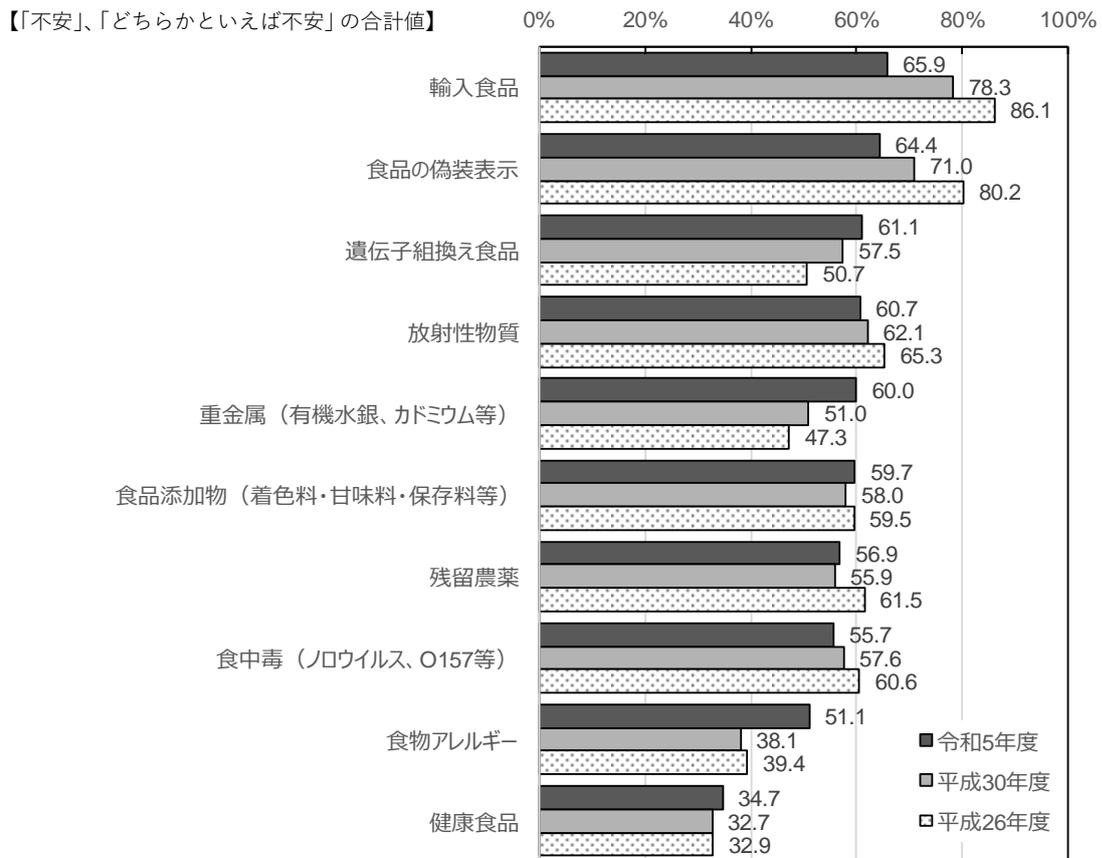
図6-1 項目別に見た食品の安全性への安心と不安(それぞれ1つ選択)



■不安 □どちらかといえば不安 □安心 □どちらかといえば安心 □わからない(特に安心も不安も感じていない)

※「不安」と「どちらかといえば不安」の合計値が高い順に表示

図 6-2 項目別に見た食品の安全性への不安の状況（合計値『不安』）
（それぞれ1つ選択）



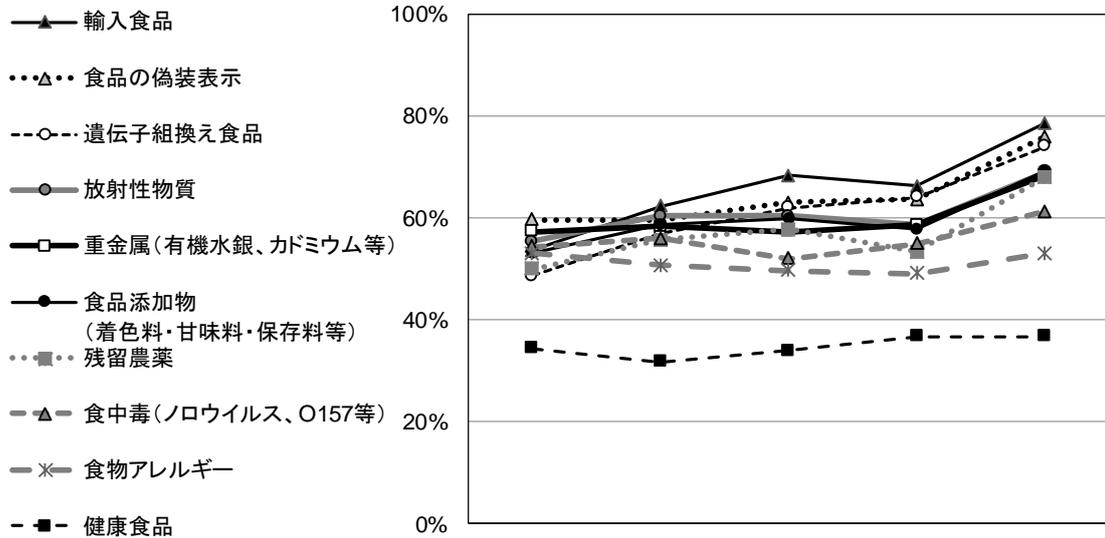
※平成 26 年度は「食物アレルギー」は「食品中のアレルギー物質」として設定
 ※nは無回答を除く
 ※「不安」と「どちらかといえば不安」の合計値が高い順に表示

「不安」と「どちらかといえば不安」を合わせた『不安』である人の割合について年代別に見ると、20歳代以下は「輸入食品」「遺伝子組換え食品」「食品添加物（着色料・甘味料・保存料等）」等で最も低くなっている。一方、「健康食品」はいずれの年代においても3割台と低くなっている。

図 6-3 項目別に見た食品の安全性への不安の状況（合計値『不安』）

（年代別：それぞれ1つ選択）

【「不安」、「どちらかといえば不安」の合計値】



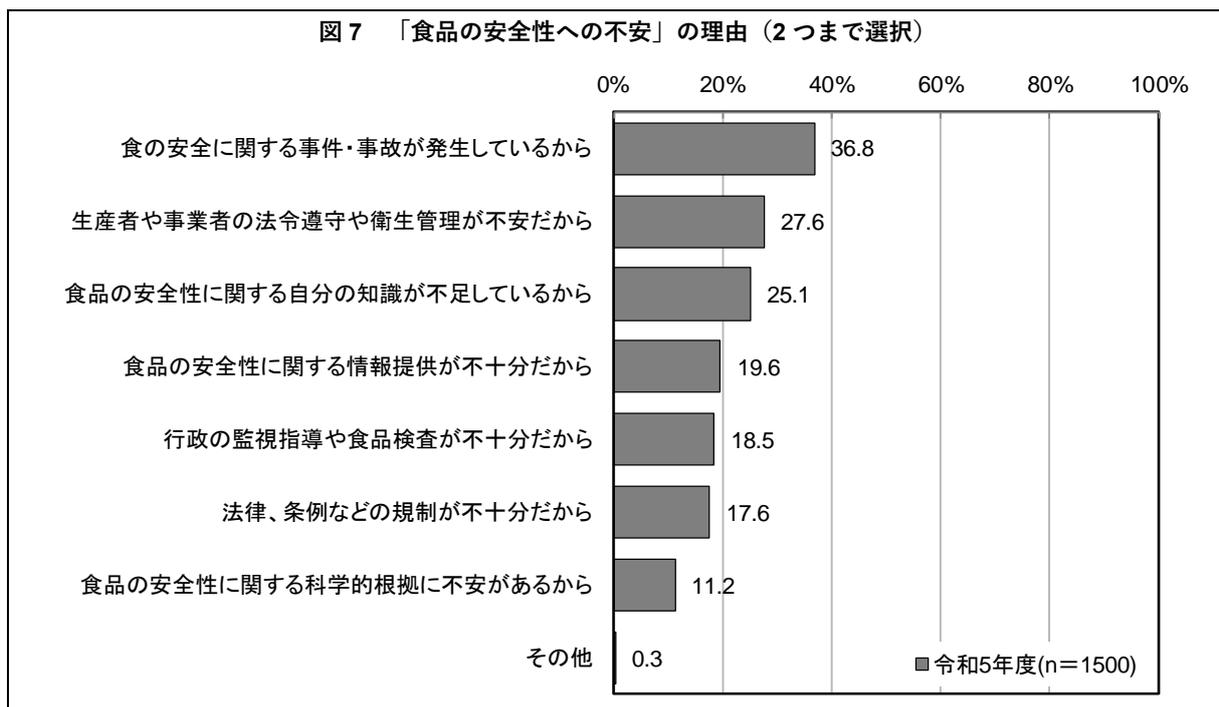
令和5年度 n	年代別					
	全体	20歳代以下	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代以上
輸入食品	65.9	53.7	62.3	68.3	66.3	78.7
食品の偽装表示	64.4	59.7	59.7	63.0	63.7	76.0
遺伝子組換え食品	61.1	48.7	57.0	62.0	64.0	74.0
放射性物質	60.7	55.3	60.3	60.3	58.7	69.0
重金属(有機水銀、カドミウム等)	60.0	57.3	58.3	57.3	58.7	68.3
食品添加物(着色料・甘味料・保存料等)	59.7	53.0	58.7	60.0	57.7	69.3
残留農薬	56.9	50.0	55.7	57.7	53.3	68.0
食中毒(ノロウイルス、O157等)	55.7	54.3	56.0	52.0	55.0	61.3
食物アレルギー	51.1	53.0	50.7	49.7	49.0	53.0
健康食品	34.7	34.3	31.7	34.0	36.7	36.7

※全体で「不安」と「どちらかといえば不安」の合計値が高い順に表示

2-7 「食品の安全性への不安」の理由

問7 不安の理由を選んでください。(2つまで選択)

「不安」と「どちらかといえば不安」を合わせた『不安』である理由について見ると、「食の安全に関する事件・事故が発生しているから」とした人の割合が最も高く(36.8%)、「生産者や事業者の法令遵守や衛生管理が不安だから」(27.6%)、「食品の安全性に関する自分の知識が不足しているから」(25.1%)が続いている。



【その他の主な内容】

- ・日本の添加物に対する規制が全く甘い
- ・社内の基準として問題ないともみ消す。
- ・明らかになるまでわからないから
- ・ニュースになるような表示の改ざんや偽造などがあると不安を感じます。

2-8 事業者の取組への信頼感

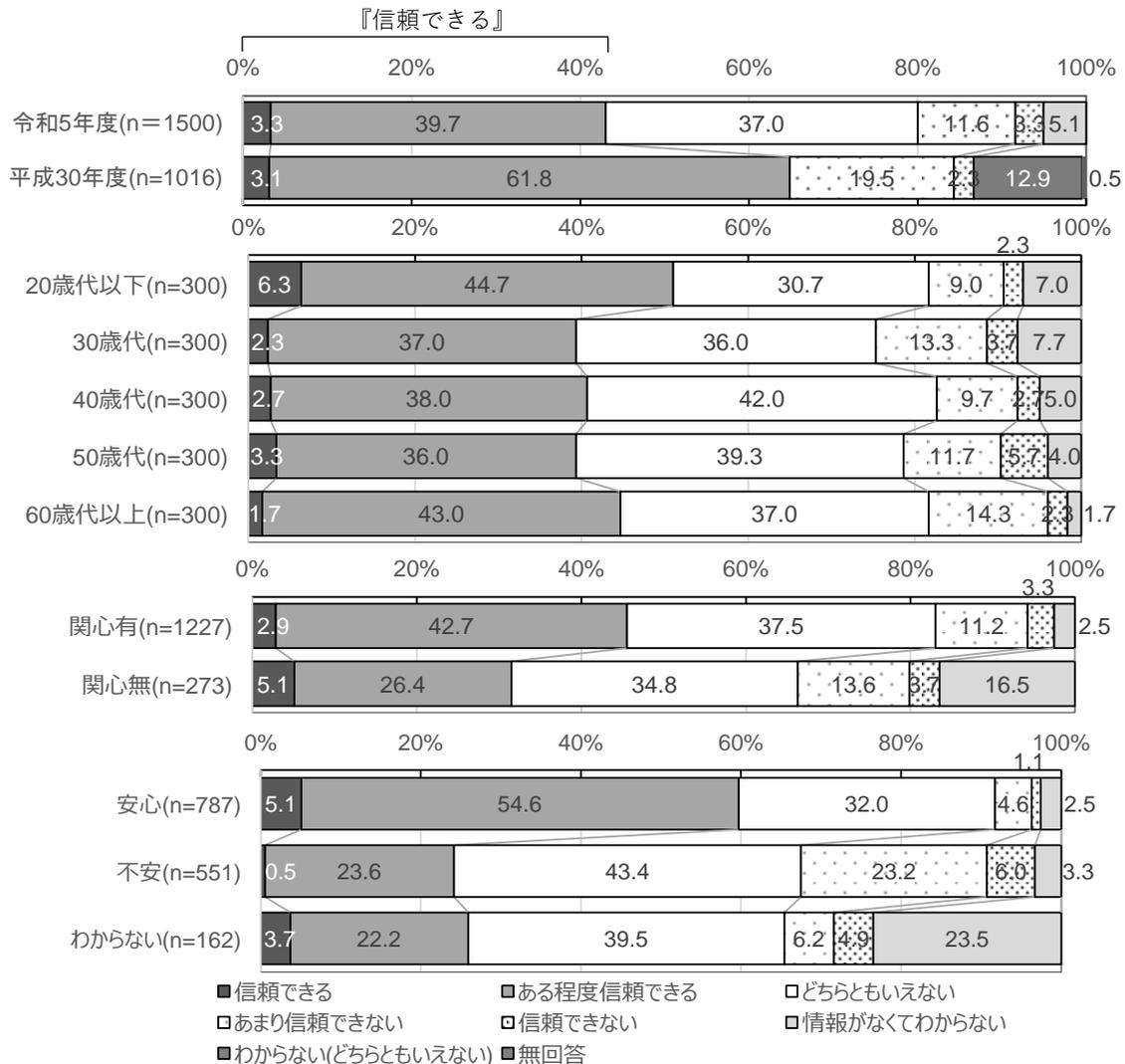
問8 事業者（生産者・食品事業者）が行っている取組について、信頼できると思いますか。
（1つ選択）

事業者（生産者・食品事業者）の食品の安全確保に向けた取組について、「信頼できる」と「ある程度信頼できる」を合わせた『信頼できる』とした人の割合は43.0%で前回（64.9%）よりも減少している。

また、「信頼できない」と「あまり信頼できない」を合わせた『信頼できない』とした人の割合は14.9%で前回（21.8%）よりも減少となっている。

年代別では、「信頼できる」と「ある程度信頼できる」を合わせた『信頼できる』とした人の割合は、20歳代以下が51.0%で最も高く、次いで60歳代以上が44.7%となっている。その他、30歳代から50歳代は、約4割程度となっている。

図8 事業者の取組への信頼感（全体・年代別・食品の関心有無別・食品の安全意識別：1つ選択）

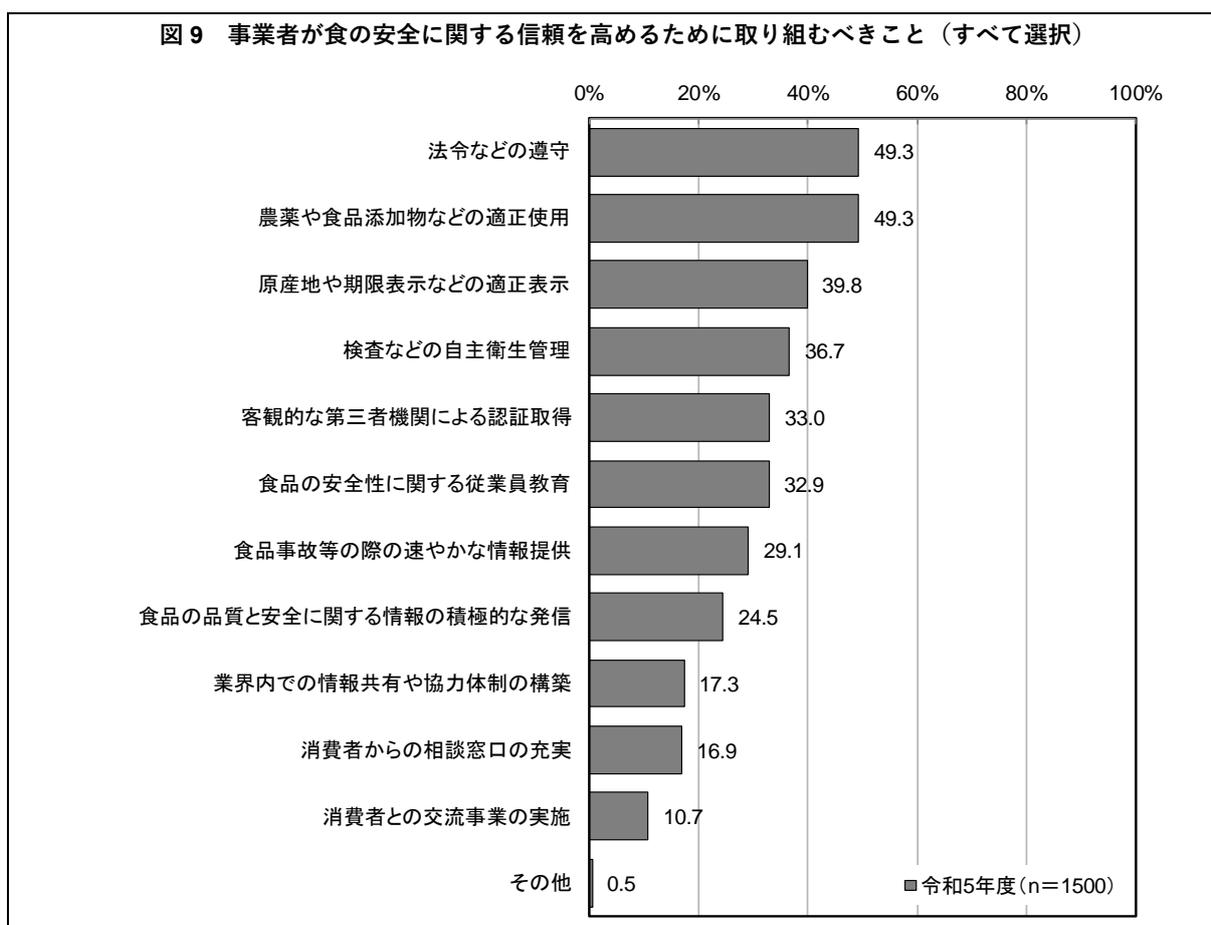


※ 平成30年度は「わからない(どちらともいえない)」として設定

2-9 事業者が食の安全に関する信頼を高めるために取り組むべきこと

問9 食の安全に関する信頼を高めるため、事業者（生産者、食品事業者）はどのようなことに取り組むべきだと思いますか。（すべて選択）

「食の安全に関する信頼を高めるために事業者（生産者・食品事業者）が取り組むべきこと」について、「法令などの遵守」「農薬や食品添加物などの適正使用」とした人の割合がそれぞれ49.3%で最も高く、次いで「原産地や期限表示などの適正表示」が39.8%、「検査などの自主衛生管理」が36.7%となっている。



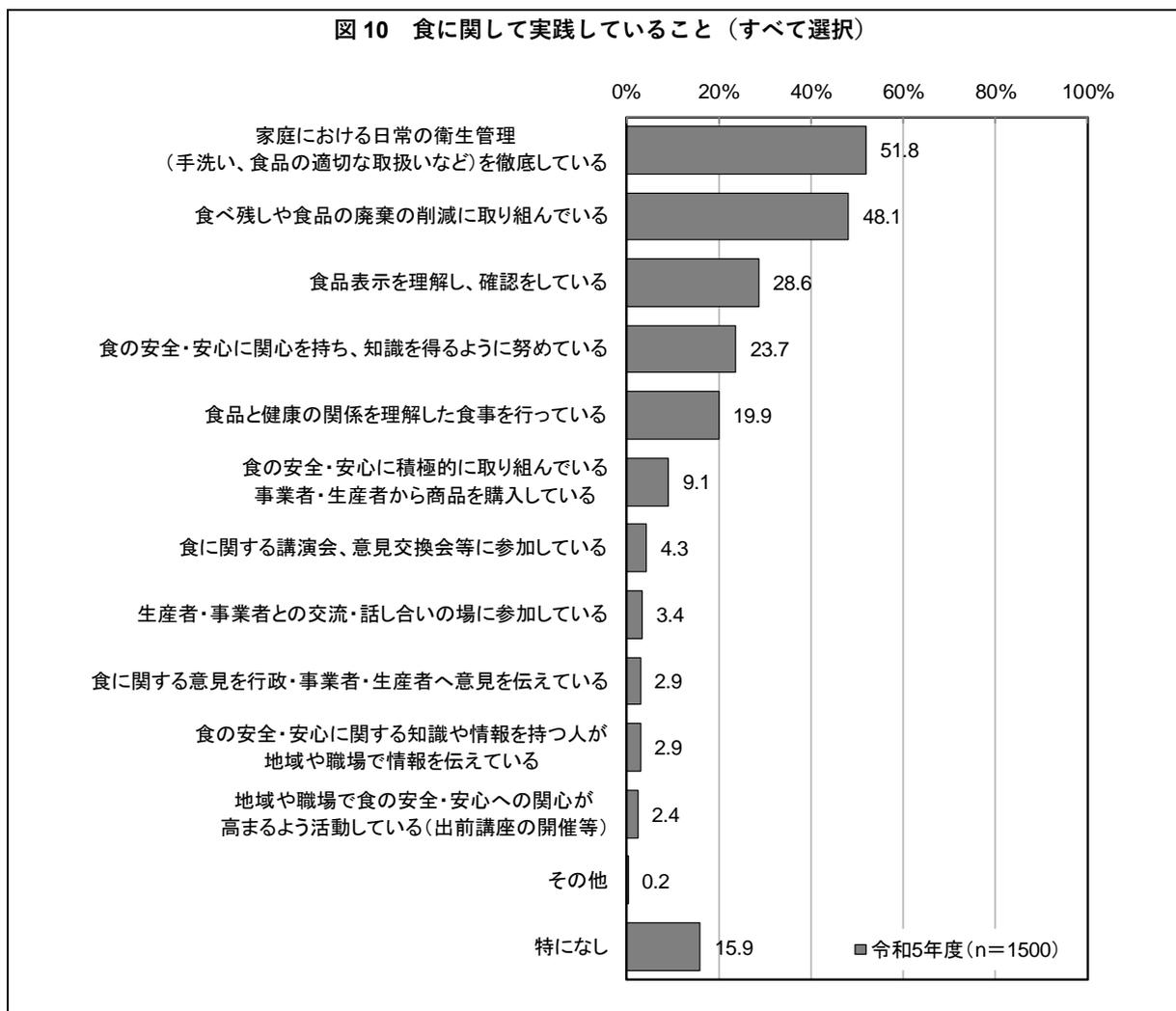
【その他の主な内容】

- | | |
|---------------------|-----------------------------|
| ・法律の改正 | ・違反者への強い罰則 |
| ・業者のモラル | ・政府による売り上げの保証 |
| ・全てが嘘だと思ってるので信用できない | ・食品添加物、農薬を使わない。遺伝子組換えを排除する。 |

2-10 食に関して実践していること

問10 食に関することで、現在どのようなことを実践していますか。(すべて選択)

「食に関して実践していること」については、「家庭における日常の衛生管理（手洗い、食品の適切な取扱いなど）を徹底している」とした人の割合が51.8%で最も高く、次いで「食べ残しや食品の廃棄の削減に取り組んでいる」が48.1%、「食品表示を理解し、確認をしている」が28.6%となっている。



【その他の主な内容】

	件数		件数
家庭菜園	2	自家製	1

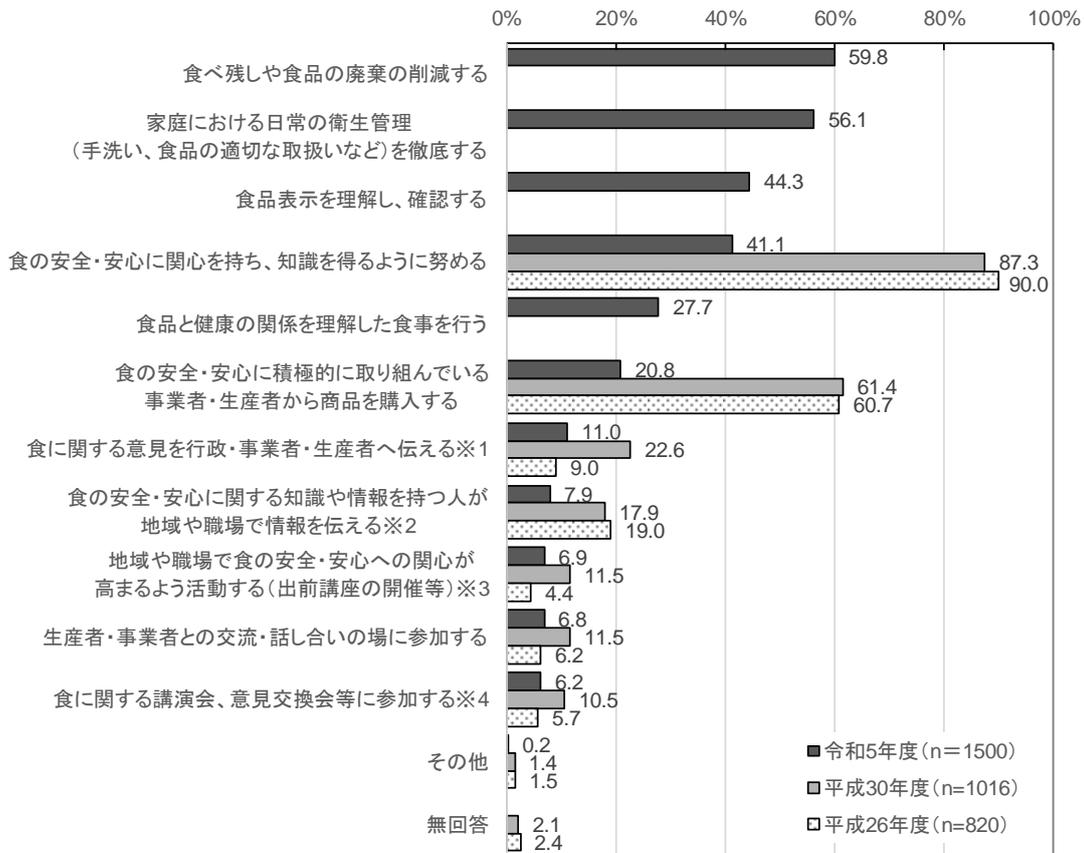
2-1-1 消費者が取り組むべきだと思うこと

問 11 食に関することで、消費者はどのようなことに取り組むべきだと思いますか。

(すべて選択)

「消費者が取り組むべきだと思うこと」は、「食べ残しや食品の廃棄の削減する」とした人の割合が 59.8%で最も高く、次いで「家庭における日常の衛生管理（手洗い、食品の適切な取扱いなど）を徹底する」が 56.1%、「食品表示を理解し、確認する」が 44.3%、「食の安全・安心に関心を持ち、知識を得るように努める」が 41.1%となっている。

図 11 消費者が取り組むべきだと思うこと（すべて選択）



※平成 26 年度は「食の安全確保のため、消費者がすべきことはどんなことだと思いますか」として、平成 30 年度は

「食の安全に関する知識や理解を深めるため、消費者はどのようなことをすべきだと思いますか」として 9 選択肢を設定

※1 平成 26 年度は「食の安全・安心について、行政・事業者・生産者へ提言や意見表明を行う」として、平成 30 年度は「食の安全・安心について、行政・事業者・生産者へ意見を伝える」として設定

※2 平成 26 年度は「食の安全・安心に関する知識を持つ消費者が、地域の消費者に情報を伝える」として設定

※3 平成 26 年度は「消費者相互の連携を図る（グループ活動）」として設定

※4 平成 26 年度・平成 30 年度は「食の安全・安心についての講演会、意見交換会等に参加する」として設定

【その他の主な内容】

・なるべく国産食品を買うようにする

・地消

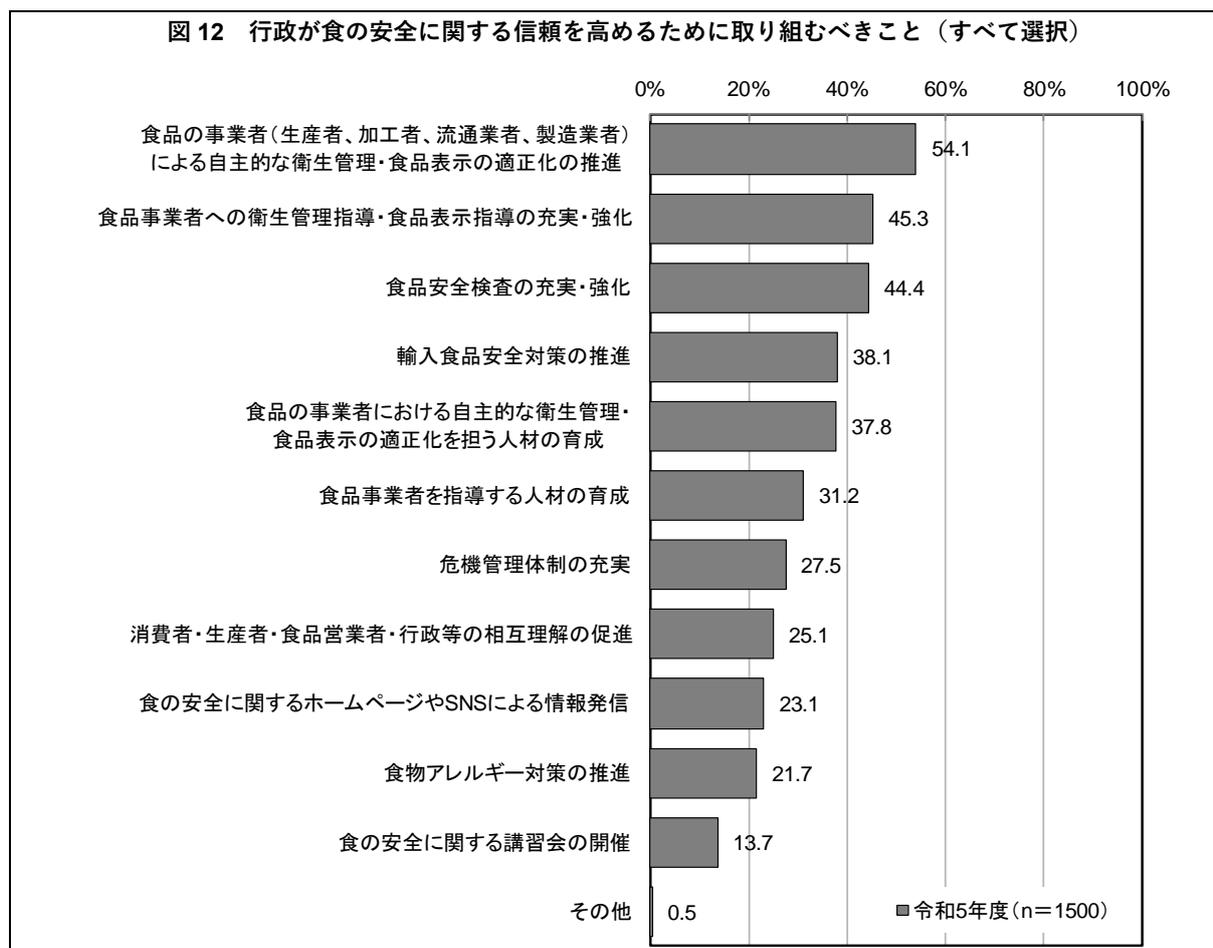
2-12 行政が食の安全に関する信頼を高めるために取り組むべきこと

問 12 食の安全に関して、行政はどのようなことに取り組むべきだと思いますか。

(すべて選択)

「行政が食の安全に関する信頼を高めるために取り組むべきこと」については、「食品の事業者（生産者、加工者、流通業者、製造業者）による自主的な衛生管理・食品表示の適正化の推進」とした人の割合が 54.1%で最も高く、次いで「食品事業者への衛生管理指導・食品表示指導の充実・強化」が 45.3%、「食品安全検査の充実・強化」が 44.4%となっている。

図 12 行政が食の安全に関する信頼を高めるために取り組むべきこと（すべて選択）



【その他の主な内容】

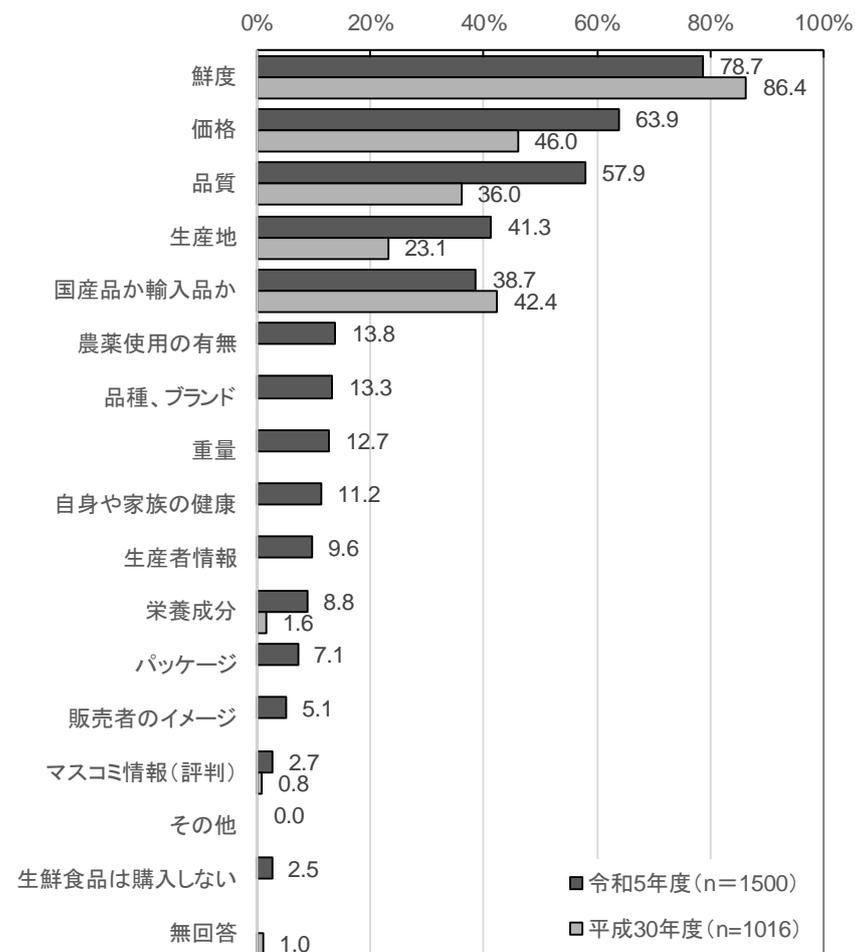
- | | |
|--------------------|-----------|
| ・法律の改正 | ・罰則を決める |
| ・補助金 | ・食品添加物の削減 |
| ・自然農法の推進、支援 | ・売り上げの保証 |
| ・食に対する法律の強化と罰則の厳罰化 | |

2-13 (1) 生鮮食品の購入時に重視すること

問 13 (1) 「生鮮食品」を購入する時、どのようなことを重視しますか。(すべて選択)

「生鮮食品の購入時に重視すること」について、「鮮度」とした人の割合が 78.7%で最も高く、次いで「価格」が 63.9%、「品質」が 57.9%、「生産地」が 41.3%、「国産品か輸入品か」が 38.7%となっている。

図 13 (1) 生鮮食品の購入時に重視すること (すべて選択)



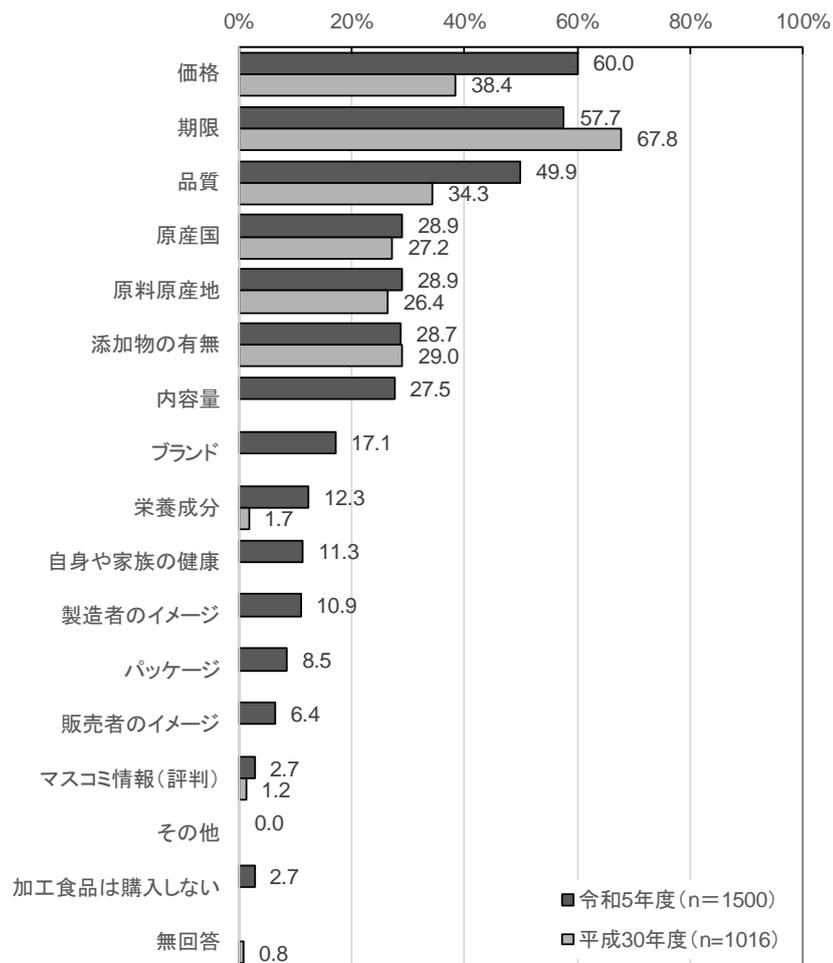
※ 「農薬使用の有無」「品種、ブランド」「重量」「自身や家族の健康」「生産者情報」「パッケージ」「販売者のイメージ」「その他」「生鮮食品は購入しない」は令和5年度のみ設定。また、「安全性」「外観」「販売者の社会的信用度」「生産者や生産履歴」「生産者の社会的信用度」(いずれも非表示)は平成30年度のみ設定

2-13 (2) 加工食品の購入時に重視すること

問 13 (2) 「加工食品」を購入する時、どのようなことを重視しますか。(すべて選択)

「加工食品の購入時に重視すること」については、「価格」とした人の割合が 60.0%で最も高く、次いで「期限」が 57.7%、「品質」が 49.9%となっている。

図 13 (2) 加工食品の購入時に重視すること (すべて選択)



※ 「内容量」「ブランド」「自身や家族の健康」「製造者のイメージ」「パッケージ」「販売者のイメージ」「その他」「加工食品は購入しない」は令和5年度のみ設定。また、「安全性」「製造者の社会的信用度」「販売者の社会的信用度」「外観」(いずれも非表示)は平成30年度のみ設定

2-14 「食中毒予防の3原則」の認知度

問 14 食中毒にならないようにするための「食中毒予防の3原則」を知っていましたか。
(1つ選択)

「食中毒予防の3原則」について、「よく知っていた」と「ある程度知っていた」を合わせた『知っていた』とした人の割合（認知度）は42.0%となっている。

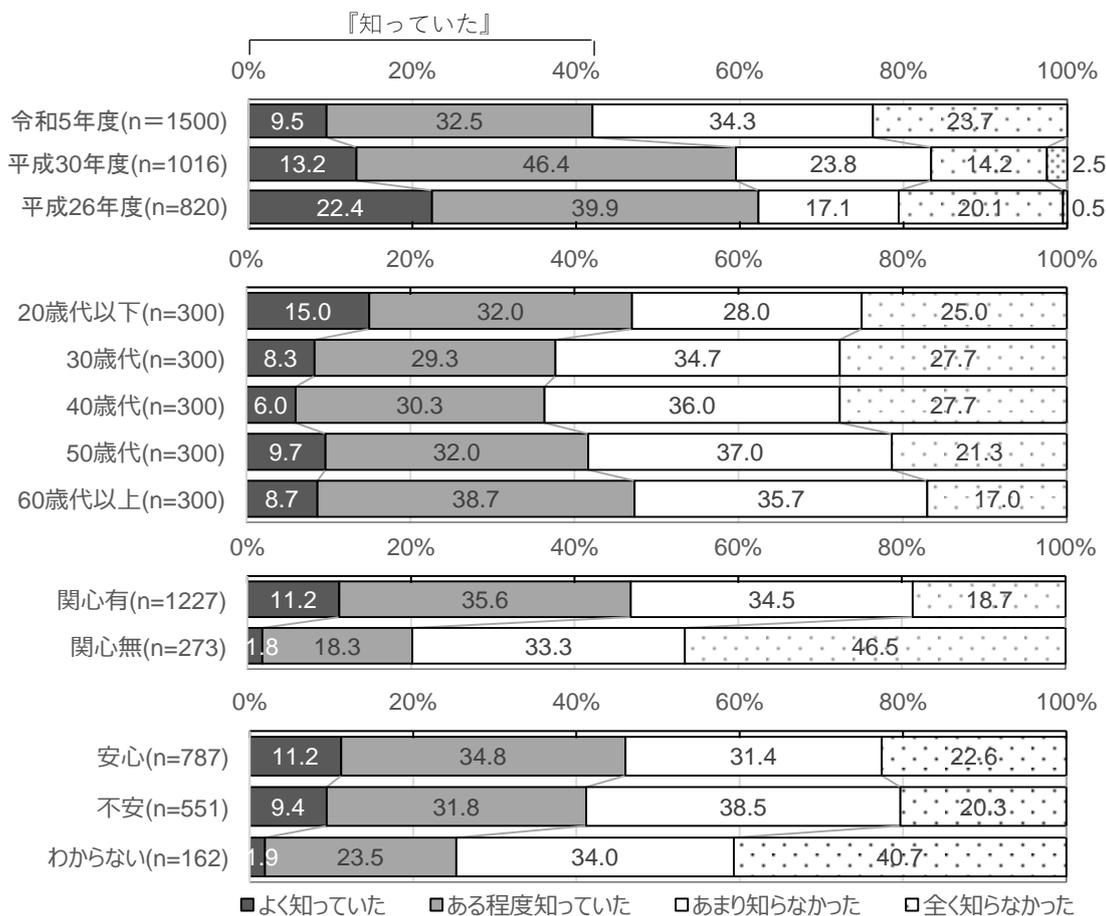
過去2年調査の認知度と比較すると低くなっている。

年代別の認知度は、60歳代以上47.4%、20歳代以下47.0%が高く、50歳代が41.7%と続いている。一方、40歳代が36.3%で最も低くなっている。

なお、20歳代以下では「よく知っていた」とした人の割合が15.0%で最も高くなっている。安全性の関心有無別で認知度を見ると、関心有が46.8%で高くなっている。

安全性の意識別で認知度を見ると、安心とした人は46.0%で高くなっている。

図 14 「食中毒予防の3原則」の認知度（全体・年代別・食品の関心有無別・食品の安全意識別：1つ選択）



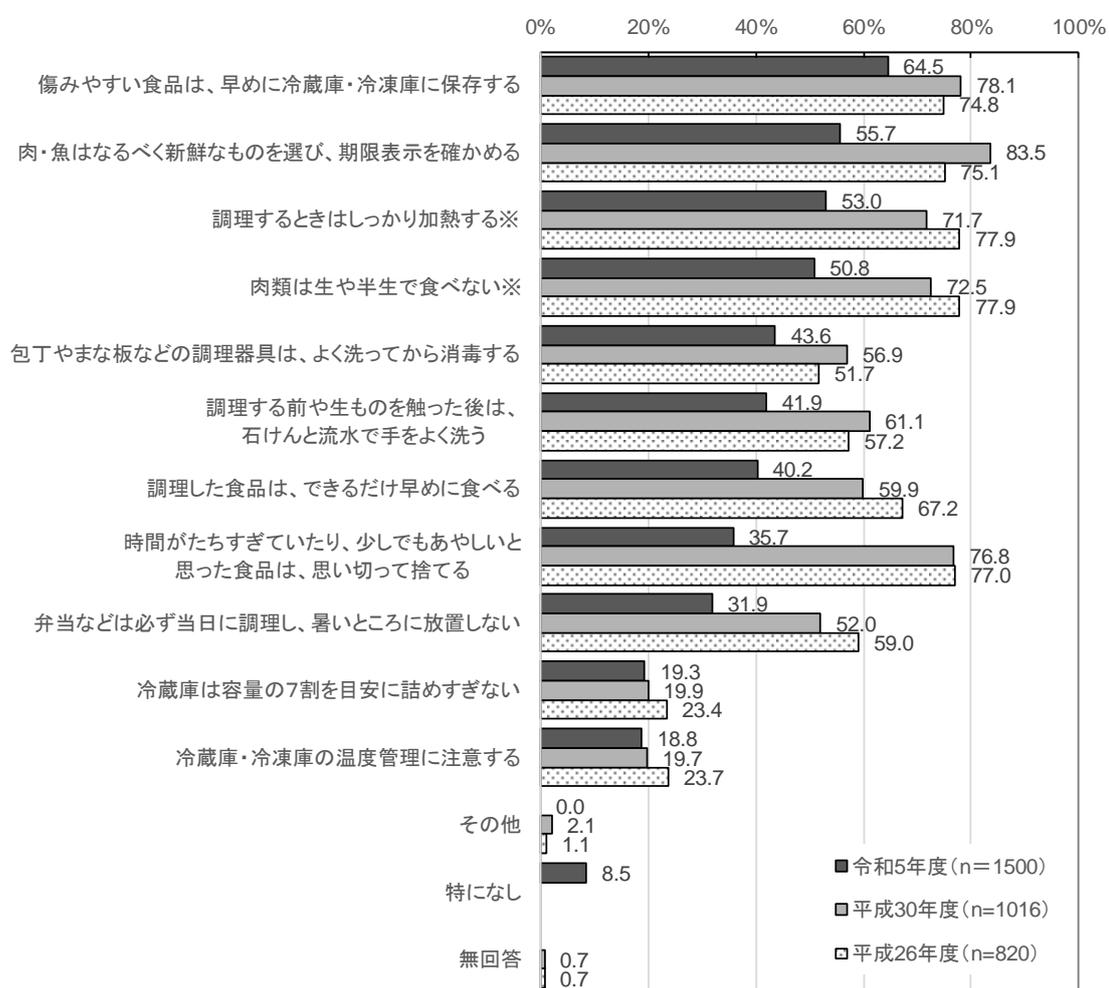
※平成26年度は「知っていた」「ある程度知っていた」「あまり知らなかった」「知らなかった」として設定

2-15 ふだん食中毒を予防するためにしていること

問 15 ふだん、食中毒を予防するために、どのようなことを行っていますか。(すべて選択)

「ふだん、食中毒を予防するためにしていること」について、「傷みやすい食品は、早めに冷蔵庫・冷凍庫に保存する」とした人の割合が64.5%で最も高く、次いで「肉・魚はなるべく新鮮なものを選び、期限表示を確かめる」が55.7%、「調理するときはしっかり加熱する」が53.0%、「肉類は生や半生で食べない」が50.8%となっている。一方、「冷蔵庫は容量の7割を目安に詰めすぎない」は19.3%、「冷蔵庫・冷凍庫の温度管理に注意する」は18.8%で低くなっている。

図 15 ふだん食中毒を予防するためにしていること (すべて選択)

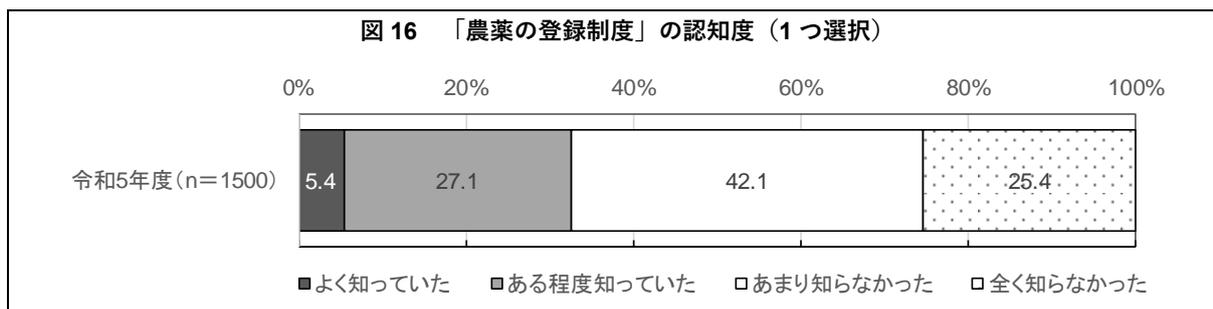


※ 「肉類は生や半生で食べない」「調理するときはしっかり加熱する」は平成26年度では合わせて「加熱は中心までよく火を通し、特に肉類は生で食べない」として設定

2-16 「農薬の登録制度」の認知度

問 16 農薬取締法により、農薬は、使用できる作物や使用できる時期・量など、決められた使用基準のとおりにより使用すれば、安全である仕組み（農薬の登録制度）になっています。この安全である仕組み（農薬の登録制度）について知っていましたか。（1つ選択）

「安全である仕組み（農薬の登録制度）」について、「よく知っていた」と「ある程度知っていた」を合わせた『知っていた』とした人の割合（認知度）は32.5%となっている。



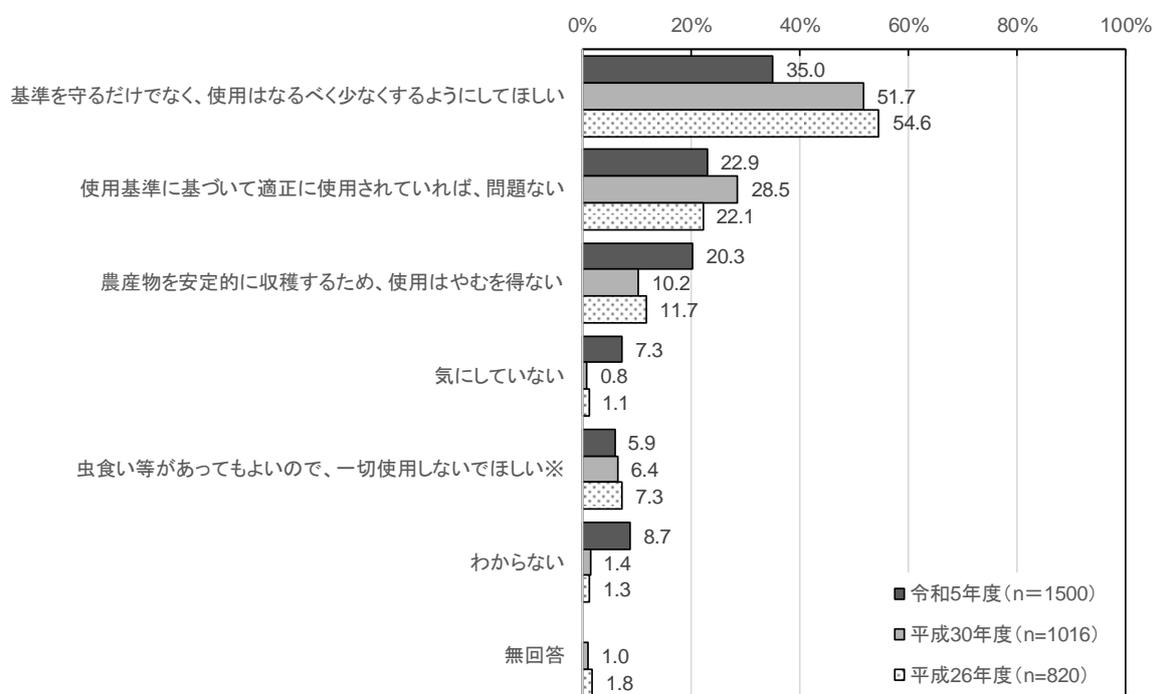
2-17 農産物への農薬使用についての考え方

問 17 農産物への農薬の使用について、どのように考えますか。(1つ選択)

「農産物への農薬使用」について、「基準を守るだけでなく、使用はなるべく少なくするようにしてほしい」とした人の割合が 35.0%で最も高く、次いで「使用基準に基づいて適正に使用されていれば、問題ない」が 22.9%となっている。

過去2年の調査と比較すると、「基準を守るだけでなく、使用はなるべく少なくするようにしてほしい」は大きく減少している一方、「農産物を安定的に収穫するため、使用はやむを得ない」は過去2回の調査から大きく増加している。

図 17 農産物への農薬使用についての考え方 (1つ選択)



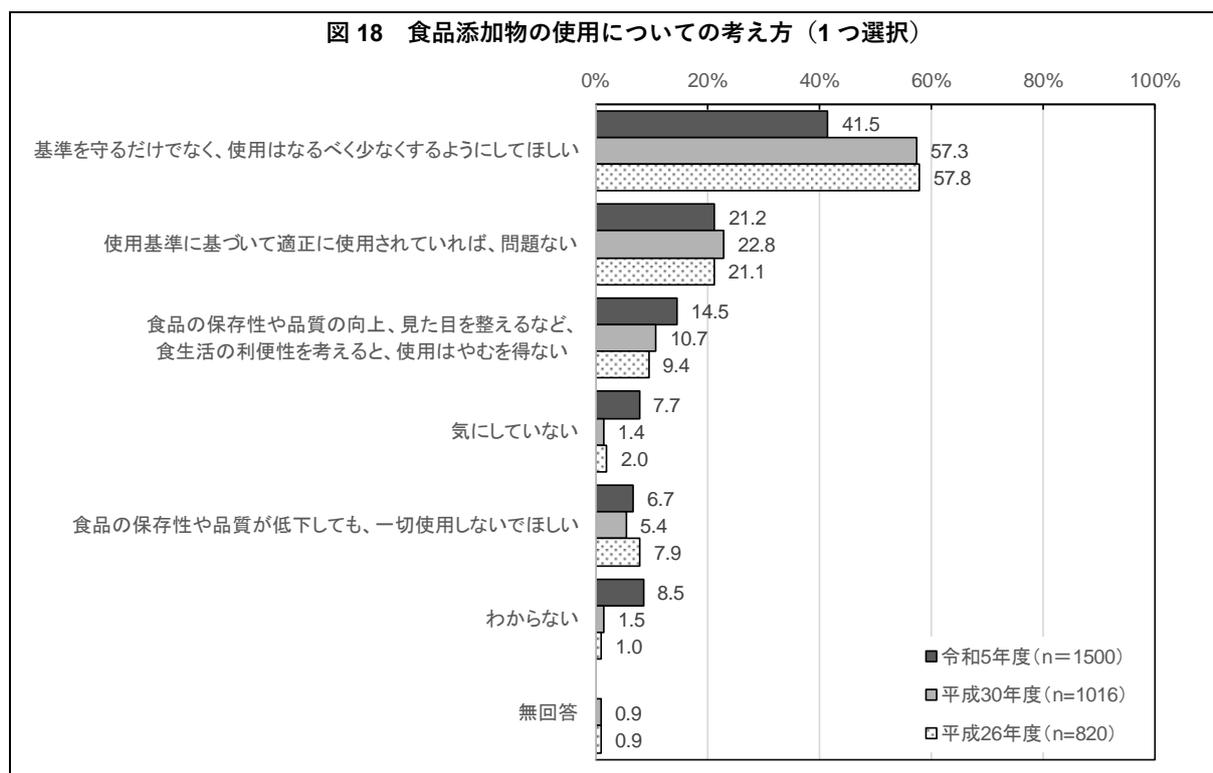
※「虫食い等があってもよいので、一切使用しないでほしい」は平成26年度・平成30年度では「価格が高くなっても、見栄えが悪くなっても、一切使用しないでほしい」として設定

2-18 食品添加物の使用についての考え方

問 18 食品添加物の使用について、どのように考えますか。(1つ選択)

「食品添加物の使用」について、「基準を守るだけでなく、使用はなるべく少なくするようにしてほしい」とした人の割合が 41.5%で最も高く、次いで「使用基準に基づいて適正に使用されていれば、問題ない」が 21.2%となっている。

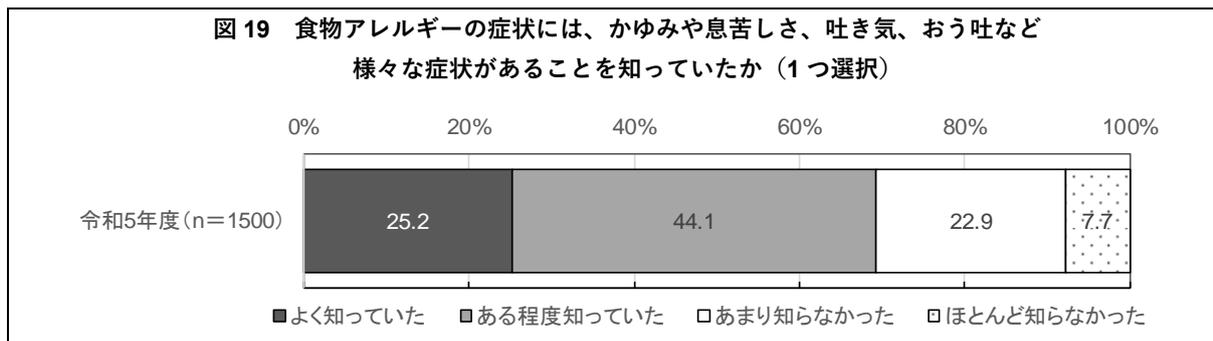
過去 2 回の調査と比較すると、最も高い「基準を守るだけでなく、使用はなるべく少なくするようにしてほしい」は大きく減少している。



2-19 食物アレルギーの症状についての認知度

問 19 食物アレルギーの症状には、かゆみや息苦しさ、吐き気、おう吐など様々な症状があることを知っていましたか。(1つ選択)

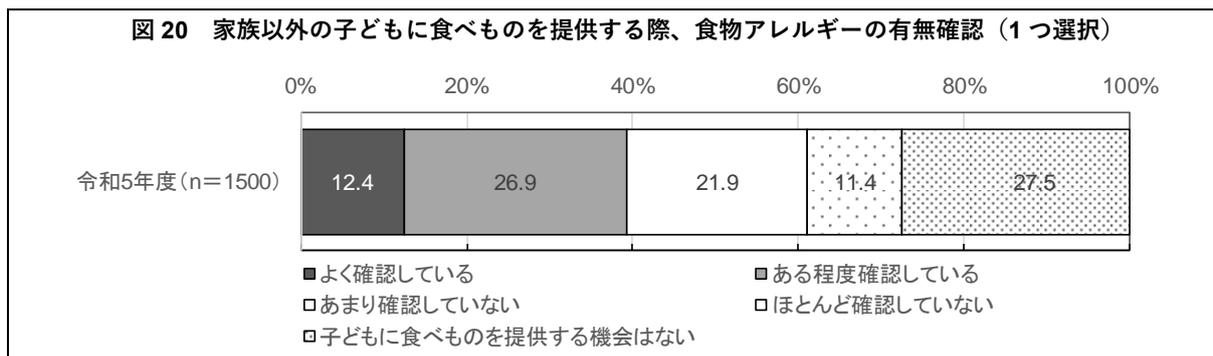
「食物アレルギーの症状の内容認知」について「知っていた」とした人の割合は 69.3%となっている。



2-20 家族以外の子どもに食べものを提供する際の食物アレルギーの有無確認

問 20 家族以外の子どもに食べものを提供する際、食物アレルギーの有無を確認していますか。(回答は1つだけ)

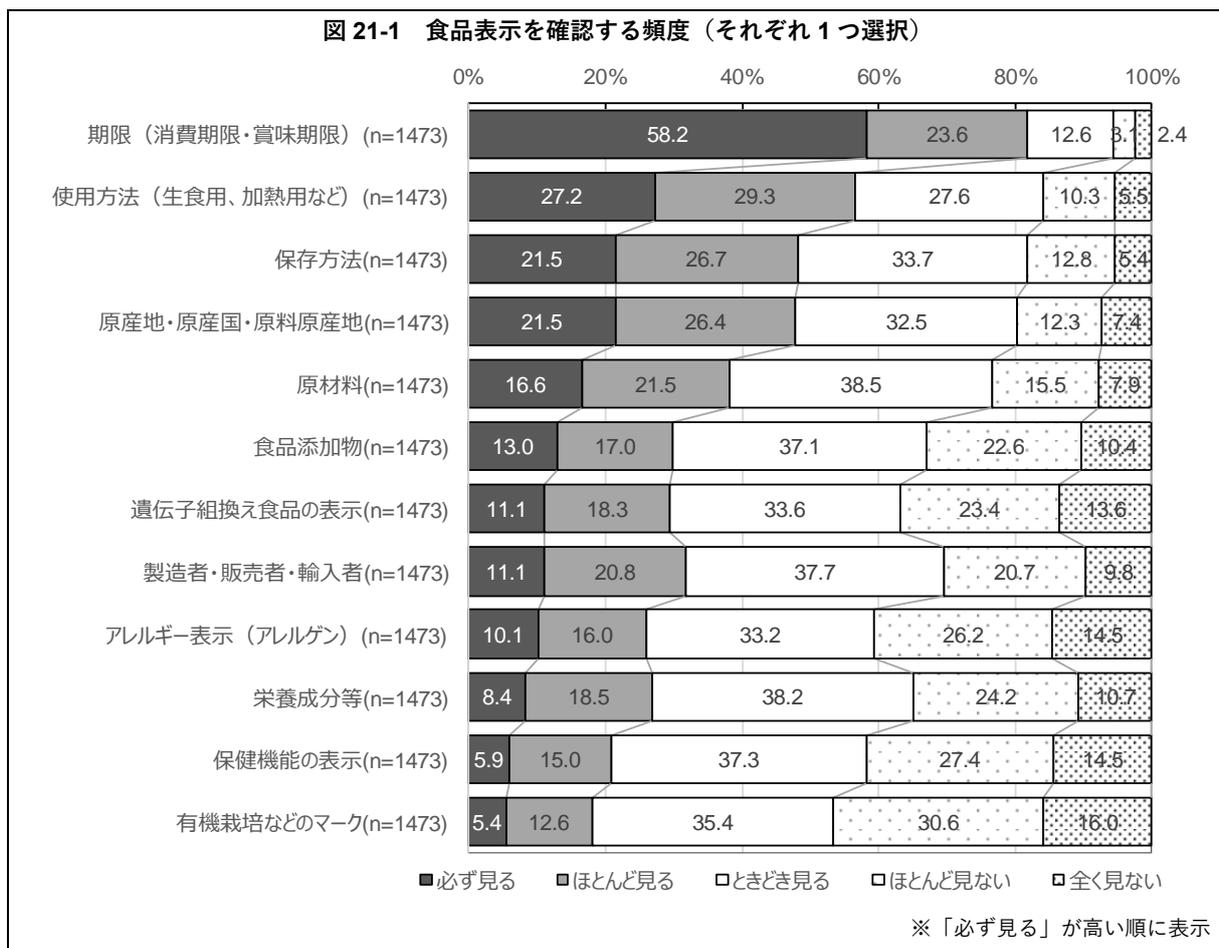
「家族以外の子どもに食べものを提供する際、食物アレルギーの有無を確認している」とした人の割合は 39.3%となっている。



2-21 食品表示を確認する頻度

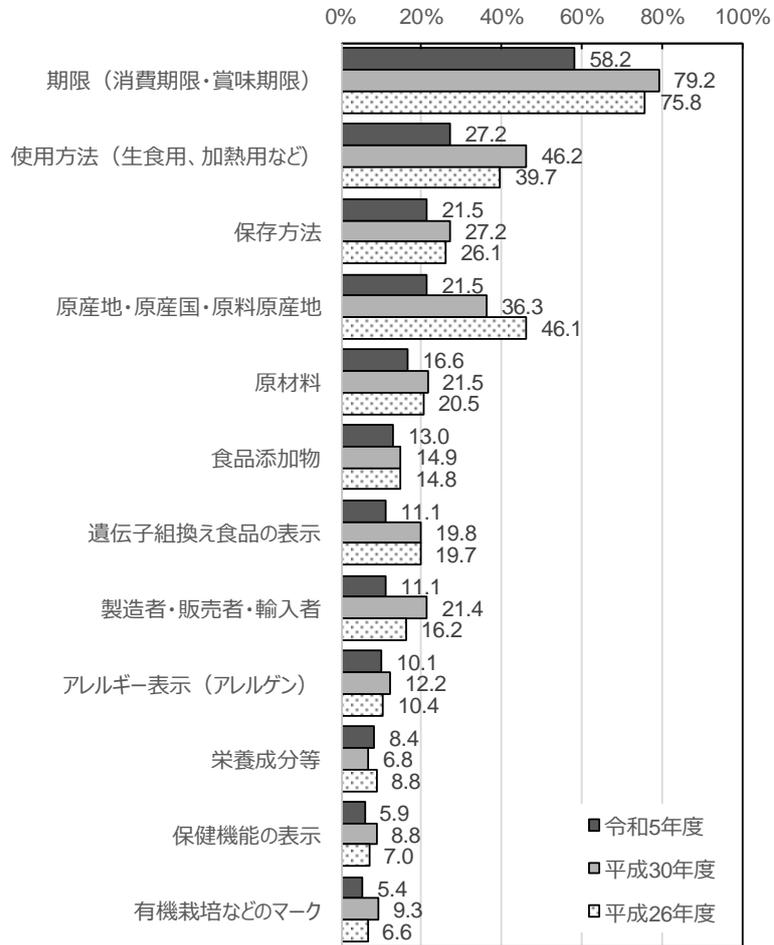
問 21 食品を購入する時、以下の表示について、どのくらい見るようにしていますか。
(それぞれ1つ選択)

食品を購入する際、表示を確認する頻度について「必ず見る」とした人の割合で比較すると、「期限（消費期限・賞味期限）」が58.2%で最も高く、次いで「使用方法（生食用、加熱用など）」が27.2%となっている。一方、「有機栽培などのマーク」が5.4%で最も低く、次いで「保健機能の表示」が5.9%となっている。



「必ず見る」とした人の割合について前回と比較すると、上位の「期限(消費期限・賞味期限)」、「使用方法(生食用、加熱用など)」は過去2回の調査よりも大きく減少しており、「原産地・原産国・原料原産地」は年々減少している。

図 21-2 食品表示を「必ず見る」とした人の割合(1つ選択)



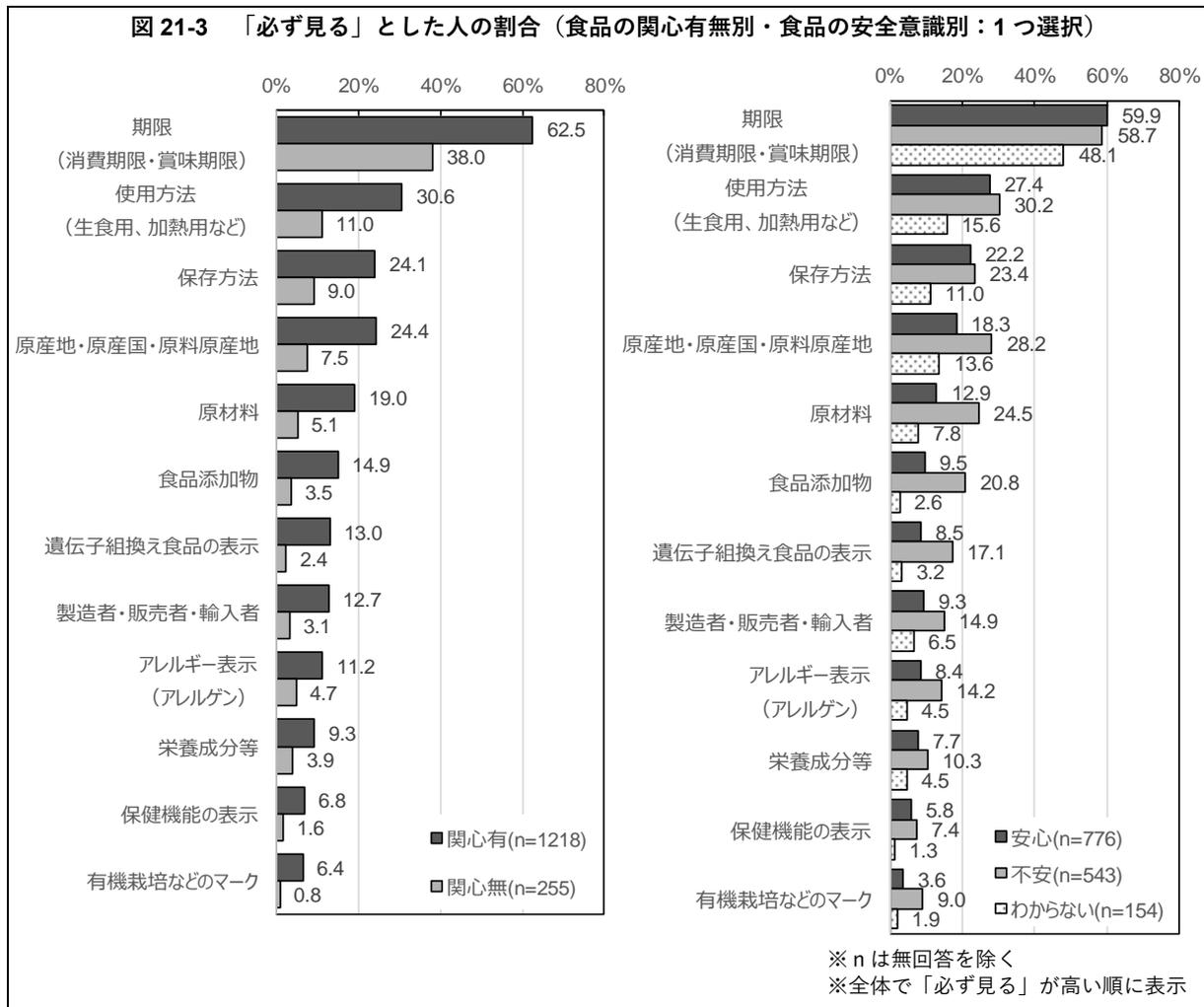
※nは無回答を除く

※全体で「必ず見る」が高い順に表示

※平成26年度では、「製造者・販売者・輸入者」は「製造者・販売者」、「有機栽培などのマーク」は「有機JASマークなどの食品関係マーク」、「アレルギー表示(アレルゲン)」は「アレルギー物質を含む食品の表示」として設定

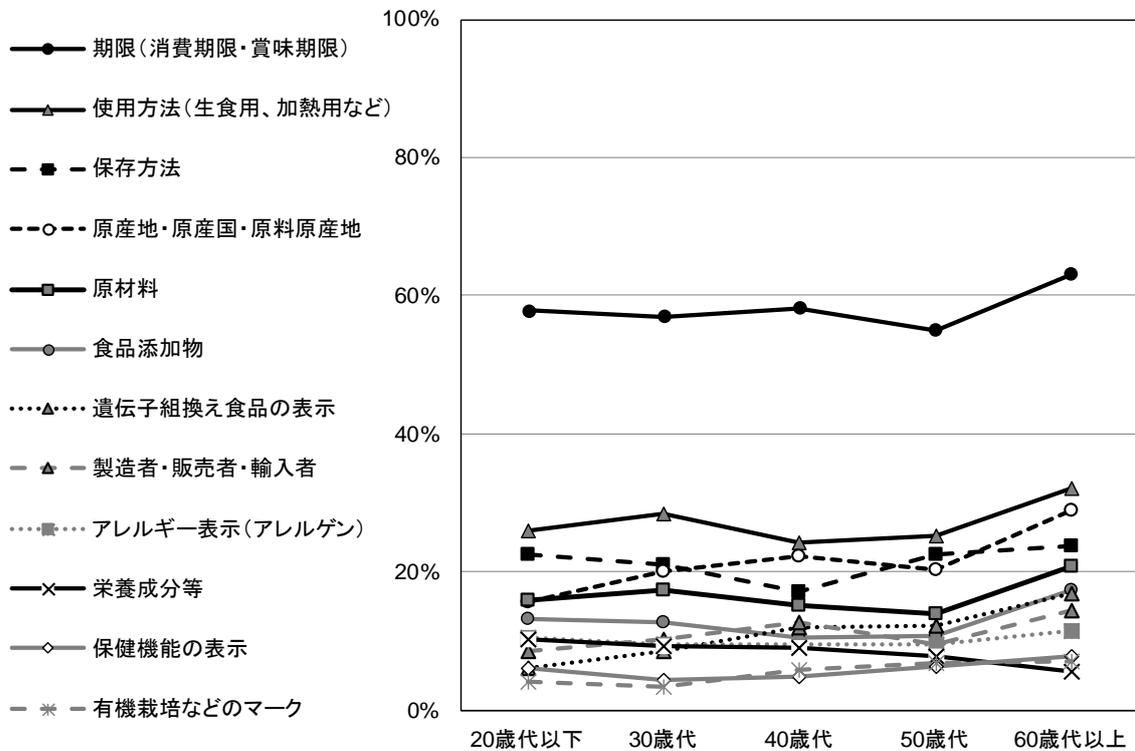
「必ず見る」とした人の割合について安全性の関心有無別では、すべての項目において関心有が関心無より高くなっており、最も高い「期限（消費期限・賞味期限）」で差が大きく、関心有が62.5%、関心無が38.0%となっている。

安全性の意識別では、「原産地・原産国・原料原産地」「原材料」「食品添加物」等で安心とした人よりも不安とした人の方が高くなっている。



「必ず見る」とした人の割合について年代別では、60歳代以上を中心に割合が高くなっているものが多く、すべての年代で「期限（消費期限・賞味期限）」とした人の割合はそれぞれ6割前後で最も高くなっている。次いで高いのはすべての年代で「使用方法（生食用、加熱用など）」となっている。

図 21-4 「必ず見る」とした人の割合（年代別：1つ選択）



	令和5年度						
	全体	20歳代以下	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代以上	
	n	1473	294	293	292	296	298
期限（消費期限・賞味期限）	58.2	57.8	57.0	58.2	55.1	63.1	
使用方法（生食用、加熱用など）	27.2	25.9	28.3	24.3	25.3	32.2	
保存方法	21.5	22.4	21.2	17.1	22.6	23.8	
原産地・原産国・原料原産地	21.5	15.6	20.1	22.3	20.3	28.9	
原材料	16.6	16.0	17.4	15.1	13.9	20.8	
食品添加物	13.0	13.3	12.6	10.6	10.8	17.4	
遺伝子組換え食品の表示	11.1	6.1	8.5	12.0	12.2	16.8	
製造者・販売者・輸入者	11.1	8.5	10.2	12.7	9.5	14.4	
アレルギー表示（アレルゲン）	10.1	10.5	9.6	9.6	9.5	11.4	
栄養成分等	8.4	10.2	9.2	8.9	7.8	5.7	
保健機能の表示	5.9	6.1	4.4	4.8	6.4	7.7	
有機栽培などのマーク	5.4	4.1	3.4	5.8	6.8	7.0	

※全体で「必ず見る」が高い順に表示

2-2-2 「消費期限」と「賞味期限」の意味と違いの理解

問 22 「消費期限」と「賞味期限」の意味と違いを理解していましたか。(1つ選択)

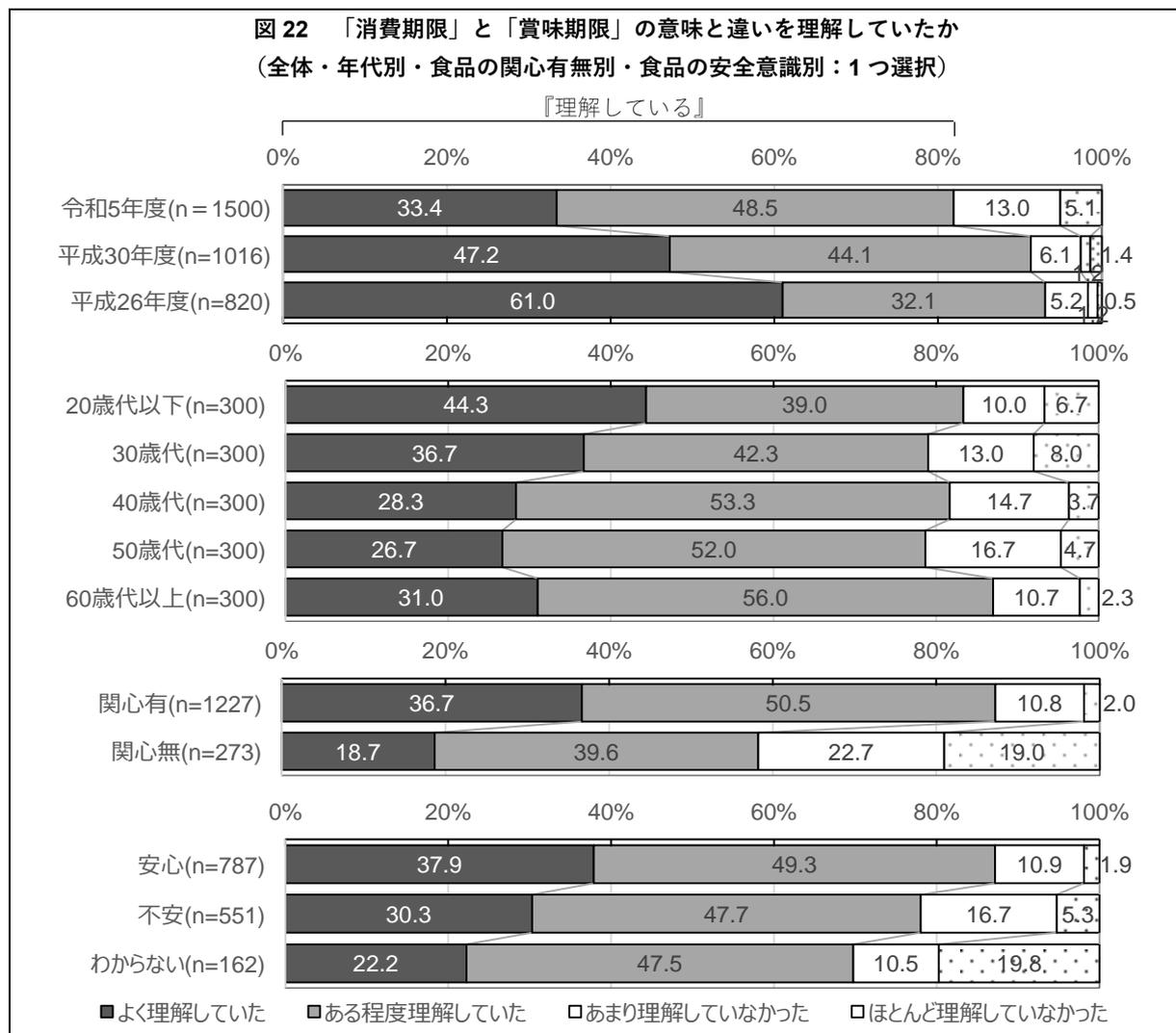
消費期限や賞味期限などの期限表示を「よく理解していた」と「ある程度理解していた」を合わせた『理解している』とした人の割合は81.9%となっている。

過去2回の調査と比較すると、「よく理解していた」と「ある程度理解していた」を合わせた『理解している』とした人の割合は1割程度減少しており、「よく理解していた」は年々減少傾向にある。

年代別では、『理解している』とした人の割合は、60歳代以上が87.0%で最も高く、20歳代以下が83.3%で続いている。

安全性の関心有無別では、関心有が87.2%、関心無が58.3%となっている。

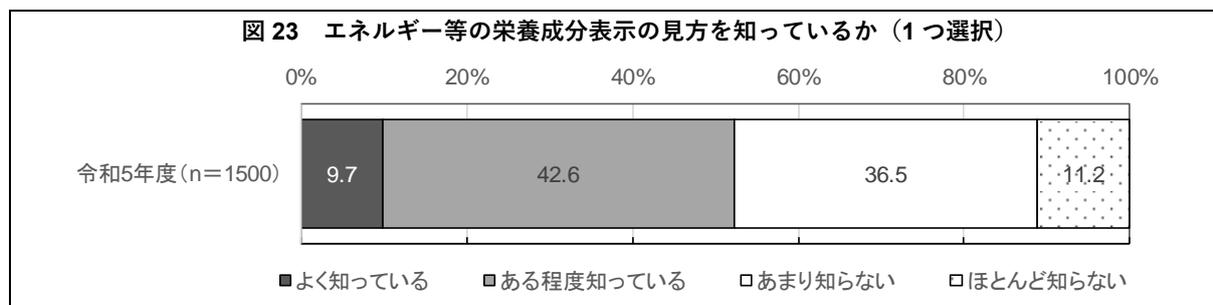
安全性の意識別では、安心とした人(87.2%)の方が不安とした人(78.0%)より高くなっている。



2-23 エネルギー等の栄養成分表示の見方

問 23 エネルギー等の栄養成分表示について見方を知っていますか。(1つ選択)

「栄養成分表示について見方を知っているかどうか」について、「よく知っている」と「ある程度知っている」を合わせた『知っている』とした人の割合は52.3%となっている。

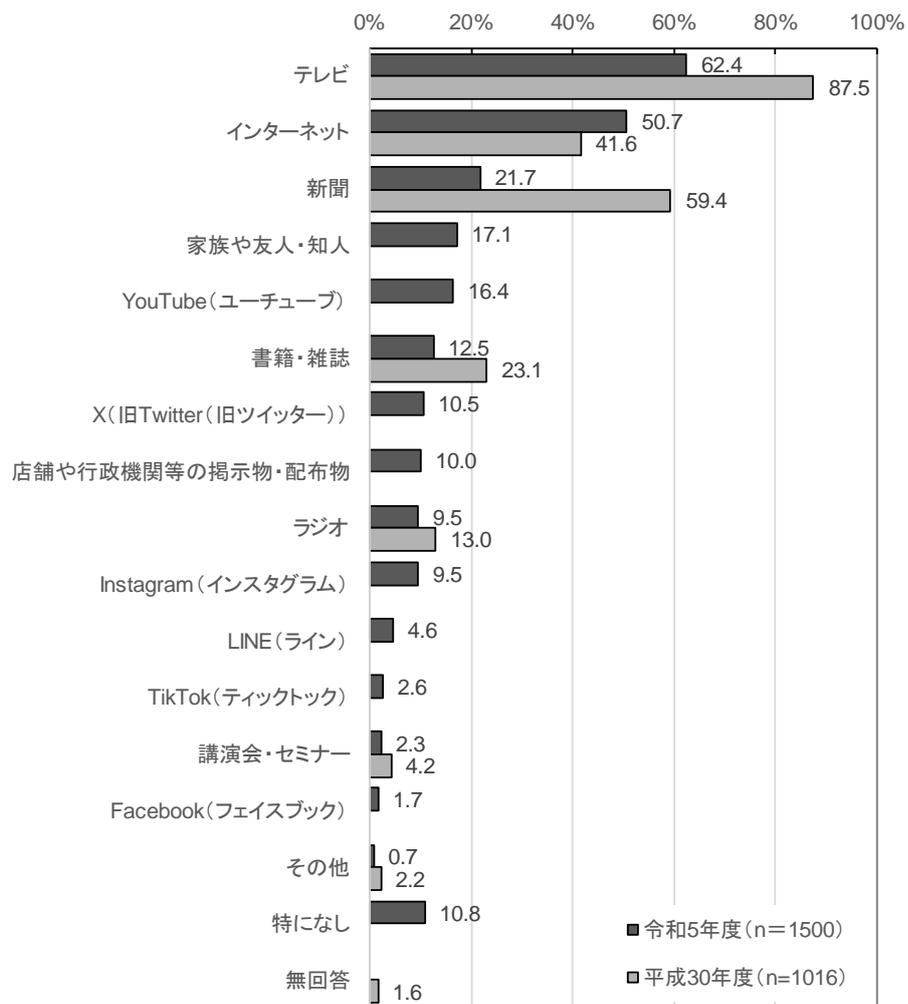


2-24 食の安全に関する情報を入手している媒体

問 24 食の安全に関する情報を何から入手していますか。(すべて選択)

「食の安全に関する情報を入手している媒体」について、「テレビ」とした人の割合が 62.4%で最も高く、次いで「インターネット」50.7%、「新聞」21.7%となっている。

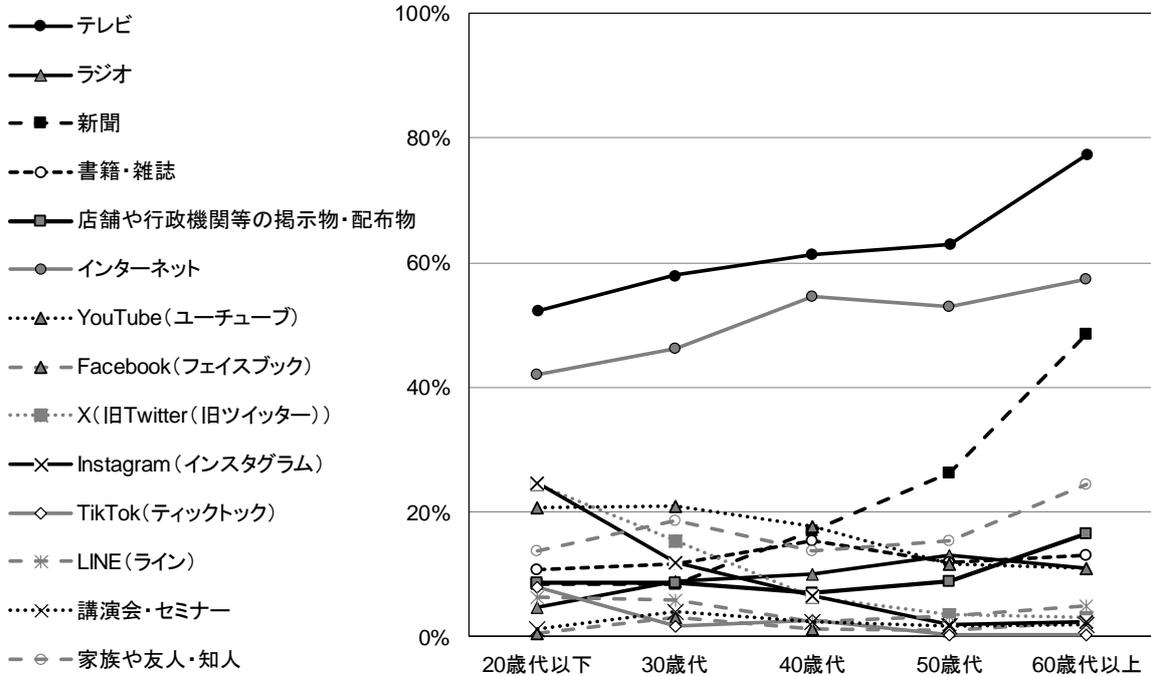
図 24-1 食の安全に関する情報を入手している媒体 (すべて選択)



※「家族や友人・知人」「YouTube(ユーチューブ)」「X(旧Twitter(旧ツイッター))」「店舗や行政機関等の掲示物・配布物」「Instagram(インスタグラム)」「LINE(ライン)」「TikTok(ティックトック)」「Facebook(フェイスブック)」「特になし」は令和5年度のみ設定。また、「情報誌・チラシ」「SNS(フェイスブック、ツイッター等のソーシャルメディア)」(いずれも非表示)は平成30年度のみ設定

年代別では、すべての年代で「テレビ」として人の割合が最も高くなっているが、最も低い20歳代以下で52.3%、最も高い60歳代以上で77.3%と年代差が大きい。また、「新聞」でも同様の傾向がある。一方で「X(旧Twitter)(旧ツイッター)」「Instagram(インスタグラム)」は20歳代以下がそれぞれ2割半ばとなっているが、40歳代以上では1割以下となっている。

図 24-2 食の安全に関する情報を入手している媒体（年代別：すべて選択）



	令和5年度					
	全体 n	20歳代以下	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代以上
テレビ	62.4	52.3	58.0	61.3	63.0	77.3
ラジオ	9.5	4.7	9.0	10.0	13.0	11.0
新聞	21.7	8.3	8.3	17.0	26.3	48.7
書籍・雑誌	12.5	10.7	11.7	15.3	12.0	13.0
店舗や行政機関等の掲示物・配布物	10.0	8.7	8.7	7.0	9.0	16.7
インターネット	50.7	42.0	46.3	54.7	53.0	57.3
YouTube(ユーチューブ)	16.4	20.7	21.0	17.7	11.7	11.0
Facebook(フェイスブック)	1.7	0.7	3.0	1.3	1.0	2.3
X(旧Twitter(旧ツイッター))	10.5	24.3	15.3	6.3	3.7	3.0
Instagram(インスタグラム)	9.5	24.7	12.0	6.7	2.0	2.3
TikTok(ティックトック)	2.6	8.0	1.7	2.7	0.3	0.3
LINE(ライン)	4.6	6.3	6.0	2.3	3.3	5.0
講演会・セミナー	2.3	1.3	4.0	2.3	1.7	2.0
家族や友人・知人	17.1	13.7	18.7	13.7	15.3	24.3

【その他の主な内容】

	件数		件数
学校の授業	5	職場	4
勉強	2	四つ葉生協内の新聞	1

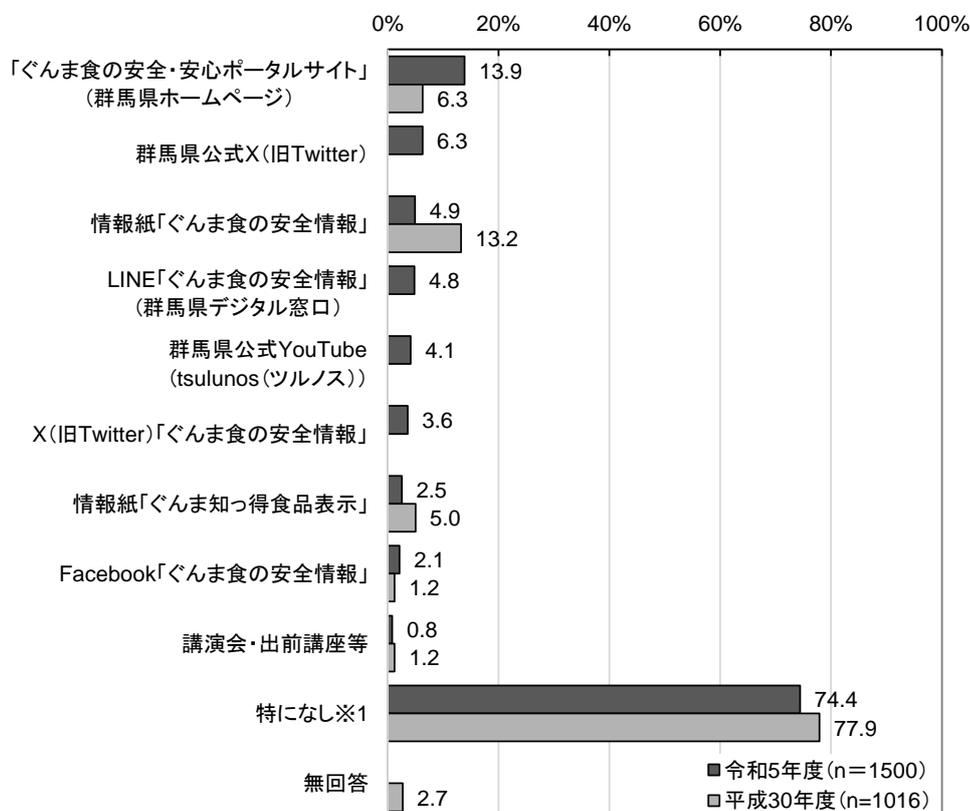
2-25 群馬県が発信している情報の認知媒体

問 25 群馬県では、県ホームページのほか、情報紙や SNS 等を使って食の安全に関する情報を発信しています。以下の情報をご覧になったことはありますか。(すべて選択)

群馬県が発信している情報の中で「見たことがある」とした人の割合（認知度）が最も高かったのは、「ぐんま食の安全・安心ポータルサイト（群馬県ホームページ）」で 13.9%、次いで「群馬県公式 X（旧 Twitter）」が 6.3%、「情報紙『ぐんま食の安全情報』」が 4.9%、「LINE「ぐんま食の安全情報」（群馬県デジタル窓口）」が 4.8%となっている。

また、いずれかの県情報を見たことのある人の割合（県情報の認知度）は 25.6%、「いずれも見なかったことではない」は 74.4%となっている。

図 25-1 見たことのある群馬県が発信している情報（認知度）（すべて選択）

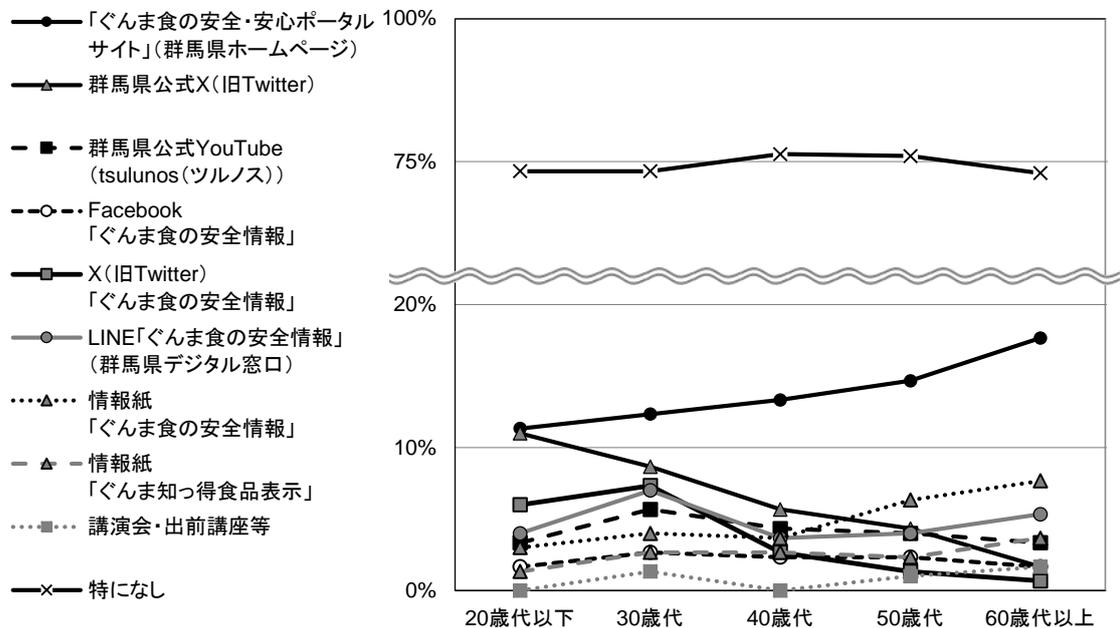


※「群馬県公式 X（旧 Twitter）」「LINE「ぐんま食の安全情報」」「群馬県公式 YouTube」「X（旧 Twitter）「ぐんま食の安全情報」」は令和 5 年度のみ設定。

※1 平成 30 年度は「いずれも見なかったことではない」として設定

年代別では、すべての年代で「特になし」とした人の割合が最も高いが、県情報で最も認知度の高い「ぐんま食の安全・安心ポータルサイト（群馬県ホームページ）」は、高い年代ほど認知度が高い傾向がうかがえる。

図 25-2 見たことのある群馬県が発信している情報（年代別：すべて選択）



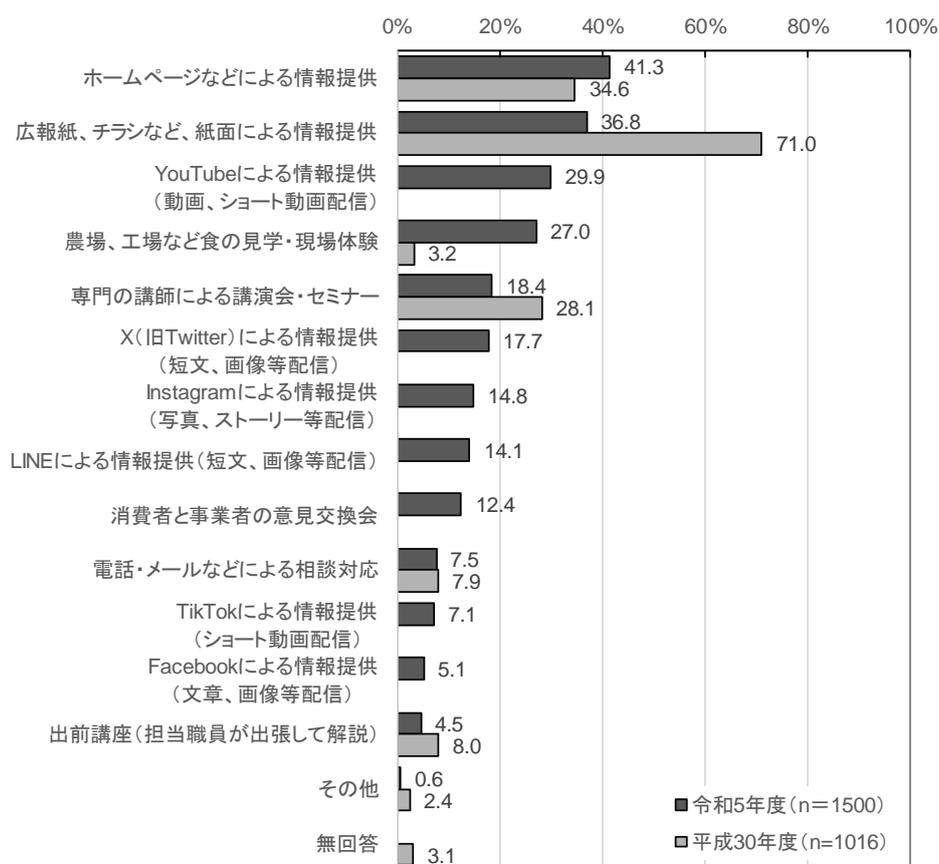
令和5年度	n					
	全体	20歳代以下	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代以上
「ぐんま食の安全・安心ポータルサイト」 （群馬県ホームページ）	1500	300	300	300	300	300
「ぐんま食の安全・安心ポータルサイト」 （群馬県ホームページ）	13.9	11.3	12.3	13.3	14.7	17.7
群馬県公式 X（旧 Twitter）	6.3	11.0	8.7	5.7	4.3	1.7
群馬県公式 YouTube （tsulunos（ツルノス））	4.1	3.3	5.7	4.3	4.0	3.3
Facebook「ぐんま食の安全情報」	2.1	1.7	2.7	2.3	2.3	1.7
X（旧 Twitter）「ぐんま食の安全情報」	3.6	6.0	7.3	2.7	1.3	0.7
LINE「ぐんま食の安全情報」 （群馬県デジタル窓口）	4.8	4.0	7.0	3.7	4.0	5.3
情報紙「ぐんま食の安全情報」	4.9	3.0	4.0	3.7	6.3	7.7
情報紙「ぐんま知っ得食品表示」	2.5	1.3	2.7	2.7	2.3	3.7
講演会・出前講座等	0.8	0.0	1.3	0.0	1.0	1.7
特になし	74.4	73.3	73.3	76.3	76.0	73.0

2-26 食品の安全性について理解を深める有効な方法

問 26 食品の安全性について理解を深める方法として、どのような手段が有効だと思いますか。(すべて選択)

「食品の安全性について理解を深める有効な手段」として、「ホームページなどによる情報提供」とした人の割合が41.3%で最も高く、次いで「広報紙、チラシなど、紙面による情報提供」が36.8%、「YouTubeによる情報提供（動画、ショート動画配信）」が29.9%となっている。

図 26-1 食品の安全性について理解を深める有効な方法（すべて選択）



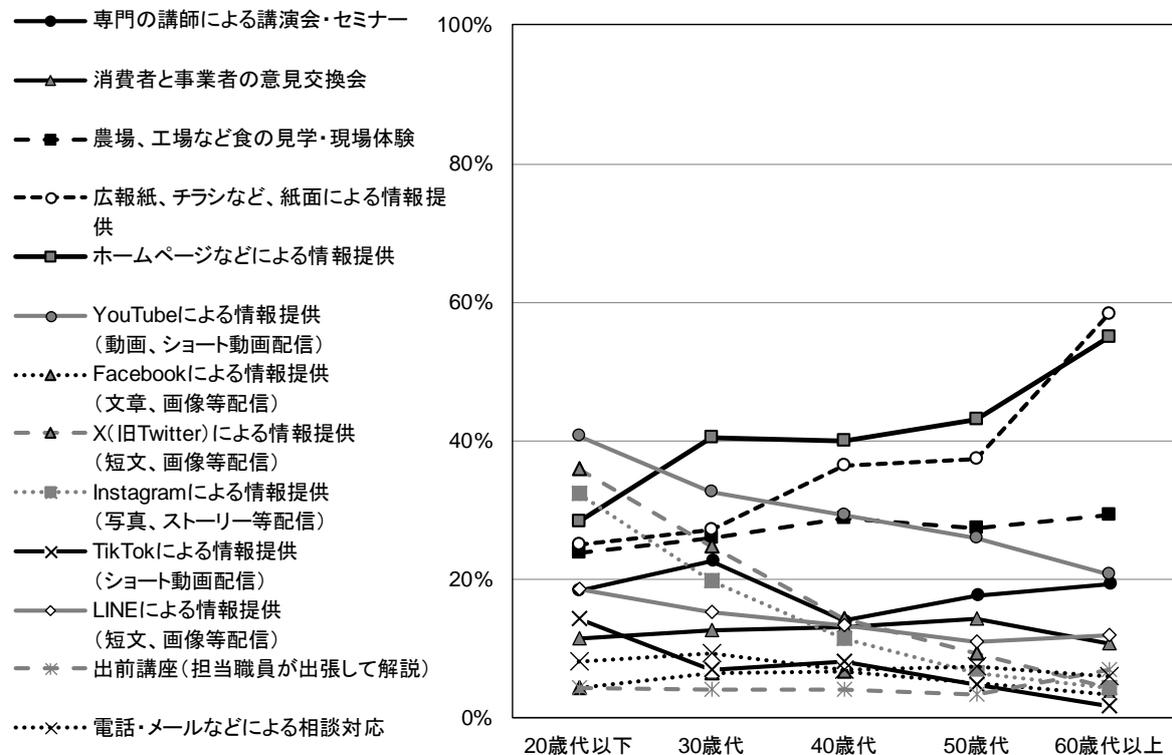
※ 「YouTubeによる情報提供」「X(旧Twitter)による情報提供」「Instagramによる情報提供」「LINEによる情報提供」「消費者と事業者の意見交換会」「TikTokによる情報提供」「Facebookによる情報提供」は令和5年度のみ設定。
また、「SNSによる情報提供」「様々な立場の人が意見交換をするパネルディスカッション」(いずれも非表示)は平成30年度のみ設定

【その他の主な内容】

	件数		件数		件数
学校教育	2	地元メディアの活用	1	スーパーでの説明会	1
分かりやすいキャッチコピーを示す	1	実店舗でのPOP	1	ニュース番組	1
TVCM	1				

年代別では、30歳代、40歳代、50歳代では「ホームページなどによる情報提供」、60歳代以上では「広報紙、チラシなど、紙面による情報提供」、20歳代以下では「YouTubeによる情報提供（動画、ショート動画配信）」とした人の割合がそれぞれ最も高くなっている。

図 26-2 食品の安全性について理解を深める有効な方法（年代別：すべて選択）



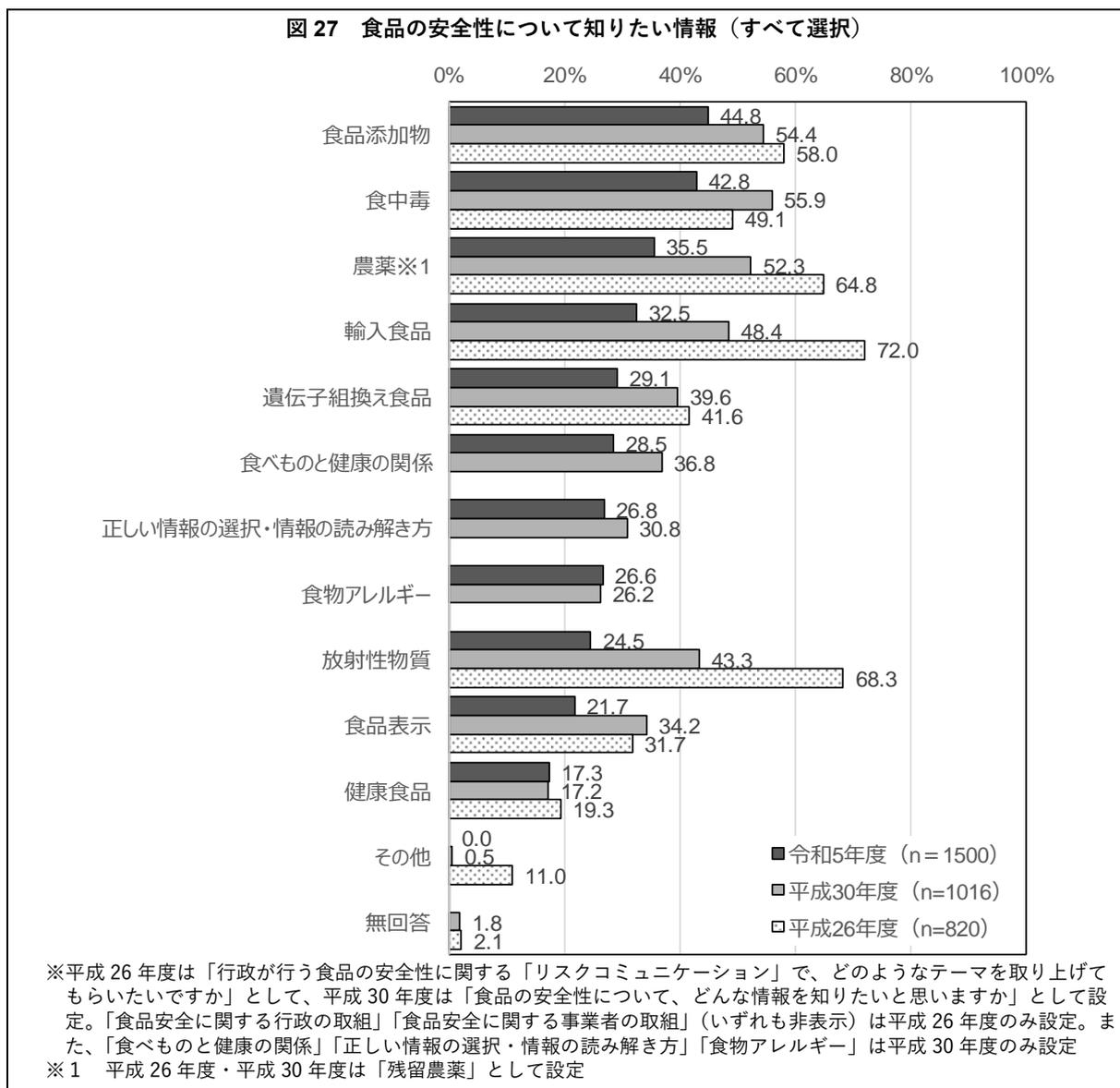
	令和 5 年度					
	全体	20歳代以下	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代以上
n	1500	300	300	300	300	300
専門の講師による講演会・セミナー	18.4	18.3	22.7	14.0	17.7	19.3
消費者と事業者の意見交換会	12.4	11.3	12.7	13.0	14.3	10.7
農場、工場など食の見学・現場体験	27.0	23.7	26.0	28.7	27.3	29.3
広報紙、チラシなど、紙面による情報提供	36.8	25.0	27.0	36.3	37.3	58.3
ホームページなどによる情報提供	41.3	28.3	40.3	40.0	43.0	55.0
YouTubeによる情報提供	29.9	40.7	32.7	29.3	26.0	20.7
Facebookによる情報提供	5.1	4.3	6.3	6.7	5.0	3.3
X(旧Twitter)による情報提供	17.7	36.0	24.7	14.3	9.3	4.3
Instagramによる情報提供	14.8	32.3	19.7	11.3	6.3	4.3
TikTokによる情報提供	7.1	14.3	7.0	8.0	4.7	1.7
LINEによる情報提供	14.1	18.7	15.3	13.3	11.0	12.0
出前講座	4.5	4.3	4.0	4.0	3.3	7.0
電話・メールなどによる相談対応	7.5	8.0	9.3	7.0	7.3	6.0

2-27 食品の安全性について知りたい情報

問 27 食品の安全性について、どんな情報を知りたいと思いますか。(すべて選択)

「食品の安全性について知りたい情報」について、「食品添加物」とした人の割合が 44.8%で最も高く、次いで「食中毒」42.8%、「農薬」35.5%となっている。

過去 2 回の調査と比較するとほとんどの項目で下回っており、「農薬」や「輸入食品」、「放射性物質」は前回よりも 15 ポイント以上低くなっている。



自由記入

食に関連することで、今気になることがあれば具体的に内容をお答えください。(問3)

食中毒

- ・食中毒 (6件)
- ・食中毒が結構あるので、あたらしたら、困ります。
- ・食中毒が気になる
- ・処理水の影響で魚の輸出。食中毒。
- ・昨今の食中毒や海洋放棄などの問題
- ・集団食中毒のニュースが増えていること
- ・食中毒が騒がれていること。
- ・食品ロス問題、食中毒
- ・食中毒について
- ・食中毒、フードロス、輸入に頼っている
- ・飲食店での食中毒対策や衛生管理がどの程度徹底されているのか。

農薬

- ・残留農薬
- ・グリホサート
- ・日本の食は安心安全などと宣伝されているが、他国では使用禁止となっている農薬がいまだに使われていたりしている。また、米国産豚肉などは米国内では使用認可されない成長ホルモンを投与されたものが日本に輸入されてきている。
- ・家庭菜園では虫が付き病気にもなるが市販では農薬が心配
- ・輸入野菜の安全性(農薬等)
- ・添加物や農薬が多く使われている
- ・スーパーなどで様々なものを買う際に、それぞれの食品が安全なのかどうか、とても気になります。野菜を育てるのに使う農薬も、海外で禁止されているものが、日本に入ってきていると聞くととても不安に感じます。
- ・野菜について農薬の使いすぎが心配だ
- ・農薬、食品添加物、遺伝子組換え、種子法、表示の基準等が年々緩くなっており、諸外国と比べても毒性の高い食品が出回っている状況。栽培、生産過程でも環境負担が大きい状況であり、様々な面で社会問題、健康被害が出ていることが気になっている。
- ・なるべく化学肥料は使わないようにすること
- ・輸入食材の農薬問題、遺伝子組換えの安全問題など利益優先で消費者には見えない食の安全が脅かされている事。
- ・環境汚染、残留農薬、家畜の伝染病等、食品の安全性が気になる。
- ・添加物や農薬や遺伝子組換えの食品など、身体に害のあるものが口から入り、身体に不調を起こすリスクが心配です。ファストフードなどを小さい子供の

うちから食べて、魚や野菜の摂取が少なくなってきました。食生活の乱れも心配です。

- ・食品添加物や農薬の成分が発達障害の発生と関連しているのではないかと
- ・添加物や農薬など、何が使われているのかわからないことです
- ・農薬の問題
- ・国産の食品の物価高、野菜、果物、お肉が高い。家畜のインフル感染とかの殺処分による影響が大きいこと。食品安全性（日本は海外で禁止されてる農薬や添加物の使用の規制がゆるい）
- ・海外産の農薬量が、人が食べても良いものを使用しているのか気になる。
- ・産地の偽造、農薬のつかいすぎ
- ・遺伝子組換え作物による未解決問題の発生、アレルギー性疾患者の増加傾向、ラウンドアップ耐性害虫の発生

食品添加物

- ・添加物 (15件)
- ・添加物の害 (2件)
- ・食品添加物が気になる (2件)
- ・食品添加物 (2件)
- ・添加物が気になる。
- ・アレルギー反応に関し、添加物使用の見直しを検討する組織が必要不可欠だと思う。
- ・添加物や農薬が多く使われている
- ・他国で禁止されている添加物が使用可能な現状。食の安全性
- ・添加物にまみれた食品だらけで今後が不安
- ・子どもが生まれるので、添加物などが気になる
- ・添加物の規制を強化してほしい。
- ・長期間摂取することにより、身体に害が本当に無いのか。添加物など。
- ・得体の知れない添加物、遺伝子組換え
- ・食品添加物を避けたい。
- ・輸入された牛肉、豚肉、鶏肉が最近増加していることでその安全性が不安である
食品添加物の使用が昔に比べ増加していることで、発ガン性の問題が気になる
- ・加工食品の添加物の安全性
- ・食品添加物の影響 加工食品の影響
- ・食品添加物や輸入食品の安全基準
- ・食品添加物の有害性
- ・中国から入ってくるものに、どんな食品添加物が使

われているか不安。

- ・農薬、食品添加物、遺伝子組換え、種子法、表示の基準等が年々緩くなっており、諸外国と比べても毒性の高い食品が出回っている状況。栽培、生産過程でも環境負担が大きい状況であり、様々な面で社会問題、健康被害が出ていることが気になっている。
- ・特に食品添加物や防腐剤等薬物の利用で先行きどのような影響が体に影響が出て来るのか心配です。長い期間を経ないと結果は出ないと思いますが、自分の生存中なのか先行き子供たちや、孫たちの世代で影響が出るのかわかりませんが不安ですね。
- ・食品ロス、添加物、
- ・遺伝子組換え食品とか添加物について
- ・商品添加物の表記を具体化して欲しい。
- ・食品添加物の安全性について。
- ・食品添加物の有善
- ・添加物が多すぎ。農薬使い過ぎ。輸入に頼りすぎ。昆虫食は要らない。遺伝子組換え食品要らない。子供の食の未来が心配。
- ・加工食品に添加物が多い
- ・食品添加物が日本は規制が緩い
- ・身体に害がある添加物の規制が甘い気がする
加工でんぷんなど
- ・添加物がもたらす、健康問題
- ・アスパルテームなどの有害な人工甘味料の入った食品が多いこと。味の素の人工調味料を「アミノ酸等」と表示して、いろいろな加工食品に添加されていること。
- ・添加物が多い
- ・添加物や農薬や遺伝子組換えの食品など、身体に害のあるものが口から入り、身体に不調を起こすリスクが心配です。ファストフードなどを小さい子供のうちから食べて、魚や野菜の摂取が少なくなってきました。食生活の乱れも心配です。
- ・食品添加物や農薬の成分が発達障害の発生と関連しているのではないかと
- ・食品の表示を見るようにしていますが、添加物の多さにびっくりすることが多々あります。
あまり気にしても仕方がないのですが、できる限り内容のシンプルな商品を購入するようにしています。
- ・食品添加物。日本国内で使用されているものが、海外では禁止されていたり、発がん性が疑われるものであったりすること。
- ・添加物等が長期的に体に与える影響
- ・今は安くて便利な食品が出回っていて、とても助かっているし、とても気持ちのいい思いをしているけれど、食品添加物が良いものではないという情報が多くてどうしたら良いか混乱している。
周りにも無添加を主張する人が増えているけれど、

無添加食品は値段が高いため添加物の全てを除く事はできない。

- ・ジャンクフードや食品添加物
- ・添加物でがんになるリスク
- ・添加物が多すぎる
- ・添加物や農薬など、何が使われているのかわからないことです
- ・身体に悪いとされている食べ物や食品添加物をきちんと調べ消費者にも隠さずちゃんと伝えてほしい。そして使用を禁止してほしい。
- ・冷凍食品等を利用したいが、加工デンプン等の加工物を使ったものが多く、安心して購入出来ない。また、大豆食品が特に怖い。遺伝子組換え、国産ではない物がどんどん増えている。
- ・添加物、人工甘味料が多い
- ・変な添加物で身体に異常が出ないか心配
- ・SNSで添加物など不安を煽る動画を見ると食べ物が食べられなくなる
- ・海外では禁止されている食品添加物などが日本だと緩和されていること。遺伝子組換えの大豆やとうもろこしなどが多用されていて不安。
- ・食品添加物が少ないものを選びたい
- ・添加物は本当に体に悪いのか、プラスチックのお皿はレンジで使うのは良くないのか
- ・日本の認可されている添加物の多さ
- ・昆虫食無理。添加物だらけの食品も嫌です。
- ・安心して食べられるものか、添加物がガンにつながるのか心配
- ・国産の食品の物価高、野菜、果物、お肉が高い。家畜のインフル感染とかの殺処分による影響が大きいこと。食品安全性（日本は海外で禁止されてる農薬や添加物の使用の規制がゆるい）
- ・添加物、アレルギー物質
- ・添加物による発がん性
- ・外食で悪いものが使われがち
- ・体に悪いものだらけ、日本の規制が緩い
- ・欧米では禁止されている食品添加物を使っているものが多い
- ・私達の生活に不可欠なスーパーマーケットは危険に溢れています。安かろう、悪かろうに慣らされ過ぎている人が余りにも多い事に驚く。食品添加物の規制を厳しくすれば、ジャンクな食品は少しは減少すると思う。私は病気になりたくないので、スーパーマーケットは殆んど利用しなくなりました。
- ・添加物の体に与える影響を正しく知りたい
- ・食品が豊富にある時代ですが、それだけに色々な添加物などが多く含まれる食品があり、発がん性物質など身体に悪影響を及ぼす物ばかりで、何を食べてよいのかわからない状態なので今とても気になっております。

- ・無添加の食品を選びたいけれど高価なのでなかなか選べない。今は様々な食品が大幅に値上げしているので、厳しい。
- ・無添加な食材を選ぶようにして、体に悪いものは食べたくない
- ・無添加
- ・発がん性物質など体に悪影響がある可能性のあるもの
- ・蓄積された体内有害物質の人体及び子孫への影響。
- ・人工甘味料など発癌性がある可能性があるものを気付かずに食べているかもしれないこと
- ・発がん性のあるものが含まれている
- ・カロリー0の砂糖の発ガン性について
- ・食品に使われている発がん性物質

輸入食品

- ・海産物の輸出入
- ・日本の食は安心安全などと宣伝されているが、他国では使用禁止となっている農薬がいまだに使われていたりしている。また、米国産豚肉などは米国国内では使用認可されない成長ホルモンを投与されたものが日本に輸入されてきている。
- ・輸入食品の品質
- ・輸入野菜の安全性(農薬等)
- ・輸入食材の安全性
- ・輸入品が本当に体にとって安全なのか
- ・輸入品の品質は大丈夫か？
- ・輸入食品の品質の不安
- ・輸入食品に対する、検査体制が不明なため不安。
- ・輸入された牛肉、豚肉、鶏肉が最近増加しているのでその安全性が不安である
食品添加物の使用が昔に比べ増加しているので、発ガン性の問題が気になる
- ・食品添加物や輸入食品の安全基準
- ・輸入品の安全性が気になる
- ・輸入食材の農薬問題、遺伝子組換えの安全問題など利益優先で消費者には見えない食の安全が脅かされている事。
- ・中国からの輸入品、安心して食べられる状態になるように指導して欲しい
- ・輸入農産物の安全性
- ・外国産の食品がどの程度安全か気になる
- ・円安だったり、食材の費用が高騰したりで生活費がかかるようになってきているので、今後どのように輸入食材が扱われるのかが気になる。また、食品ロス問題は解決しきれないで常にある問題だと思うのでうまく付き合っていく必要がある問題であると考えます。
- ・海外産の農薬量が、人が食べても良いものを使用しているのか気になる。

- ・中国からの輸入品の安全性
- ・輸入食品の高騰
- ・特にないが、中国産は出来るだけひかえている
- ・中国産は買わない
- ・中国から入って来るものに、どんな食品添加物が使われているか不安。
- ・中国からの輸入品、安心して食べられる状態になるように指導して欲しい
- ・中国の食品不安
- ・中国が自国のウラン放出が世界中に広がっているのに認めないため、世界中に広がり、怖いので中国産のものは食べたくない
- ・中国からの輸入品の安全性
- ・中国食品の品質

遺伝子組換え食品

- ・得体の知れない添加物、遺伝子組換え
- ・遺伝子組換え食品
- ・遺伝子組換え食品は食べたくない
- ・農薬、食品添加物、遺伝子組換え、種子法、表示の基準等が年々緩くなっており、諸外国と比べても毒性の高い食品が出回っている状況。栽培、生産過程でも環境負担が大きい状況であり、様々な面で社会問題、健康被害が出ていることが気になっている。
- ・遺伝子組換え食品とか添加物について
- ・輸入食材の農薬問題、遺伝子組換えの安全問題など利益優先で消費者には見えない食の安全が脅かされている事。
- ・遺伝子組換えなど人体に影響がないのだろうか？
- ・添加物が多すぎ。農薬使い過ぎ。輸入に頼りすぎ。昆虫食は要らない。遺伝子組換え食品要らない。子供の食の未来が心配。
- ・遺伝子組換えの食品が増えないか気になる
- ・添加物や農薬や遺伝子組換えの食品など、身体に害のあるものが口から入り、身体に不調を起こすリスクが心配です。ファストフードなどを小さい子供のうちから食べて、魚や野菜の摂取が少なくなっています。食生活の乱れも心配です。
- ・遺伝子組換え
- ・遺伝子組換え食品の安全性
- ・冷凍食品等を利用したいが、加工デンプン等の加工物を使ったものが多く、安心して購入出来ない。また、大豆食品が特に怖い。遺伝子組換え、国産ではない物がどんどん増えている。
- ・遺伝子組換え作物による未解決問題の発生、アレルギー性疾患者の増加傾向、ラウンドアップ耐性害虫の発生
- ・海外では禁止されている食品添加物などが日本だと緩和されていること。遺伝子組換えの大豆やとうもろこしなどが多用されていて不安。

放射性物質

- ・処理水による海産物への影響。
- ・群馬でも未だにセシウムが基準値を超えている事。長期に渡り、やはり不安になってくる
- ・日本政府が原発汚染水を海洋放出したことにより三陸沖の魚介類を食べられなくなったこと
- ・処理水の影響で魚の輸出。食中毒。
- ・原発処理水に関する風評被害
- ・福島県の放射能汚染水の放水により食品が汚染されるのではないかということ。
- ・処理水放出での魚への影響
- ・処理水による漁業
- ・放射線
- ・結局、アルプス処理水ってどうなのかわからないので、もっとニュースとかで説明して欲しい。
- ・福島県の放射線
- ・処理水を放出して、長い間に魚に影響は本当に無いか

アレルギー

- ・アレルギー (3件)
- ・子供のアレルギー (2件)
- ・アレルギー反応に関し、添加物使用の見直しを検討する組織が必要不可欠だと思う。
- ・最近の子供たちが何かしらアレルギーを持っている環境が心配
- ・食物アレルギーを持っている子供達が、安心して給食を食べることができているのか気になっています。
- ・食物アレルギー、詳しく検査したい
- ・子供に食物アレルギーがないか気になる。
- ・遺伝子組換え作物による未解決問題の発生、アレルギー性疾患者の増加傾向、ラウンドアップ耐性害虫の発生
- ・添加物、アレルギー物質
- ・以前、アレルギーで体や顔に湿疹、吐き気や嘔吐を起こした事があるが、自分の食物アレルギーが分からない。
- ・昆虫食などがどれほど効率的なのか、食物アレルギーに対する社会の理解がいまいち不足している点

食品表示

- ・各種偽装問題
- ・内容物や産地に偽りや漏れがないようにしてもらいたい
- ・産地偽装まで行かずとも加工場所を産地と表記することが多いと聞いたことが気になっています
- ・食品の表示
- ・国産表示が信用出来ない

- ・食品偽造、賞味消費期限の改ざん
- ・偽りのない製品の提供
- ・産地偽造
- ・パッケージにまどわされる。食べてみないとわからない。
- ・産地の偽造、農薬のつかいすぎ
- ・賞味期限と消費期限の違い
- ・賞味期限

生産者・事業者

- ・農業、漁業（一次産業）に携わる人達がモチベーションを持ち続ける事が出来る環境（仕組み、関心を持ちサポートする等）ができると良いと思う。それには特に政治がしっかりしなければいけないと思う、最近の政治家はとても情けないと思ってしまう・・・！
- ・減肥、減農薬、減労働となる、持続可能で生産性の高い農業を核とした食産業
- ・県内の農家の人が居なくなって県内生産の食材が食べられなくなったら困る、他県の食材は美味しくないから
- ・食は今まで農家さんを冷遇してきたつけが来ているのかなと思う。外国（特に人件費の安い国）に依存していいとこ取りしてきた事も問題だったのかなと思う。資源は有限でありますから、お偉方は今一度、お金を投じるどころや指針を示す方向を未来の為にポリシーを持って頑張っていただきたい。
- ・農業（第一産業）後継者不足、政府の対応に対する不信
- ・農業の後継者問題
- ・農業の後継者不足による農業の衰退により、農作物が自給できなくなる。
- ・国内農家の減少と品質、費用の変化
- ・一次産業の衰退による食糧不足
- ・国産品の需要が少なく農家の方が大変なのではないかという点
- ・農家の人数がいなくなって今後の食糧自給が心配
- ・価格の高騰と漁業、畜産、農業等の従事者の減少
- ・農業人口の減少と高齢化
- ・農家の人の高齢化。
- ・国内の農家含めて生産者の減少。高齢化が気になる。
- ・日本の農業縮小について
- ・漁業の問題。日本人に当たり前の魚の美味しさに中国が気付き、なりふり構わない漁をしていて、漁獲量が減ってしまい、価格が上がっている。
- ・日本の食糧自給力アップと持久力維持
- ・農家の担い手がない今、公務員でも簡単に副業のできる制度や公認の副業化をしなければならない
- ・農業などの人手不足、食の安全保障などが、気になります。

- ・食料自給率、農業人材の不足
- ・農業の担い手が減少していること
- ・大手企業以外でも安心できるものを提供してほしい
- ・ニワトリの飼育や牛や豚の飼育に問題を感じる。
- ・国産にこだわりたい
- ・農林水産省が日本の米を破壊していること
- ・住んでいる地域で生産された食品を適正な価格で購入し続けられるか不安である
- ・国産物が少なくなっている
- ・食費がかかるから安いものを選ぶと中国産。中国産は食べたくないから高くても国産を選ぶ。お金が掛かる。
- ・地産地消をモットーにしている。
- ・地産地消について
- ・安くて美味しい日本の食品が増えて欲しい
- ・自給率（10件）
- ・食料自給率（15件）
- ・食品ロスと食料自給率の低さ
- ・食料自給率の低下
- ・国内の自給率が少ない。
- ・国内生産が困難になってゆくのではと危惧します
- ・地球温暖化で野菜や穀物が今まで通りには育たなくなる可能性が高いこと。また、鳥インフルエンザで卵価格が上昇した。鶏肉価格が上昇する可能性もあるし、豚熱により豚肉価格が上昇する可能性もあり、貧困層はますます厳しくなる。また、日本の食料自給率が低いままでは、日本で食物が入手できにくくなり、なおかつ周りで戦争でも始まれば中国やロシアや中東から食物が輸入できなくなり、日本で餓死者が出る可能性が近いうちに出てくるかもしれない。
- ・国内自給率をどのようにして高めるか
- ・食料の国内自給率の低さ
- ・国内生産が少なく輸入に頼っている事
- ・地政学的リスクや自然災害などで今後食品輸入が困難になることが予想される。自給率をどうやって上げていくか
- ・日本の自給率が低いこと、温暖化に対応した、国としての対応はどうなっているのか。
- ・食品の国内生産自給率が低いこと
- ・輸入に頼っている日本の自給率、災害時の食糧の運搬、健康問題等
- ・食料自給率の低下。
- ・国内での生産量
- ・輸入穀物で持っている日本の現状が心配です。
- ・高齢化に伴い自給率の低下。輸入に頼らざるをえなくなることで国産品の高騰。
- ・食料自給率とフードロス問題があり
- ・食料自給率が心配
- ・農業の後継者不足による農業の衰退により、農作物が自給できなくなる。
- ・自国の食料自給率が低いことによる食糧危機が起こること。
- ・食料の国内自給率を上げて、安全安心なものを地産地消したい
- ・食品自給率の向上による安定確保が必要
- ・日本の食料自給率が低いこと。
- ・食品の国内自給率が低いこと
- ・経済安全保障策として、エネルギー自給率同様に食糧自給率を高める必要がある。
- ・自給自足の推進をしてください。
- ・自給率と安全性
- ・国内の農産物食料で自給率
- ・食料自給率の低下
- ・食料自給率の向上
- ・食料自給率の低下と、安易な昆虫食への依存が最大の懸念。・自給率の向上
- ・自給率が低い
- ・食品ロス、自給率
- ・コオロギを食べなくてはならないほど食べものが無くなってしまうのかと心配。食品自給率も減ってしまうと不安になる。
- ・天候不順による農作物の不作が今後は更に深刻になると思うので心配。また、日本の自給自足率の低さも心配。・日本の自給率が低すぎる
- ・食糧不足 食料自給率低下
- ・地球環境の変化に伴う食料品の自給状態
- ・自給率の向上
- ・このまま輸入に頼っていていいのかということ
- ・輸入に頼らないと食料が足りてない
- ・自給率不足
- ・添加物が多すぎ。農薬使い過ぎ。輸入に頼りすぎ。昆虫食は要らない。遺伝子組換え食品要らない。子供の食の未来が心配。
- ・輸入に多く頼っている
- ・食品自給率の向上のため施策が全く進展しない
- ・輸入に頼らないためには
- ・日本の生産自給率
- ・国として食品自給率が低い
- ・食料自給率が低いこと
- ・自給率が低いので、有事の際に飢えるリスク
- ・食料自給率の低下により、輸入に頼らざるをえない現状で、円安の影響が今後どこまで長引くのか
- ・食の自給率が低い。昆虫食の推進にお金を出すなら、まず酪農家の方にお金を出して欲しい
- ・日本の自給率が低いこと
- ・将来、国内自給率が下がって輸入に頼らなければならなくなるのではないかと危惧している

- ・食品の値上がりが続く、家計の負担になっている。食料自給率の低下、輸送が滞ったら食べるものなくなるのではないかと不安がある。
- ・食料自給率の低さが気になります。酪農家の廃業も増えているそうなので、将来国産の食料を食べられるのか心配です。また、インフレも相まって食料価格が高騰し、日常生活に支障をきたすほどにならないか気にかかっています。
- ・自給自足
- ・輸入に頼りすぎ
- ・国でみれば食料自給率。自分で賄えるか考えている
- ・食料自給率が低いこと
- ・日本の食料自給率
- ・食糧自給率や温暖化による農作物被害
- ・自国生産食品減少
- ・気候変動や後継者不足などで、これからの我が国の食糧の自給は大丈夫なのか。
- ・国内の生産量が減ってきて輸入に頼っていることが気になる。
- ・自給率の低さとロスの多さ
- ・国内生産量を上げて 他国に頼らない食を目指して欲しい。
- ・何かあったときに日本は食料が時給できるのか
- ・食料自給率が低いことに、政治が向き合わないこと

行政・検査・監視・規制

- ・安全性（4件）
- ・安心安全な食品の供給が出来るのか
- ・食の安全性の担保が気になる。
- ・安全な食品をどうやって探すか
- ・旬の野菜、魚など季節の食べ物が安心して安く食べられる世の中に願いたい。
- ・HACCP、FSSC、ISOなど適切に運用されているか。食品衛生に関わる人がきちんと理解できているか（パートの一人まで）
- ・安心、安全を気にせずにいられたらいいのに。
- ・輸入に頼っている日本の自給率、災害時の食糧の運搬、健康問題等
- ・国産が本当に安全なのか知りたいです
- ・他国で禁止されている添加物が使用可能な現状。食の安全性
- ・スーパーなどで様々なものを買う際に、それぞれの食品が安全なのかどうか、とても気になります。野菜を育てるのに使う農薬も、海外で禁止されているものが、日本に入ってきていると聞くととても不安に感じます。
- ・食の安全、流通、養殖・植物工場、鮮度の良い安価なもの
- ・体に害がないかどうかということ

- ・自給率と安全性
- ・食品の安全性
- ・安全な物の販売
- ・安全性と確保
- ・安全に食を楽しみたい。
- ・野菜の安全性
- ・食品の中身が有害かどうかわからない。
- ・安全基準が国によって違うので、何を信じれば良いのかがわかりません。そこが一番の不安です。
- ・値段と安全性
- ・安心安全な食品の入手
- ・環境汚染、残留農薬、家畜の伝染病等、食品の安全性が気になる。
- ・安いとかだけで、安全かが不安。かと言って安全だから、高いって言うのも困る。
- ・物価高で安全な製造がされなくなりそう。
- ・農業などの人手不足、食の安全保障などが、気になります。
- ・日本の食べ物安全なのか
- ・食品の安全性
- ・安全
- ・安全安心とはなにか
- ・食べ物の価格、食品安全の基準、食品ロス、栄養バランス、バランスのいい食事の作り方なども
- ・今、市販されているものを信じて食べられるのか不安
後から不衛生だったり色々放送されるのでとても心配です。
- ・食の安全、フードロス、有効活用など安全安心の食材を無駄なく必要な人に行き渡るように

情報

- ・マスコミの情報操作に関する不信任
- ・様々なことが発信されていてどれが本当なのかわからないが、直近で耳にしたのは納豆についているたれが身体にとっても悪いということ。何気に気になっている。

災害時・非常時

- ・輸入に頼っている日本の自給率、災害時の食糧の運搬、健康問題等
- ・食資源の不安定化
- ・気候変動に伴う食糧危機
- ・異常気象で、作物が獲れなくなる
- ・世界の人口が増え続ける中で、今後、円安の日本が食料不足に陥らないかが気になります。
- ・温暖化で今までのように食品が作れなくなっている
- ・食料品の需給と価格が不安定
- ・食糧難

- ・地球温暖化で野菜や穀物が今まで通りには育たなくなる可能性が高いこと。また、鳥インフルエンザで卵価格が上昇した。鶏肉価格が上昇する可能性もあるし、豚熱により豚肉価格が上昇する可能性もあり、貧困層はますます厳しくなる。また、日本の食料自給率が低いままでは、日本で食物が入手できにくくなり、なおかつ周りで戦争でも始まれば中国やロシアや中東から食物が輸入できなくなり、日本で餓死者が出る可能性が近いうちに出てくるかもしれない。
- ・食料不足（5件）
- ・気候変動で野菜不足
- ・人口増、気候変動による食料難。
- ・今後人口分の食糧を補えるか
- ・サプライがグローバルになり、不安定になっている。
- ・異常気象で野菜などが不作
- ・自国の食料自給率が低いことによる食糧危機が起ること。
- ・地球温暖化、猛暑のため農産物が採れなくなってしまうかもしれない。
- ・気候変動などによる農作物の不作による価格の上昇
- ・気候や災害の変化により農産物などが今までと同じように育たなかったり生産ができなくなっている。物価高騰により十分な栄養がとれなくなっている。
- ・世界的食糧不足
- ・値上げ、品不足
- ・今後世界中の食糧が枯渇するリスク
- ・自然災害や猛暑などにより、野菜や米などが年々被害を被る事が増え、近い将来 食糧難に陥る不安が大きい。
- ・食糧危機
- ・温暖化で作物の産地の変化や、多雨、少雨で作物が収穫できない恐れが気になる。
- ・世界的な食糧調達難が自分の生活にも影響を及ぼしていると思います。ロシアのウクライナ侵攻は本当に悪魔の仕業です。
- ・食料品の値上げが厳しくこのままでは食料難になりそう。
- ・一次産業の衰退による食糧不足
- ・サプライチェーンの安定性
- ・コオロギを食べなくてはならないほど食べものが無くなってしまうのかと心配。食品自給率も減ってしまうと不安になる。
- ・食糧不足にならないか
- ・食べるものがなくなること
- ・天候不順による農作物の不作が今後は更に深刻になると思うので心配。また、日本の自給自足率の低さも心配。
- ・食糧不足 食料自給率低下
- ・食糧難
- ・食糧危機

- ・災害などでの野菜不足
- ・気候の変動で食物が採れなくなるのではと不安
- ・人に対して食料の少なさ、圧倒的に食料ロス
- ・国内の食料供給について。国際的な状況変化に伴い、食料の安定供給が確保できなくなった場合の対応。フェアトレードについても気になっている。食料生産において適切な報酬を得られなかったり、雇用者から不当な扱いを受けている方がいないか。
- ・将来的な食料難
- ・将来虫を食べなければいけないほど食糧難になるのか
- ・食料不足になる
- ・気候変動や外交、政治の問題で普段食べている食物が極端に少なくなったり価格が異常な値上がりをしているため、安定な購入が出来ない状態であること。
- ・食が安定供給されるのか？値上げラッシュによる、食難にならないのか？
- ・気候変動による植生の変化
- ・異常気象で野菜が被害を受けることが多くなった
- ・天候変動による食物への影響。
- ・環境汚染、残留農薬、家畜の伝染病等、食品の安全性が気になる。
- ・気温上昇による野菜の収穫量や出来具合
- ・地球温暖化で作物への影響がある
- ・異常な暑さなどで不作になることそれが家庭に直結すること
- ・環境負荷が高い商品を買うことに躊躇すること。
- ・食糧自給率や温暖化による農作物被害

価格高騰

- ・値上げ（12件）
- ・物価高騰（7件）
- ・値上がり（6件）
- ・物価高（5件）
- ・値段の高騰（5件）
- ・価格の高騰（3件）
- ・値段が高い（3件）
- ・食品の値上がり（2件）
- ・価格高騰（2件）
- ・物価の高騰（2件）
- ・食費が高い（2件）
- ・値段（2件）
- ・高い（2件）
- ・値上がりがひどくて庶民が困窮する可能性がある
- ・色々値段が高騰していて、困っている
- ・プラスチックを減らしたい、値段を安くしたい
- ・値上げラッシュ
- ・食料品の需給と価格が不安定

- ・トマトが値段が高くて買えない
- ・特にはないが、物価の高さ
- ・円安や伝染病などによる値上げ
- ・物価が高い。
- ・食に限らず、値上げにより家計がどんどん厳しくなっていく。行政は何か対策を打ち上げて欲しい
- ・地球温暖化で野菜や穀物が今まで通りには育たなくなる可能性が高いこと。また、鳥インフルエンザで卵価格が上昇した。鶏肉価格が上昇する可能性もあるし、豚熱により豚肉価格が上昇する可能性もあり、貧困層はますます厳しくなる。また、日本の食料自給率が低いままでは、日本で食物が入手できにくくなり、なおかつ周りで戦争でも始まれば中国やロシアや中東から食物が輸入できなくなり、日本で餓死者が出る可能性が近いうちに出てくるかもしれない。
- ・インフレによる価格高騰
- ・食料品の値上げばかり
- ・食品価格の高騰
- ・食料品の価格高騰が収まってほしい。
- ・値上げが続くと生活に影響する（している）
- ・全てが高騰している
- ・多種の値上げ
- ・値上がりが著しい
- ・食品の価格が高い。
- ・価格の上昇
- ・すべての食品の価格が上がっている
- ・価格が高騰すること
- ・食品全般の激しい値上がり。
- ・物価が高すぎる
- ・物価高による貧困の悪化
- ・食品の値上がり
- ・食品の値上がりが止まらないこと
- ・価格の上昇が気になります。
- ・気候変動などによる農作物の不作による価格の上昇
- ・食費が高い
- ・気候や災害の変化により農産物などが今までと同じように育たなかったり生産ができなくなっている。物価高騰により十分な栄養がとれなくなっている。
- ・物価が上がりすぎです。
- ・値上げ、品不足
- ・食料品の高騰
- ・物価高騰でなかなか手が出せない材料があるが、今後どんどん食べられるものが限られてきて、菓子パンとかしか食べられなそう。金持ちしか長生きできない気がする
- ・魚、調味料などの値段が高くて買えない。
- ・食品価格の高騰
- ・インフレによる食品の値上げ
- ・卵価格が早く戻って欲しい
- ・食料品の値上げが厳しくこのままでは食料難になりそう。
- ・円安による輸入農産物の価格上昇
- ・物価が高くなってること
- ・無添加の食品を選びたいけれど高価なのでなかなか選べない。今は様々な食品が大幅に値上げしているので、厳しい。
- ・価格の高騰、輸入
- ・食品の値段の上昇
- ・なんでも値上がり。これは困った。
- ・食品の値上げ
- ・値段の高騰 食の安心安全
- ・食料品の値上がり
- ・値上げがひどい
- ・値段があがっていること
- ・どこまで食品の値段は上がっていくのか？
- ・価格の高騰と漁業、畜産、農業等の従事者の減少
- ・物価高が続いている
- ・値段と安全性
- ・全体的な値上がり
- ・食品全般の値上がり
- ・値段の値上がり
- ・原材料や資材高騰による食品や加工品の値上がり
- ・値段高い
- ・色々な物が高くて買い控えてしまう。
- ・値段が高いこと
- ・値上がりが多く、今後不安。
- ・食品値上げで買いたいものが気軽に買えない
外食し辛くなった
- ・様々な物の値上がり。・食品の値上がり。
天候や気温による野菜や魚の高騰。
- ・食料品の値上げ
- ・安いとかだけで、安全かが不安。かと言って安全だから、高いうって言うのも困る。
- ・普段買い物をしてる家族から、食品が高くなったと聞いた
- ・猛暑の影響で野菜が高騰していること。
- ・気候により野菜等高値になっている
- ・価格の高騰化
- ・円安による輸入飼料などの高騰、それに伴い、鶏卵、肉、の値上げ、外食費など関連した物価の高騰、パンやうどんも上がる、生活の質が下がる。
- ・物価が高い
- ・野菜値段高い

- ・値上がりばかりで、先が不安
- ・物価高で安全な製造がされなくなりそう。
- ・食費の高騰
- ・食品全体の値上がり
- ・原材料価格や原油価格の高騰による食品や外食産業の価格高騰
- ・食品の価格高騰
- ・食費が高い
- ・食品などの価格が上がっていること
- ・物価が高すぎる
- ・値段上昇
- ・食品の値上がりが続き、家計の負担になっている。食料自給率の低下、輸送が滞ったら食べるものなくなるのではないかの不安がある。
- ・食品の値段が上がっていること
- ・物価上昇
- ・食料品の値段の上昇、この辺りで留まってくれないだろうか
- ・食料自給率の低さが気になります。酪農家の廃業も増えているそうなので、将来国産の食料を食べられるのか心配です。また、インフレも相まって食料価格が高騰し、日常生活に支障をきたすほどにならないか気にかかっています。
- ・物価高気になる
- ・どんどん値上がりしていて将来どうになってしまうのか不安である
- ・天候不順による作物の高騰
- ・価格
- ・色々な食材が高騰している
- ・値段について
- ・気候変動や外交、政治の問題で普段食べている食物が極端に少なくなったり価格が異常な値上がりをしているため、安定な購入が出来ない状態であること。
- ・全体的な物価高
- ・物価高騰により野菜など買い控えてしまう
- ・食料品が高い
- ・物価が上がっていること
- ・食料の価格上昇が心配です
- ・国産の食品の物価高、野菜、果物、お肉が高い。家畜のインフル感染とかの殺処分による影響が大きいこと。食品安全性（日本は海外で禁止されてる農薬や添加物の使用の規制がゆるい）
- ・円安だったり、食材の費用が高騰したりで生活費がかかるようになってきているので、今後どのように輸入食材が扱われるのかがきになる。また、食品ロス問題は解決しきれないで常にある問題だと思うのでうまく付き合っていく必要がある問題であると考えます。
- ・食品の高騰
- ・食べ物の価格、食品安全の基準、食品ロス、栄養バ

- ランス、バランスのいい食事の作り方なども
- ・食材が高い
- ・物価高い
- ・円安で物価がだいぶ上がったことに。
- ・円高による輸入食品の価格高騰
- ・値上がりが多くて困っている。
- ・自然災害や天候不順等、野菜などの安定強化やされなくなると価格が不安定に。
- ・輸入食品の高騰
- ・価格が上昇している

フードロス・廃棄

- ・フードロス（6件）
- ・食品ロス（10件）
- ・食品ロスと食料自給率の低さ
- ・食品ロスの問題をみんなで考える事
- ・綺麗な見栄えのいい野菜でなくても、流通するようになって欲しい。商品ロスを無くしていきたい
- ・インフレの中、円の価値が下がる一方、異なる環境ではいまだに気軽に食品を破棄することを常態化していることに矛盾を感じる。
- ・貧困家庭で1日の食事が給食のみの子がいるという一方、食品ロスもかなり多いと聞きます。どうにかならないのでしょうか。・フードロスで食べられるものまで廃棄してしまう事。
- ・食品ロスをできる限り無くす努力
- ・食料自給率とフードロス問題があり
- ・食品ロスを無くす
- ・食品ロスのこと
- ・食べ物の無駄が散見される
- ・食品廃棄を少なくしたい
- ・食品ロス、自給率
- ・食品ロスの多さ
- ・食事ロスを無くす事かな？
- ・食品ロス。賞味期限が近いモノを安く提供できる施設の増加。
- ・食品ロスがかなり気になります
- ・食糧危機が必ず来るので少しでも食品ロスは無くしたい。
- ・フードロスが気になる
- ・食品ロス、添加物
- ・農作物の製品の規格が厳しく、傷があったり、形が整っていない物が製品として販売できないこと。
- ・食品ロスが多い
- ・食品ロスがとても気になる。ものが豊富な事は良いが、無駄をなくす努力が必要だと思う。廃棄がなくなる社会になって欲しい。
- ・人に対して食料の少なさ、圧倒的に食料ロス
- ・食品ロス問題、食中毒

- ・子供の学校の給食の残飯の量が私達親世代よりかなり増えているようで、食品ロス、子供の健康状態などがとても気になっています。食べない子が多すぎる。
- ・多量の食品ロスが出ていること。
- ・農家の知り合いがおり、廃棄されてる野菜の多さに驚く。家でも、たくさんもらった野菜たちに関して「もし使いきれず腐ってしまっても捨てたらいいよ」と言う認識を家族がしている。私は嫁入りで県外から来たけれど、もったいない、食べ物を粗末にしてはいけない、と言う考えで育ってきたので、捨てることに大変抵抗があり、なんとか長持ちさせて腐らせる前に消費できるように努力している。
- ・フードロスでご飯とか余った物の行方が気になる
- ・円安だったり、食材の費用が高騰したりで生活費がかかるようになってきているので、今後どのように輸入食材が扱われるのかが気になる。また、食品ロス問題は解決しきれないで常にある問題だと思うのでうまく付き合っていく必要がある問題であると考えます。
- ・食品ロスが多いと思うのでドギーバッグについて関心を持っている。もっと広まって欲しい
- ・お店での食べ残し
- ・食べ物の価格、食品安全の基準、食品ロス、栄養バランス、バランスのいい食事の作り方なども
- ・自給率の低さとロスの多さ
- ・食の安全、フードロス、有効活用など安全安心の食材を無駄なく必要な人に行き渡るように？
- ・形が悪くても買いたい

その他

- ・コオロギ食
- ・昆虫食は食べたくない
- ・食料自給率の低下と、安易な昆虫食への依存が最大の懸念。
- ・添加物が多すぎ。農薬使い過ぎ。輸入に頼りすぎ。昆虫食は要らない。遺伝子組換え食品要らない。子供の食の未来が心配。
- ・コオロギ粉をパンなどに入れるのはやめて、オカラなど体に良く害のない物を活用して欲しい
- ・昆虫食無理。添加物だらけの食品も嫌です。
- ・昆虫食が学校で出されないか心配
- ・昆虫食などがどれほど効率的なのか、食物アレルギーに対する社会の理解がいまいち不足している点
- ・代替食品
- ・代替え食
- ・人工肉が実用化するのはいつ頃か。安い価格で手に入ると聞いているので、期待している。味もどれくらい実際の肉に近いのか気になる。
- ・培養肉が気になる。美味しいのかどうか。また、どれくらいコスパが将来的に良くなるのかも気になる。
- ・栄養バランスと長寿
- ・栄養が十分とれているか
- ・栄養に関して
- ・子供の栄養バランスについて
- ・食べ物の価格、食品安全の基準、食品ロス、栄養バランス、バランスのいい食事の作り方なども
- ・栄養価
- ・栄養面（添加量など）
- ・ダイエット、糖質依存からの脱却。
- ・ジビエ料理に興味あり
- ・ノンシュガーが、意味ない
- ・何かがかきかけで全く食品が売れなくなったり、売れすぎたりすること。
- ・火を通す
- ・塩分
- ・魚は大丈夫なのか、心配です。
- ・肥満解消
- ・冷凍食品が増えて便利だと感じる。
- ・加工食品と人工甘味料の健康維持
- ・魚は取った場所で産地が決まるのではなく、取った船の国で決まることを海外にきちんと伝えてほしい。
- ・日本の食文化の維持
- ・カロリー
- ・食べ残しがある中で、最低限の食事を取れない人が日本にいる、日本の貧富差が昔は見えていたが、今は隠れていて助けてもらえる人もわからないことが悲しいと思う
- ・持続可能になるか食品全般が
- ・行き過ぎた小売流通量
- ・本質をわからずに食べている人が多い
- ・電子レンジでの加熱は体に悪影響を一切及ぼさないか？
- ・白い物が体に良くないと言われている事
- ・化学食品
- ・体に必要なものを取り入れたい
- ・海洋が汚染されてますので(マイクロプラスチックや富栄養化による赤潮・青潮 等、アニサキスも魚肉に潜んで、度々食中毒発生が起きております。サンマも取れない かつ 小さく値段が高い！よってこれからは“陸上養殖”での魚が注目及び安全・安心から流行るでしょう。
- ・種苗法
- ・食育の減衰
- ・塩分、糖質の摂取をいかに抑えるか
- ・食料品からの環境ホルモン
- ・有機食材
- ・容量が減りすぎ

- ・鳥インフルエンザ
- ・糖質制限の是非について興味がある
- ・旬のものを食べること
- ・添加物や農薬や遺伝子組換えの食品など、身体に害のあるものが口から入り、身体に不調を起こすリスクが心配です。ファストフードなどを小さい子供のうちから食べて、魚や野菜の摂取が少なくなってきました。食生活の乱れも心配です。
- ・食に関しては日本は安全と思っているので特に気にしていることはありません。処理水の問題も日本の技術や厳しい検査を信じているので魚や海産物も今までと変わりなく食べます。昆虫は食べたことがないので何ともいえませんが。
- ・脚が不自由なので、健康的な食事を摂りたい。
- ・糖質
- ・食と発達障害の関係
- ・欧米化してきて肥満にならないか心配
- ・国内の食料供給について。国際的な状況変化に伴い、食料の安定供給が確保できなくなった場合の対応。フェアトレードについても気になっている。食料生産において適切な報酬を得られなかったり、雇用者から不当な扱いを受けている方がいないか。
- ・ダイエット食品が知りたい
- ・アニサキスが気になる
- ・子供の学校の給食の残飯の量が私達親世代よりかなり増えているようで、食品ロス、子供の健康状態などがとても気になっています。食べない子が多すぎる。
- ・有限性
- ・加工食品
- ・健康に気を使った食事をしたい
- ・ご飯は今後しっかり食べてるのか不安
- ・美容につながる食品
- ・塩分の適量と糖質の適量
- ・子供が食べるものが気になる
- ・日々のたんぱく質の摂取量
- ・テイクアウトの多様化。店舗での食事よりテイクアウトする機会が多く、現在でもコロナ禍前までは出来なかったテイクアウト商品が増え続けていたりするため、今後の利用も踏まえて幅広いラインナップから選択出来ると日々の食事も充実する。
- ・糖質
- ・カロリー
- ・海産物の消費
- ・カロリー高
- ・甘党なのでラカントSがもう少し安くならないかなと思っています
- ・水不足
- ・高カロリー
- ・健康食品の有効性に、疑問があります。
- ・お昼など、その人に合っていない量が出てくる
- ・外食産業と家庭での食のバランス
- ・SNS 投稿問題
- ・アミノ酸
- ・家庭菜園を持つ人が増えて欲しい

資料編

1 集計表

属性1.あなたの年齢をお答えください。(1つ選択)

	n	%
全体	1500	100.0
10歳代	12	0.8
20歳代	288	19.2
30歳代	300	20.0
40歳代	300	20.0
50歳代	300	20.0
60歳代	208	13.9
70歳以上	92	6.1

属性2.あなたのご職業をお答えください。(1つ選択)

	n	%
全体	1500	100.0
会社員・公務員	779	51.9
自営業	100	6.7
パート・アルバイト	245	16.3
専業主婦(主夫)	116	7.7
学生	46	3.1
無職	196	13.1
その他	18	1.2

属性3.あなたのお住まいの市町村をお答え下さい。(1つ選択)

	n	%
全体	1500	100.0
安中市	36	2.4
伊勢崎市	166	11.1
板倉町	11	0.7
上野村	2	0.1
邑楽町	19	1.3
大泉町	28	1.9
太田市	146	9.7
片品村	1	0.1
川場村	1	0.1
神流町	1	0.1
甘楽町	5	0.3
桐生市	81	5.4
草津町	7	0.5
渋川市	42	2.8
下仁田町	3	0.2
昭和村	4	0.3
榛東村	8	0.5
高崎市	349	23.3
高山村	1	0.1
館林市	49	3.3
玉村町	23	1.5
千代田町	10	0.7
婦恋村	5	0.3
富岡市	29	1.9
中之条町	4	0.3
長野原町	5	0.3
南牧村	0	0.0
沼田市	26	1.7
東吾妻町	5	0.3
藤岡市	38	2.5
前橋市	325	21.7
みどり市	32	2.1
みなかみ町	10	0.7
明和町	12	0.8
吉岡町	16	1.1

生活上のリスクについてお伺いいたします

Q1.我が国が直面している次の諸問題の中で、不安に感じているものはどれですか。(回答は3つまで)

		n	環境・エネルギー問題	自然災害	係上の諸問題、人間関係	社会生活上の問題(教育上の問題など)	経済不安定(経済悪化、経済問題など)	政治不信、少子高齢化(政治・行政の問題)	健康問題(生活習慣病、感染症など)	食品問題	犯罪	サイバー空間の問題(不正アクセス、なりすましなど)	事故	戦争	特になし
全体		1500	35.8	41.7	12.5	53.6	32.4	17.4	9.6	12.5	11.4	5.1	10.9	9.6	
年代別	20代以下	300	25.7	35.3	20.0	59.3	38.3	15.0	8.3	12.3	6.7	4.7	11.3	12.0	
	30代	300	26.0	34.7	13.0	60.0	36.3	14.7	12.0	15.0	10.0	7.7	6.3	11.0	
	40代	300	35.0	42.3	13.0	55.3	28.7	13.0	8.7	11.3	12.0	5.3	11.7	11.7	
	50代	300	40.7	42.3	10.7	49.0	29.0	18.3	11.0	13.0	9.7	4.7	9.3	9.7	
	60代以上	300	51.7	53.7	6.0	44.3	29.7	26.0	8.0	11.0	18.7	3.0	16.0	3.7	
食品の関心有無	関心有	1227	38.9	44.6	13.4	56.9	35.0	19.2	10.8	12.7	12.2	4.2	11.2	5.3	
	関心無	273	22.0	28.6	8.4	38.8	20.5	9.2	4.4	11.7	7.7	8.8	9.5	28.9	
食品の安全意識	安心	787	39.0	44.3	12.7	57.4	33.9	16.3	7.2	12.1	11.6	5.2	11.6	6.2	
	不安	551	36.7	39.4	14.0	52.8	31.9	21.1	14.5	12.7	11.8	4.5	10.7	7.8	
	わからない	162	17.3	36.4	6.8	37.7	26.5	10.5	4.3	14.2	9.3	6.2	8.6	32.1	

食に関する全般についてお伺いいたします

Q2.食に関連する次の項目について、将来を見ずして、今気になるものをお答えください。(回答はいくつでも)

		n	食中毒	農薬	食品添加物	輸入食品	遺伝子組換え食品	健康食品	食品表示	食物アレルギー	放射性物質	有害物質(有機水銀、カドミウム等)	食品検査	HACCP	事業者、生産者の自主衛生管理、情報発信(マスメディアや行政機関による情報発信)	トレーサビリティ(製造や流通の履歴を記録し、問題発生時に追跡や確認ができる仕組み)	マイクロプラスチック(製造や流通の履歴を記録し、問題発生時に追跡や確認ができる仕組み)	フードリパライサービス(宅配事業)	動物用医薬品	家畜伝染病	ジビエ(野生鳥獣肉)	オーガニック(有機栽培)	ミラクルフルーツ食品(大昔肉やオリーブ)	昆虫食	培養肉(人工肉)	食品ロス	業務妨害(労働監視等)	容器包装プラスチック	その他	特になし
全体		1500	16.0	18.1	30.5	24.1	21.7	10.4	8.3	16.0	20.9	25.7	7.6	9.2	9.9	6.9	4.6	8.1	3.5	16.7	6.5	7.8	5.1	11.3	11.5	36.1	14.3	16.0	0.7	16.7
年代別	20代以下	300	19.3	15.0	27.7	17.0	16.7	13.0	8.3	17.7	16.3	21.7	7.3	7.7	11.7	4.7	9.0	15.3	3.3	10.0	3.3	8.3	7.7	11.7	7.3	34.3	15.0	12.7	0.7	16.0
	30代	300	15.3	20.0	32.0	23.3	17.7	12.7	11.3	22.0	22.3	26.0	10.7	9.3	15.0	6.7	7.0	8.3	2.7	14.0	8.7	11.3	6.7	13.3	10.3	37.7	16.3	14.7	0.3	21.0
	40代	300	13.3	15.7	31.0	23.3	23.0	10.7	6.0	17.0	24.0	24.3	5.7	7.0	8.3	4.3	2.7	6.0	3.3	15.0	6.0	6.3	4.0	10.7	13.7	33.7	15.0	16.7	0.7	18.3
	50代	300	15.0	14.7	23.3	21.7	22.7	6.7	5.3	8.7	18.7	23.7	6.7	8.0	5.0	7.7	2.0	4.3	3.0	16.7	7.3	5.3	4.3	8.3	12.0	29.3	10.0	13.0	1.7	21.3
	60代以上	300	17.0	25.3	38.7	35.0	28.7	9.0	10.7	14.7	23.3	33.0	7.7	14.0	9.7	11.3	2.3	6.3	5.0	27.7	7.0	7.7	3.0	12.3	14.0	45.3	15.3	23.0	0.0	6.7
食品の関心有無	関心有	1227	17.9	21.4	35.9	27.4	25.0	12.0	9.5	18.5	23.8	29.7	9.1	11.1	11.7	8.1	5.4	9.2	3.9	18.8	7.7	9.5	6.0	12.6	13.1	40.1	16.3	17.5	0.7	9.2
	関心無	273	7.3	3.7	6.6	9.2	7.0	3.3	3.5	4.8	8.1	8.1	0.7	0.7	1.8	1.5	1.1	2.9	1.5	7.0	1.1	0.4	1.1	5.5	4.0	17.9	5.5	9.2	0.7	50.5
食品の安全意識	安心	787	16.6	14.2	24.4	23.3	16.6	10.5	7.5	15.9	17.8	22.9	6.6	9.8	10.5	7.6	5.2	9.4	2.7	16.3	6.7	6.9	4.8	10.2	9.8	35.2	15.1	16.5	0.9	14.5
	不安	551	17.8	28.3	45.6	29.8	32.3	12.3	11.6	19.1	28.7	33.8	11.1	10.2	10.3	7.6	4.2	7.1	4.9	19.4	6.9	10.9	6.9	14.9	16.0	38.1	15.1	17.8	0.4	10.5
	わからない	162	6.8	2.5	9.3	8.6	10.5	3.1	1.2	6.2	9.9	12.3	0.6	3.1	5.6	1.2	3.1	4.9	2.5	9.3	3.7	1.9	0.6	4.3	4.3	18.5	8.0	7.4	0.6	48.1

食品の安全等に関する全般についてお伺いいたします

Q4.食品の安全性について関心がありますか。(回答は1つだけ)

		n	たいへん関心がある	ある程度関心がある	ほとんど関心がない	全く関心がない
全体		1500	21.1	60.7	13.5	4.7
年代別	20代以下	300	21.0	58.0	15.0	6.0
	30代	300	20.7	57.3	14.0	8.0
	40代	300	17.3	62.7	15.7	4.3
	50代	300	17.7	61.7	16.3	4.3
	60代以上	300	29.0	63.7	6.7	0.7
食品の関心有無	関心有	1227	25.8	74.2	0.0	0.0
	関心無	273	0.0	0.0	74.4	25.6
食品の安全意識	安心	787	19.7	67.5	10.9	1.9
	不安	551	27.6	58.6	11.3	2.5
	わからない	162	6.2	34.6	34.0	25.3

Q5.最近の食品の安全性について、どのように感じていますか。(回答は1つだけ)

		n	安心	どちらかといえば安心	どちらかといえば不安	不安	わからない(特になんか)
全体		1500	4.9	47.6	30.1	6.7	10.8
年代別	20代以下	300	8.7	55.7	19.7	4.3	11.7
	30代	300	4.3	45.0	29.0	8.3	13.3
	40代	300	4.7	44.0	30.7	7.3	13.3
	50代	300	4.3	45.3	31.3	8.3	10.7
	60代以上	300	2.3	48.0	39.7	5.0	5.0
食品の関心有無	関心有	1227	4.4	51.5	31.5	7.2	5.4
	関心無	273	7.0	30.0	23.4	4.4	35.2
食品の安全意識	安心	787	9.3	90.7	0.0	0.0	0.0
	不安	551	0.0	0.0	81.9	18.1	0.0
	わからない	162	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0

Q6.食品の安全性の観点からお答えください。(1)~(10)の項目について、どのように感じていますか。それぞれあてはまると思うものを1~5よりお選びください。(それぞれ1つ選択)

1.食中毒(ノロウイルス、O157等)

		n	安心	どちらかといえば安心	どちらかといえば不安	不安	わからない(特になんか)
全体		1500	4.7	22.6	34.1	21.7	16.9
年代別	20代以下	300	7.3	22.7	31.3	23.0	15.7
	30代	300	2.7	24.0	31.3	24.7	17.3
	40代	300	6.3	21.3	29.3	22.7	20.3
	50代	300	4.7	22.0	38.3	16.7	18.3
	60代以上	300	2.7	23.0	40.0	21.3	13.0
食品の関心有無	関心有	1227	4.4	24.5	36.1	23.4	11.6
	関心無	273	6.2	13.9	24.9	13.9	41.0
食品の安全意識	安心	787	6.5	32.3	30.0	17.4	13.9
	不安	551	3.3	13.1	42.5	29.0	12.2
	わからない	162	1.2	8.0	25.3	17.3	48.1

2.残留農薬

		n	安心	どちらかといえば安心	どちらかといえば不安	不安	わからない(特になんか)
全体		1500	3.3	19.6	36.3	20.7	20.1
年代別	20代以下	300	5.3	22.3	29.7	20.3	22.3
	30代	300	2.7	18.3	33.3	22.3	23.3
	40代	300	3.7	16.7	38.0	19.7	22.0
	50代	300	3.3	22.3	36.7	16.7	21.0
	60代以上	300	1.7	18.3	43.7	24.3	12.0
食品の関心有無	関心有	1227	2.9	20.9	38.9	23.0	14.4
	関心無	273	5.5	13.9	24.5	10.3	45.8
食品の安全意識	安心	787	5.1	30.7	31.0	14.5	18.7
	不安	551	1.3	7.4	46.5	32.5	12.3
	わからない	162	1.9	6.8	27.2	10.5	53.7

3.食品添加物（着色料・甘味料・保存料等）

		n	安心	どちらかといえば安心	どちらかといえば不安	不安	わからない（特に安心）
全体		1500	2.9	19.7	36.0	23.7	17.7
年代別	20代以下	300	4.3	24.3	32.0	21.0	18.3
	30代	300	2.3	17.3	31.3	27.3	21.7
	40代	300	2.0	17.0	36.7	23.3	21.0
	50代	300	4.3	20.3	37.7	20.0	17.7
	60代以上	300	1.3	19.7	42.3	27.0	9.7
食品の関心有無	関心有	1227	2.5	20.5	38.3	27.1	11.6
	関心無	273	4.4	16.5	25.6	8.4	45.1
食品の安全意識	安心	787	4.4	29.7	36.0	14.2	15.6
	不安	551	1.1	8.5	39.9	41.2	9.3
	わからない	162	1.2	9.3	22.8	10.5	56.2

4.輸入食品

		n	安心	どちらかといえば安心	どちらかといえば不安	不安	わからない（特に安心）
全体		1500	1.8	14.3	39.1	26.8	18.0
年代別	20代以下	300	4.3	22.7	31.7	22.0	19.3
	30代	300	1.0	16.0	39.7	22.7	20.7
	40代	300	1.3	9.0	43.0	25.3	21.3
	50代	300	2.0	14.0	36.7	29.7	17.7
	60代以上	300	0.3	10.0	44.3	34.3	11.0
食品の関心有無	関心有	1227	1.3	14.4	41.8	29.7	12.7
	関心無	273	4.0	13.9	26.7	13.6	41.8
食品の安全意識	安心	787	2.7	21.9	40.7	20.1	14.7
	不安	551	0.7	5.4	40.8	40.8	12.2
	わからない	162	1.2	8.0	25.3	11.7	53.7

5.遺伝子組換え食品

		n	安心	どちらかといえば安心	どちらかといえば不安	不安	わからない（特に安心）
全体		1500	2.8	15.3	37.5	23.6	20.8
年代別	20代以下	300	6.3	23.0	32.0	16.7	22.0
	30代	300	1.7	13.7	32.3	24.7	27.7
	40代	300	2.3	13.3	39.7	22.3	22.3
	50代	300	2.3	13.7	41.0	23.0	20.0
	60代以上	300	1.3	12.7	42.7	31.3	12.0
食品の関心有無	関心有	1227	2.4	16.0	39.9	26.6	15.2
	関心無	273	4.8	12.1	26.7	10.3	46.2
食品の安全意識	安心	787	4.1	23.5	38.4	15.1	18.9
	不安	551	1.5	6.2	40.3	39.0	13.1
	わからない	162	1.2	6.2	24.1	12.3	56.2

6.放射性物質

		n	安心	どちらかといえば安心	どちらかといえば不安	不安	わからない(特に安心)
全体		1500	3.5	16.5	35.3	25.4	19.3
年代別	20代以下	300	4.7	19.7	30.7	24.7	20.3
	30代	300	2.3	14.3	36.0	24.3	23.0
	40代	300	4.7	13.7	35.0	25.3	21.3
	50代	300	3.3	17.3	35.3	23.3	20.7
	60代以上	300	2.3	17.3	39.7	29.3	11.3
食品の関心有無	関心有	1227	3.2	16.6	37.7	28.4	14.2
	関心無	273	4.8	15.8	24.9	12.1	42.5
食品の安全意識	安心	787	5.0	22.9	35.1	19.7	17.4
	不安	551	2.0	10.2	38.3	36.8	12.7
	わからない	162	1.2	6.8	26.5	14.2	51.2

7.健康食品

		n	安心	どちらかといえば安心	どちらかといえば不安	不安	わからない(特に安心)
全体		1500	6.2	33.1	24.6	10.1	26.1
年代別	20代以下	300	12.0	31.3	25.0	9.3	22.3
	30代	300	5.7	34.3	20.3	11.3	28.3
	40代	300	4.7	30.7	24.0	10.0	30.7
	50代	300	5.7	31.3	28.0	8.7	26.3
	60代以上	300	3.0	37.7	25.7	11.0	22.7
食品の関心有無	関心有	1227	6.4	36.4	25.4	10.6	21.2
	関心無	273	5.5	17.9	20.9	7.7	48.0
食品の安全意識	安心	787	8.6	43.6	20.7	6.6	20.5
	不安	551	3.8	23.6	33.0	16.0	23.6
	わからない	162	2.5	14.2	14.8	6.8	61.7

8.重金属(有機水銀、カドミウム等)

		n	安心	どちらかといえば安心	どちらかといえば不安	不安	わからない(特に安心)
全体		1500	2.5	13.6	34.3	25.7	23.9
年代別	20代以下	300	3.7	13.3	30.0	27.3	25.7
	30代	300	2.3	13.0	33.0	25.3	26.3
	40代	300	2.0	14.3	31.7	25.7	26.3
	50代	300	2.7	17.0	37.3	21.3	21.7
	60代以上	300	2.0	10.3	39.3	29.0	19.3
食品の関心有無	関心有	1227	2.4	13.8	36.6	28.6	18.7
	関心無	273	3.3	12.8	23.8	12.8	47.3
食品の安全意識	安心	787	3.7	19.9	33.2	21.2	22.0
	不安	551	1.5	6.7	39.7	35.0	17.1
	わからない	162	0.6	6.2	21.0	16.0	56.2

9.食物アレルギー

		n	安心	どちらかといえば安心	どちらかといえば不安	不安	わからない（特に安心）
全体		1500	4.7	21.2	33.7	17.4	23.1
年代別	20代以下	300	7.3	21.0	33.7	19.3	18.7
	30代	300	4.0	19.3	31.3	19.3	26.0
	40代	300	5.3	15.7	33.3	16.3	29.3
	50代	300	3.7	26.7	34.0	15.0	20.7
	60代以上	300	3.0	23.3	36.0	17.0	20.7
食品の関心有無	関心有	1227	4.4	22.2	35.9	19.0	18.6
	関心無	273	5.9	16.8	23.8	10.3	43.2
食品の安全意識	安心	787	6.0	28.5	32.0	14.1	19.4
	不安	551	3.1	14.5	39.6	24.5	18.3
	わからない	162	3.7	8.6	21.6	9.3	56.8

10.食品の偽装表示

		n	安心	どちらかといえば安心	どちらかといえば不安	不安	わからない（特に安心）
全体		1500	2.3	15.1	34.5	29.9	18.2
年代別	20代以下	300	4.7	17.3	31.0	28.7	18.3
	30代	300	2.0	16.3	32.3	27.3	22.0
	40代	300	1.3	14.3	36.0	27.0	21.3
	50代	300	2.7	16.7	37.7	26.0	17.0
	60代以上	300	0.7	11.0	35.7	40.3	12.3
食品の関心有無	関心有	1227	1.8	15.1	36.1	33.9	13.1
	関心無	273	4.4	15.4	27.5	11.7	41.0
食品の安全意識	安心	787	3.4	22.7	34.3	23.4	16.1
	不安	551	0.9	7.3	37.6	43.4	10.9
	わからない	162	1.2	4.9	25.3	15.4	53.1

Q7.前問で、「3.どちらかといえば不安」「4.不安」と回答された方にお聞きます。不安の理由をお答えください。（回答は2つまで）
また、理由として「8.その他」を選択された方は、具体的な理由をお答えください。

		n	が法律十、分条かなどの規制	検査が不十分	行政の監視指導	生産者の管理が食品	生産者の不法	生産者の安全	食の安全が関する	情報の提供が十分に	食品の安全性が	科学的根拠に不安がある	食品の知識が不足	その他
全体		1300	17.6	18.5	27.6	36.8	19.6	11.2	25.1	0.3				
年代別	20代以下	248	11.3	10.5	16.9	36.7	20.6	9.7	35.5	0.4				
	30代	258	17.1	13.6	22.5	38.4	22.1	11.2	29.8	0.0				
	40代	262	20.2	17.6	26.7	32.4	19.8	9.9	27.5	0.0				
	50代	248	16.9	19.0	35.5	37.9	14.5	14.1	16.9	0.4				
	60代以上	284	21.8	30.3	35.6	38.4	20.8	11.3	16.5	0.7				
食品の関心有無	関心有	1130	18.0	19.8	28.7	38.7	20.6	11.3	22.4	0.4				
	関心無	170	15.3	9.4	20.6	24.1	12.9	10.6	42.9	0.0				
食品の安全意識	安心	668	14.2	16.5	27.7	41.0	19.0	9.6	25.6	0.3				
	不安	527	24.3	23.1	27.7	33.4	22.2	13.7	20.3	0.4				
	わからない	105	5.7	7.6	26.7	26.7	10.5	9.5	45.7	0.0				

Q8.事業者（生産者・食品事業者）が行っている取組について、信頼できると思いますか。（回答は1つだけ）

		n	信頼できる	ある程度信頼できる	どちらともいえない	あまり信頼できない	信頼できない	情報がなくてわからない
全体		1500	3.3	39.7	37.0	11.6	3.3	5.1
年代別	20代以下	300	6.3	44.7	30.7	9.0	2.3	7.0
	30代	300	2.3	37.0	36.0	13.3	3.7	7.7
	40代	300	2.7	38.0	42.0	9.7	2.7	5.0
	50代	300	3.3	36.0	39.3	11.7	5.7	4.0
	60代以上	300	1.7	43.0	37.0	14.3	2.3	1.7
食品の関心有無	関心有	1227	2.9	42.7	37.5	11.2	3.3	2.5
	関心無	273	5.1	26.4	34.8	13.6	3.7	16.5
食品の安全意識	安心	787	5.1	54.6	32.0	4.6	1.1	2.5
	不安	551	0.5	23.6	43.4	23.2	6.0	3.3
	わからない	162	3.7	22.2	39.5	6.2	4.9	23.5

Q9.食の安全に関する信頼を高めるため、事業者（生産者、食品事業者）はどのようなことに取り組むべきだと思いますか。（回答はいくつでも）

		n	法令などの遵守	の適正使用	の農薬や食品添加物など	の原産地や期限表示など	検査などの自主衛生管理	従業者の安全性に関する教育	食品の安全性に関する第三者機関による認証取得	客観的な情報提供	業界内での情報共有や協力体制の構築	食品事故等の速やかな情報提供	消費者からの相談窓口	消費者との交流事業の実施	信す情報の積極的な発信	食品の品質と安全に発関	その他
全体		1500	49.3	49.3	39.8	36.7	32.9	33.0	17.3	29.1	16.9	10.7	24.5	0.5			
年代別	20代以下	300	46.0	46.0	38.3	33.3	33.0	32.3	18.7	24.3	18.7	13.0	20.3	0.0			
	30代	300	47.0	42.3	34.0	34.0	32.7	28.7	18.0	30.3	16.7	14.0	22.7	0.7			
	40代	300	49.0	43.7	40.3	34.0	24.3	30.7	11.0	22.3	13.3	8.7	20.7	1.0			
	50代	300	49.0	51.7	38.0	40.0	32.0	35.0	18.0	29.7	17.7	10.7	24.0	0.7			
	60代以上	300	55.3	62.7	48.3	42.0	42.3	38.3	20.7	39.0	18.0	7.3	34.7	0.0			
食品の関心有無	関心有	1227	50.1	53.4	43.7	38.9	36.7	36.3	18.9	32.5	18.5	11.2	26.5	0.5			
	関心無	273	45.4	30.8	22.3	26.7	15.8	17.9	9.9	13.9	9.5	8.4	15.4	0.4			
食品の安全意識	安心	787	53.7	52.0	40.9	37.5	34.7	33.4	15.8	31.1	16.6	9.9	22.5	0.3			
	不安	551	43.7	50.1	40.3	37.9	33.0	35.0	20.5	30.1	18.9	12.3	27.4	0.7			
	わからない	162	46.3	33.3	32.7	28.4	23.5	24.1	13.6	16.0	11.1	9.3	24.1	0.6			

Q10.食に関することで、現在どのようなことを実践していますか。（回答はいくつでも）

		n	家庭（手洗い）を徹底している	食品表示を理解し、確認をしている	食べ残しや食品の廃棄の削減に取組んでいる	食品と健康の関係を理解した食事をしている	知識を得る・安心に努めている	食の安全・安心に関する講演会、意見交換会等に参加している	生産者・事業者との交流・話し合いの場に参加している	食に関する講演会、意見交換会等に参加している	生産者・事業者へ意見を伝えていく	商品購入している事業者・生産者から情報を得ている	食の安全・安心に関する知識や情報を得ている	食の安全・安心に関する知識や情報を得ている	地域の職場で食の安全・安心に関する活動（出前講座の開催等）	その他	特になし
全体		1500	51.8	28.6	48.1	19.9	23.7	4.3	3.4	2.9	9.1	2.9	2.4	0.2	15.9		
年代別	20代以下	300	45.3	26.0	47.7	18.7	20.7	5.3	6.0	2.3	6.7	3.3	2.7	0.0	15.0		
	30代	300	49.3	23.7	40.7	16.7	23.0	5.7	4.3	6.0	9.0	5.7	2.3	0.0	16.3		
	40代	300	50.0	23.0	46.0	16.0	18.0	3.7	2.3	2.7	7.7	1.3	2.7	0.0	20.7		
	50代	300	48.3	28.0	42.3	20.3	21.7	5.0	2.7	2.3	9.3	1.7	2.0	0.0	19.7		
	60代以上	300	66.0	42.3	63.7	28.0	35.0	1.7	1.7	1.3	13.0	2.7	2.3	1.0	8.0		
食品の関心有無	関心有	1227	56.8	33.7	53.5	23.1	27.5	4.4	3.6	3.2	10.7	3.0	2.3	0.2	10.3		
	関心無	273	29.3	5.5	23.4	5.9	6.2	3.7	2.6	1.8	2.2	2.6	2.9	0.0	41.4		
食品の安全意識	安心	787	57.7	28.5	51.2	21.7	20.5	4.1	3.7	2.3	7.5	2.4	1.5	0.1	13.7		
	不安	551	47.4	33.9	49.5	20.9	32.7	5.1	3.1	4.0	13.6	3.6	2.9	0.4	12.9		
	わからない	162	38.3	11.1	27.8	8.0	8.6	2.5	3.1	2.5	1.9	3.1	4.9	0.0	37.0		

Q11.食に関することで、消費者はどのようなことに取り組むべきだと思いますか。(回答はいくつでも)

	n	家庭における日常の衛生管理 (手洗い、食品の適切な取扱い など)を徹底する	食品表示を理解し、確認する	食へ残しや食品の廃棄の削減す る	食品と健康の関係を理解した食 事を行う	食の安全・安心に関心をもち、 知識を得るよう努める	食に関する講演会、意見交換会 等に参加する	食に参画する	生産者・事業者との交流・話し 合いの場に参加する	食に関する意見を行政・事業 者・生産者へ伝える	食の安全・安心に積極的に取り 組んでいる事業者・生産者から 商品を購入する	食の安全・安心に関する知識や 情報を身につける	食の安全・安心に関する知識や 情報を伝える	地域や職場で食の安全・安心へ の関心が高まるよう活動する (出前講座の開催等)	その他
全体	1500	56.1	44.3	59.8	27.7	41.1	6.2	6.8	11.0	20.8	7.9	6.9	0.2		
年代別	20代以下	300	47.3	41.3	57.0	30.3	36.0	8.0	7.3	11.0	20.0	8.0	7.3	0.0	
	30代	300	54.7	39.7	53.7	25.7	38.3	8.3	7.7	14.0	18.0	8.3	7.7	0.3	
	40代	300	56.3	40.0	58.3	23.7	37.7	5.7	7.0	9.7	17.0	8.7	8.0	0.3	
	50代	300	54.7	44.7	60.3	27.3	40.7	5.0	7.3	10.0	19.3	8.7	5.0	0.3	
	60代以上	300	67.7	56.0	69.7	31.7	53.0	4.0	4.7	10.3	29.7	5.7	6.3	0.0	
食品の関心有無	関心有	1227	58.5	50.4	64.1	31.7	46.5	6.6	7.3	12.3	23.4	8.6	6.3	0.1	
	関心無	273	45.4	17.2	40.7	9.9	17.2	4.4	4.8	5.1	9.2	4.4	9.5	0.7	
食品の安全意識	安心	787	60.7	45.7	61.9	28.6	41.6	5.1	5.6	9.7	20.1	7.0	4.7	0.1	
	不安	551	51.7	46.8	59.2	30.7	45.2	8.2	9.1	14.5	24.9	10.0	9.3	0.4	
	わからない	162	48.8	29.0	51.9	13.6	25.3	4.9	4.9	5.6	10.5	4.9	9.3	0.0	

Q12.食の安全に関して、行政はどのようなことに取り組むべきだと思いますか。(回答はいくつでも)

	n	事業者、製造業者(生産者、加工者、流通 業者、食品表示の適正化の推進)	食品の事業者における自主的な衛生管 理・食品表示の適正化の推進	食品事業者への衛生管理指導・食品表 示指導の充実・強化	食品事業者を指導する人材の育成	食品事業者の充実・強化	輸入食品安全対策の推進	食アレルギー対策の推進	SNSによる情報発信	食の安全に関する講習会の開催	消費者・生産者・食品営業者・行政等 の相互理解の促進	危機管理体制の充実	その他	
全体	1500	54.1	37.8	45.3	31.2	44.4	38.1	21.7	23.1	13.7	25.1	27.5	0.5	
年代別	20代以下	300	49.7	35.7	40.7	32.0	44.7	34.3	29.3	28.3	17.0	30.0	28.7	0.0
	30代	300	49.3	36.3	41.7	32.0	42.3	31.7	25.0	16.3	25.3	25.0	0.0	
	40代	300	56.0	36.0	42.7	27.7	41.7	35.7	20.3	20.3	12.3	24.0	29.3	1.3
	50代	300	54.7	40.0	45.3	31.7	41.7	39.3	18.3	20.0	13.0	25.0	26.0	0.7
	60代以上	300	60.7	41.0	56.0	32.7	51.7	49.3	15.3	21.7	10.0	21.0	28.7	0.3
食品の関心有無	関心有	1227	57.0	41.5	49.6	34.0	47.5	42.0	23.6	25.7	14.5	27.1	28.9	0.4
	関心無	273	40.7	21.2	26.0	18.7	30.4	20.5	12.8	11.7	10.3	16.1	21.6	0.7
食品の安全意識	安心	787	56.9	39.5	47.0	32.7	44.2	39.4	22.4	23.9	13.3	25.5	26.4	0.1
	不安	551	52.1	37.9	47.2	31.6	46.8	40.5	21.4	25.0	15.2	26.0	29.0	1.1
	わからない	162	46.9	29.0	30.2	22.8	37.0	23.5	19.1	13.0	10.5	19.8	27.8	0.0

Q13-1. 「生鮮食品」を購入する時、どのようなことを重視しますか。(回答はいくつでも)

		n	鮮度	品質	重量	パッケージ	品種、ブランド	価格	生産地	国産品か輸入品か	生産者情報	販売者のイメージ	農薬使用の有無	栄養成分	自身や家族の健康	マスコミ情報(評判)	その他	生鮮食品は購入しない
全体		1500	78.7	57.9	12.7	7.1	13.3	63.9	41.3	38.7	9.6	5.1	13.8	8.8	11.2	2.7	0.0	2.5
年代別	20代以下	300	72.7	53.3	15.3	7.7	9.3	62.7	37.0	30.7	5.7	6.0	8.3	11.0	8.0	3.0	0.0	2.7
	30代	300	70.3	57.7	17.7	7.7	14.3	60.3	35.0	33.0	10.7	4.7	12.0	9.0	13.0	1.7	0.0	3.7
	40代	300	78.3	60.7	15.0	6.3	12.0	67.7	43.0	40.3	7.3	4.7	10.0	8.7	11.3	2.0	0.0	3.0
	50代	300	81.7	55.0	12.0	8.3	14.7	63.7	42.3	36.3	10.3	4.0	14.3	7.3	12.3	2.7	0.0	2.3
	60代以上	300	90.7	63.0	3.3	5.7	16.0	65.0	49.3	53.0	14.0	6.0	24.3	8.0	11.3	4.0	0.0	1.0
食品の関心有無	関心有	1227	82.8	62.3	14.2	7.7	14.9	65.9	47.0	43.6	11.0	5.5	16.2	10.2	12.6	2.8	0.0	1.3
	関心無	273	60.4	38.5	5.9	4.4	5.9	54.6	15.8	16.5	3.3	2.9	2.9	2.6	5.1	2.2	0.0	8.1
食品の安全意識	安心	787	82.1	61.0	13.9	7.8	11.2	66.8	39.3	38.6	8.0	5.6	10.2	8.5	10.9	2.3	0.0	1.8
	不安	551	77.0	57.9	12.7	6.5	18.3	60.8	49.2	43.2	13.6	4.9	21.8	10.2	12.5	3.3	0.0	2.4
	わからない	162	68.5	43.2	6.8	6.2	6.2	59.9	24.7	23.5	3.7	3.1	4.3	5.6	8.0	2.5	0.0	6.8

Q13-2. 「加工食品」を購入する時、どのようなことを重視しますか。(回答はいくつでも)

		n	期限	品質	内容量	パッケージ	ブランド	価格	国産品か輸入品か （例え、きゅうりの生産地、きゅうりの生産国）	原料 （例え、きゅうりの生産地、きゅうりの生産国）	製造者のイメージ	販売者のイメージ	添加物の有無	栄養成分	自身や家族の健康	マスコミ情報(評判)	その他	加工食品は購入しない
全体		1500	57.7	49.9	27.5	8.5	17.1	60.0	28.9	28.9	10.9	6.4	28.7	12.3	11.3	2.7	0.0	2.7
年代別	20代以下	300	52.0	43.0	39.0	10.3	17.7	60.3	21.3	19.3	8.0	5.7	24.0	12.3	10.3	3.0	0.0	3.7
	30代	300	49.3	46.3	32.0	8.7	16.7	57.3	26.0	23.0	10.3	8.7	26.7	14.0	12.3	2.0	0.0	3.3
	40代	300	55.3	45.0	29.0	7.7	17.0	63.3	29.7	29.3	11.0	7.0	25.3	10.3	10.7	1.3	0.0	3.3
	50代	300	60.3	49.3	20.7	8.3	16.7	60.7	26.3	30.0	13.3	6.3	24.7	14.0	10.0	2.7	0.0	2.0
	60代以上	300	71.3	65.7	17.0	7.3	17.3	58.3	41.0	43.0	11.7	4.3	42.7	10.7	13.0	4.7	0.0	1.0
食品の関心有無	関心有	1227	60.5	54.8	29.6	9.2	18.5	61.6	33.1	33.6	12.0	6.9	34.0	14.2	12.8	3.0	0.0	1.5
	関心無	273	45.1	27.8	18.3	5.1	10.6	52.7	9.9	8.1	5.9	4.0	4.8	3.7	4.4	1.5	0.0	8.1
食品の安全意識	安心	787	61.5	52.0	30.9	9.5	18.8	63.9	25.3	25.9	12.1	7.0	22.5	12.1	10.9	2.7	0.0	1.9
	不安	551	55.0	50.5	23.6	7.3	16.7	55.9	37.9	37.6	10.7	6.4	42.3	14.7	12.7	3.1	0.0	2.7
	わからない	162	48.1	37.7	24.7	7.4	9.9	54.9	15.4	14.2	5.6	3.7	12.3	4.9	8.0	1.9	0.0	6.2

食中毒についてお伺いいたします

Q14.食中毒を防ぐためには、食中毒菌を「つけない」・「ふやさない」・「やっつける」ことが重要です。これを「食中毒予防の3原則」といいます。食中毒にならないようにするための「食中毒予防の3原則」を知っていましたか。(回答は1つだけ)

		n	よく知っていた	ある程度知っていた	あまり知らなかった	全く知らなかった
全体		1500	9.5	32.5	34.3	23.7
年代別	20代以下	300	15.0	32.0	28.0	25.0
	30代	300	8.3	29.3	34.7	27.7
	40代	300	6.0	30.3	36.0	27.7
	50代	300	9.7	32.0	37.0	21.3
	60代以上	300	8.7	38.7	35.7	17.0
食品の関心有無	関心有	1227	11.2	35.6	34.5	18.7
	関心無	273	1.8	18.3	33.3	46.5
食品の安全意識	安心	787	11.2	34.8	31.4	22.6
	不安	551	9.4	31.8	38.5	20.3
	わからない	162	1.9	23.5	34.0	40.7

Q15.ふだん、食中毒を予防するために、どのようなことを行っていますか。(回答はいくつでも)

		n	選 び、 魚 は 期 限 表 示 を く 確 か め る の を	庫 傷 み や す い 食 品 は 、 早 め に 冷 蔵	め す ぎ な い の 7 割 を 目 安 に 詰	意 す る 冷 蔵 庫 の 温 度 管 理 に 注	う は 、 石 け ん と 流 水 で 手 を よ く 洗	調 理 す る 前 や 生 も の を 触 っ た 後	は 、 よ く 洗 っ て か ら 消 毒 す る	包 丁 や ま な 板 な ど の 調 理 器 具	調 理 す る と き は し っ か り 加 熱 す	肉 類 は 生 や 半 生 で 食 べ な い	調 理 し た 食 品 は 、 で き る だ け 早	暑 い と こ ろ に 放 置 し な い	弁 当 な ど は 必 ず 当 日 に 調 理 し、	思 い 切 っ て 捨 て る	時 間 が た ち す ぎ て い た り、 少 し	そ の 他	特 に な し
全体		1500	55.7	64.5	19.3	18.8	41.9	43.6	53.0	50.8	40.2	31.9	35.7	0.0	8.5				
年代別	20代以下	300	51.0	59.0	21.0	16.3	44.0	38.3	52.3	49.7	32.0	29.3	28.0	0.0	11.3				
	30代	300	46.7	62.0	17.0	20.0	49.3	42.0	57.7	54.3	39.3	33.0	38.0	0.0	9.7				
	40代	300	54.0	63.0	14.3	16.0	44.0	43.7	55.3	45.7	40.7	34.3	36.3	0.0	10.3				
	50代	300	56.3	65.7	20.7	20.7	34.3	40.7	44.7	47.0	39.3	26.7	32.3	0.0	8.0				
	60代以上	300	70.3	72.7	23.7	21.0	38.0	53.3	55.0	57.3	49.7	36.0	44.0	0.0	3.3				
食品の関心有無	関心有	1227	60.9	70.5	22.2	21.0	46.8	47.6	57.3	54.7	43.9	35.6	39.2	0.0	4.6				
	関心無	273	32.2	37.4	6.6	8.8	20.1	25.6	33.7	33.3	23.4	15.0	20.1	0.0	26.0				
食品の安全意識	安心	787	56.5	68.4	20.7	18.0	42.2	42.2	53.6	53.2	40.5	31.9	37.0	0.0	6.0				
	不安	551	58.6	65.0	20.9	22.5	44.5	49.4	53.9	50.8	42.6	33.9	35.9	0.0	7.6				
	わからない	162	41.4	43.8	7.4	9.9	32.1	30.9	46.9	38.9	30.2	24.7	29.0	0.0	24.1				

農業についてお伺いいたします

Q16.農薬取締法により、農薬は、使用できる作物や使用できる時期・量など、決められた使用基準のとおりや使用すれば、安全である仕組み（農薬の登録制度）になっています。この安全である仕組み（農薬の登録制度）について知っていましたか。（回答は1つだけ）

		n	よ く 知 っ て い た	あ る 程 度 知 っ て い た	あ ま り 知 ら な か っ た	全 く 知 ら な か っ た
全体		1500	5.4	27.1	42.1	25.4
年代別	20代以下	300	8.7	25.3	36.7	29.3
	30代	300	5.7	24.0	38.0	32.3
	40代	300	3.0	21.0	47.0	29.0
	50代	300	5.0	28.7	45.0	21.3
	60代以上	300	4.7	36.7	43.7	15.0
食品の関心有無	関心有	1227	5.9	30.4	43.2	20.5
	関心無	273	2.9	12.5	37.0	47.6
食品の安全意識	安心	787	6.1	29.5	41.3	23.1
	不安	551	5.4	27.9	45.6	21.1
	わからない	162	1.9	13.0	34.0	51.2

Q17.農産物への農薬の使用について、どのように考えますか。(回答は1つだけ)

		n	さ れ 使 用 基 準 に 基 づ い て 問 題 な い	め 農 産 物 を 安 定 的 に 収 穫 す る た	ほ し い	基 準 を 守 る だ け で な く よ う に 使 用 し て は	一 切 食 用 し な い で ほ し い	気 に し て い な い	わ か ら な い
全体		1500	22.9	20.3	35.0	5.9	7.3	8.7	
年代別	20代以下	300	26.7	21.7	24.7	5.0	11.0	11.0	
	30代	300	23.0	21.3	29.3	6.3	8.0	12.0	
	40代	300	21.0	21.7	34.3	5.3	6.3	11.3	
	50代	300	22.0	20.3	36.7	5.7	7.7	7.7	
	60代以上	300	21.7	16.3	50.0	7.0	3.3	1.7	
食品の関心有無	関心有	1227	23.7	22.1	39.0	6.3	4.5	4.5	
	関心無	273	19.0	12.1	17.2	4.0	19.8	27.8	
食品の安全意識	安心	787	30.5	23.9	32.3	3.0	6.1	4.2	
	不安	551	13.4	16.9	45.0	11.3	5.6	7.8	
	わからない	162	17.9	14.2	14.2	1.2	18.5	34.0	

食品添加物についてお伺いいたします

Q18.食品添加物の使用について、どのように考えますか。(回答は1つだけ)

		n	い れ ば 基 準 に 基 づ い て 問 題 な い	と 整 え る な ど の 食 品 の 保 存 性 を 得 る の 利 便 性 を 考 え る	食 品 の 性 質 の 向 上 を 考 え る	く 少 な く 守 る だ け で な く 、 使 用 は な る べ	基 準 を 守 る だ け で な く 、 使 用 は な る べ	切 食 品 の 保 存 性 や 品 質 が 低 下 し て も、 一	気 に し て い な い	わ か ら な い
全体		1500	21.2	14.5	41.5	6.7	7.7	8.5		
年代別	20代以下	300	25.0	20.3	28.0	6.3	11.3	9.0		
	30代	300	20.7	16.7	34.3	7.0	9.0	12.3		
	40代	300	19.0	11.7	45.7	5.0	7.7	11.0		
	50代	300	22.0	13.3	43.0	5.3	8.7	7.7		
	60代以上	300	19.3	10.3	56.3	9.7	2.0	2.3		
食品の関心有無	関心有	1227	21.6	15.9	46.2	7.6	4.4	4.3		
	関心無	273	19.4	8.1	20.1	2.6	22.7	27.1		
食品の安全意識	安心	787	28.3	17.9	39.6	3.4	6.2	4.4		
	不安	551	10.9	12.9	51.2	12.2	6.0	6.9		
	わからない	162	21.6	3.1	17.3	3.7	21.0	33.3		

食物アレルギーについてお伺いいたします

Q19.食物アレルギーの症状には、かゆみや息苦しさ、吐き気、おう吐など様々な症状があることを知っていましたか。(回答は1つだけ)

		n	よく知っていた	ある程度知っていた	あまり知らなかった	ほとんど知らなかった
全体		1500	25.2	44.1	22.9	7.7
年代別	20代以下	300	37.3	37.3	15.7	9.7
	30代	300	24.3	43.3	20.7	11.7
	40代	300	22.0	46.0	24.0	8.0
	50代	300	20.0	43.0	32.0	5.0
	60代以上	300	22.3	51.0	22.3	4.3
食品の関心有無	関心有	1227	27.8	46.9	21.1	4.2
	関心無	273	13.6	31.9	31.1	23.4
食品の安全意識	安心	787	28.7	45.4	20.8	5.1
	不安	551	22.3	45.6	25.2	6.9
	わからない	162	17.9	33.3	25.3	23.5

Q20.家族以外の子どもに食べものを提供する際、食物アレルギーの有無を確認していますか。(回答は1つだけ)

		n	よく確認している	ある程度確認している	あまり確認していない	ほとんど確認していない	供すどもに機会はないものを提供
全体		1500	12.4	26.9	21.9	11.4	27.5
年代別	20代以下	300	21.0	24.0	17.7	6.0	31.3
	30代	300	11.3	28.3	20.0	6.3	34.0
	40代	300	10.7	29.0	22.0	13.0	25.3
	50代	300	11.0	20.3	26.3	16.0	26.3
	60代以上	300	8.0	32.7	23.3	15.7	20.3
食品の関心有無	関心有	1227	13.6	30.2	22.1	9.8	24.4
	関心無	273	7.0	12.1	20.9	18.7	41.4
食品の安全意識	安心	787	14.4	27.1	23.0	10.7	24.9
	不安	551	11.6	29.2	24.1	11.3	23.8
	わからない	162	5.6	17.9	8.6	15.4	52.5

食品表示についてお問い合わせいたします

Q21.食品を購入する時、(1)~(12)の表示について、どのくらい見るようにしていますか。それぞれあてはまるものを1~5よりお答えください。

(それぞれ1つ選択)

1.原材料

		n	必ず見る	ほとんど見る	ときどき見る	ほとんど見ない	全く見ない
全体		1473	16.6	21.5	38.5	15.5	7.9
年代別	20代以下	294	16.0	18.7	37.8	15.3	12.2
	30代	293	17.4	21.8	36.5	16.0	8.2
	40代	292	15.1	20.9	40.1	14.7	9.2
	50代	296	13.9	19.9	41.2	18.6	6.4
	60代以上	298	20.8	26.2	36.9	12.8	3.4
食品の関心有無	関心有	1218	19.0	24.6	39.5	12.4	4.4
	関心無	255	5.1	6.7	33.7	30.2	24.3
食品の安全意識	安心	776	12.9	22.4	40.2	16.4	8.1
	不安	543	24.5	22.3	37.2	12.2	3.9
	わからない	154	7.8	14.3	34.4	22.7	20.8

2.食品添加物

		n	必ず見る	ほとんど見る	ときどき見る	ほとんど見ない	全く見ない
全体		1473	13.0	17.0	37.1	22.6	10.4
年代別	20代以下	294	13.3	10.5	37.4	22.4	16.3
	30代	293	12.6	13.3	39.9	23.2	10.9
	40代	292	10.6	19.5	36.3	22.3	11.3
	50代	296	10.8	16.2	38.9	24.3	9.8
	60代以上	298	17.4	25.2	32.9	20.8	3.7
食品の関心有無	関心有	1218	14.9	19.3	39.4	20.0	6.4
	関心無	255	3.5	5.9	25.9	35.3	29.4
食品の安全意識	安心	776	9.5	15.9	39.6	24.4	10.7
	不安	543	20.8	19.9	37.2	17.1	5.0
	わからない	154	2.6	12.3	24.0	33.1	27.9

3.期限（消費期限・賞味期限）

		n	必ず見る	ほとんど見る	ときどき見る	ほとんど見ない	全く見ない
全体		1473	58.2	23.6	12.6	3.1	2.4
年代別	20代以下	294	57.8	21.1	13.9	3.7	3.4
	30代	293	57.0	22.2	15.4	3.4	2.0
	40代	292	58.2	20.9	14.7	3.1	3.1
	50代	296	55.1	27.0	12.5	2.4	3.0
	60代以上	298	63.1	26.5	6.7	3.0	0.7
食品の関心有無	関心有	1218	62.5	24.1	10.5	2.0	0.9
	関心無	255	38.0	20.8	22.7	8.6	9.8
食品の安全意識	安心	776	59.9	25.8	9.9	2.7	1.7
	不安	543	58.7	21.4	14.5	3.7	1.7
	わからない	154	48.1	20.1	19.5	3.2	9.1

4.保存方法

		n	必ず見る	ほとんど見る	ときどき見る	ほとんど見ない	全く見ない
全体		1473	21.5	26.7	33.7	12.8	5.4
年代別	20代以下	294	22.4	24.5	34.7	11.6	6.8
	30代	293	21.2	22.9	36.2	13.7	6.1
	40代	292	17.1	24.0	36.6	14.4	7.9
	50代	296	22.6	25.3	34.5	13.2	4.4
	60代以上	298	23.8	36.6	26.5	11.1	2.0
食品の関心有無	関心有	1218	24.1	29.1	32.8	10.8	3.3
	関心無	255	9.0	14.9	38.0	22.4	15.7
食品の安全意識	安心	776	22.2	27.3	33.6	12.6	4.3
	不安	543	23.4	28.0	30.8	13.8	4.1
	わからない	154	11.0	18.8	44.2	9.7	16.2

5.使用方法（生食用、加熱用など）

		n	必ず見る	ほとんど見る	ときどき見る	ほとんど見ない	全く見ない
全体		1473	27.2	29.3	27.6	10.3	5.5
年代別	20代以下	294	25.9	28.6	27.9	9.9	7.8
	30代	293	28.3	27.6	27.6	10.2	6.1
	40代	292	24.3	25.3	32.5	11.3	6.5
	50代	296	25.3	27.7	30.1	11.5	5.4
	60代以上	298	32.2	37.2	20.1	8.7	1.7
食品の関心有無	関心有	1218	30.6	31.3	26.6	8.3	3.2
	関心無	255	11.0	20.0	32.5	20.0	16.5
食品の安全意識	安心	776	27.4	31.7	26.0	10.4	4.4
	不安	543	30.2	28.5	27.6	10.3	3.3
	わからない	154	15.6	20.1	35.7	9.7	18.8

6.栄養成分等

		n	必ず見る	ほとんど見る	ときどき見る	ほとんど見ない	全く見ない
全体		1473	8.4	18.5	38.2	24.2	10.7
年代別	20代以下	294	10.2	21.1	34.0	19.0	15.6
	30代	293	9.2	18.4	40.3	21.2	10.9
	40代	292	8.9	15.1	40.4	24.3	11.3
	50代	296	7.8	15.9	35.8	29.7	10.8
	60代以上	298	5.7	21.8	40.6	26.8	5.0
食品の関心有無	関心有	1218	9.3	20.9	40.1	22.5	7.3
	関心無	255	3.9	7.1	29.4	32.5	27.1
食品の安全意識	安心	776	7.7	18.6	36.5	26.8	10.4
	不安	543	10.3	21.2	42.0	20.1	6.4
	わからない	154	4.5	8.4	33.8	26.0	27.3

7.製造者・販売者・輸入者

		n	必ず見る	ほとんど見る	ときどき見る	ほとんど見ない	全く見ない
全体		1473	11.1	20.8	37.7	20.7	9.8
年代別	20代以下	294	8.5	17.0	34.4	23.8	16.3
	30代	293	10.2	17.7	39.9	21.2	10.9
	40代	292	12.7	19.2	39.7	17.8	10.6
	50代	296	9.5	22.0	37.2	24.7	6.8
	60代以上	298	14.4	27.9	37.2	16.1	4.4
食品の関心有無	関心有	1218	12.7	23.2	39.9	18.3	5.8
	関心無	255	3.1	9.0	27.1	32.2	28.6
食品の安全意識	安心	776	9.3	20.9	37.4	22.6	9.9
	不安	543	14.9	23.0	38.3	18.0	5.7
	わからない	154	6.5	12.3	37.0	20.8	23.4

8.原産地・原産国・原料原産地

		n	必ず見る	ほとんど見る	ときどき見る	ほとんど見ない	全く見ない
全体		1473	21.5	26.4	32.5	12.3	7.4
年代別	20代以下	294	15.6	21.1	34.0	16.0	13.3
	30代	293	20.1	22.9	34.1	14.0	8.9
	40代	292	22.3	26.4	33.6	11.0	6.8
	50代	296	20.3	28.7	33.1	12.5	5.4
	60代以上	298	28.9	32.9	27.5	8.1	2.7
食品の関心有無	関心有	1218	24.4	29.3	33.1	9.4	3.9
	関心無	255	7.5	12.5	29.4	26.3	24.3
食品の安全意識	安心	776	18.3	26.4	34.9	13.0	7.3
	不安	543	28.2	28.7	28.7	10.5	3.9
	わからない	154	13.6	18.2	33.1	14.9	20.1

9.遺伝子組換え食品の表示

		n	必ず見る	ほとんど見る	ときどき見る	ほとんど見ない	全く見ない
全体		1473	11.1	18.3	33.6	23.4	13.6
年代別	20代以下	294	6.1	14.6	32.3	25.2	21.8
	30代	293	8.5	16.7	32.4	27.0	15.4
	40代	292	12.0	14.4	40.4	19.2	14.0
	50代	296	12.2	19.9	32.8	24.0	11.1
	60代以上	298	16.8	25.8	30.2	21.5	5.7
食品の関心有無	関心有	1218	13.0	20.8	35.3	21.9	9.0
	関心無	255	2.4	6.7	25.5	30.2	35.3
食品の安全意識	安心	776	8.5	17.7	33.2	26.7	13.9
	不安	543	17.1	22.1	34.6	18.6	7.6
	わからない	154	3.2	8.4	31.8	23.4	33.1

10.アレルギー表示（アレルゲン）

		n	必ず見る	ほとんど見る	ときどき見る	ほとんど見ない	全く見ない
全体		1473	10.1	16.0	33.2	26.2	14.5
年代別	20代以下	294	10.5	14.3	31.3	24.8	19.0
	30代	293	9.6	14.0	33.8	26.3	16.4
	40代	292	9.6	14.0	33.2	27.1	16.1
	50代	296	9.5	15.5	33.8	27.7	13.5
	60代以上	298	11.4	21.8	33.9	25.2	7.7
食品の関心有無	関心有	1218	11.2	17.9	35.4	25.3	10.2
	関心無	255	4.7	6.7	22.7	30.6	35.3
食品の安全意識	安心	776	8.4	16.9	32.5	27.7	14.6
	不安	543	14.2	17.3	35.5	23.8	9.2
	わからない	154	4.5	6.5	28.6	27.3	33.1

11.保健機能の表示※【特定保健用食品（トクホ）、栄養機能食品、機能性表示食品】

		n	必ず見る	ほとんど見る	ときどき見る	ほとんど見ない	全く見ない
全体		1473	5.9	15.0	37.3	27.4	14.5
年代別	20代以下	294	6.1	15.0	34.0	24.5	20.4
	30代	293	4.4	11.3	38.2	29.0	17.1
	40代	292	4.8	14.4	38.0	26.0	16.8
	50代	296	6.4	14.2	37.2	30.7	11.5
	60代以上	298	7.7	20.1	38.9	26.5	6.7
食品の関心有無	関心有	1218	6.8	16.9	39.1	26.4	10.8
	関心無	255	1.6	5.9	28.6	31.8	32.2
食品の安全意識	安心	776	5.8	14.9	37.4	27.3	14.6
	不安	543	7.4	17.3	38.1	28.0	9.2
	わからない	154	1.3	7.1	33.8	25.3	32.5

12.有機栽培などのマーク（有機JAS、特別栽培等）

		n	必ず見る	ほとんど見る	ときどき見る	ほとんど見ない	全く見ない
全体		1473	5.4	12.6	35.4	30.6	16.0
年代別	20代以下	294	4.1	13.3	31.3	26.9	24.5
	30代	293	3.4	10.2	35.8	32.4	18.1
	40代	292	5.8	11.0	34.9	30.8	17.5
	50代	296	6.8	10.8	35.1	33.8	13.5
	60代以上	298	7.0	17.8	39.6	29.2	6.4
食品の関心有無	関心有	1218	6.4	14.4	37.6	29.6	12.0
	関心無	255	0.8	3.9	24.7	35.7	34.9
食品の安全意識	安心	776	3.6	12.6	33.9	34.0	15.9
	不安	543	9.0	15.1	39.4	25.6	10.9
	わからない	154	1.9	3.9	28.6	31.2	34.4

Q22.「消費期限」と「賞味期限」の意味と違いを理解していましたか。（回答は1つだけ）

		n	よく理解していた	ある程度理解していた	かあったり理解していない	かほとんど理解していない
全体		1500	33.4	48.5	13.0	5.1
年代別	20代以下	300	44.3	39.0	10.0	6.7
	30代	300	36.7	42.3	13.0	8.0
	40代	300	28.3	53.3	14.7	3.7
	50代	300	26.7	52.0	16.7	4.7
	60代以上	300	31.0	56.0	10.7	2.3
食品の関心有無	関心有	1227	36.7	50.5	10.8	2.0
	関心無	273	18.7	39.6	22.7	19.0
食品の安全意識	安心	787	37.9	49.3	10.9	1.9
	不安	551	30.3	47.7	16.7	5.3
	わからない	162	22.2	47.5	10.5	19.8

Q23.エネルギー等の栄養成分表示について見方を知っていますか。（回答は1つだけ）

		n	よく知っている	ある程度知っている	あまり知らない	ほとんど知らない
全体		1500	9.7	42.6	36.5	11.2
年代別	20代以下	300	19.7	43.7	26.7	10.0
	30代	300	8.3	43.0	34.0	14.7
	40代	300	7.0	41.3	39.3	12.3
	50代	300	6.7	40.3	40.7	12.3
	60代以上	300	7.0	44.7	41.7	6.7
食品の関心有無	関心有	1227	10.9	47.3	34.3	7.5
	関心無	273	4.4	21.6	46.2	27.8
食品の安全意識	安心	787	12.1	45.7	33.8	8.4
	不安	551	8.3	42.1	39.9	9.6
	わからない	162	3.1	29.0	37.7	30.2

食の安全に関する情報についてお伺いいたします

Q24.食の安全に関する情報を何から入手していますか。(回答はいくつでも)

		n	テレビ	ラジオ	新聞	書籍・雑誌	店舗や行政機関等の掲示物・配布物	インターネット	YouTube(YouTube)	Facebook(フェイスブック)	X(旧Twitter)(旧ツイッター)	Instagram(インスタグラム)	LINE(ライン)	LINE(ライン)	LINE(ライン)	LINE(ライン)	LINE(ライン)	講演会・セミナー	家族や友人・知人	その他	特になし
全体		1500	62.4	9.5	21.7	12.5	10.0	50.7	16.4	1.7	10.5	9.5	2.6	4.6	2.3	17.1	0.7	10.8			
年代別	20代以下	300	52.3	4.7	8.3	10.7	8.7	42.0	20.7	0.7	24.3	24.7	8.0	6.3	1.3	13.7	1.7	14.3			
	30代	300	58.0	9.0	8.3	11.7	8.7	46.3	21.0	3.0	15.3	12.0	1.7	6.0	4.0	18.7	1.0	11.7			
	40代	300	61.3	10.0	17.0	15.3	7.0	54.7	17.7	1.3	6.3	6.7	2.7	2.3	2.3	13.7	0.0	10.7			
	50代	300	63.0	13.0	26.3	12.0	9.0	53.0	11.7	1.0	3.7	2.0	0.3	3.3	1.7	15.3	0.7	12.0			
	60代以上	300	77.3	11.0	48.7	13.0	16.7	57.3	11.0	2.3	3.0	2.3	0.3	5.0	2.0	24.3	0.3	5.3			
食品の関心有無	関心有	1227	65.1	10.7	24.7	14.5	11.4	55.7	18.7	1.8	11.3	10.3	2.7	5.0	2.6	19.0	0.9	6.9			
	関心無	273	50.2	4.4	8.4	3.7	3.7	27.8	6.2	1.1	7.0	6.2	2.2	2.9	0.7	8.8	0.0	28.2			
食品の安全意識	安心	787	67.6	9.3	22.5	12.7	9.4	49.2	15.6	1.4	11.6	10.3	3.4	5.2	1.9	16.1	0.9	9.8			
	不安	551	59.3	11.1	24.5	14.3	12.7	57.2	19.4	2.2	10.0	9.4	1.8	4.0	3.3	19.2	0.7	6.7			
	わからない	162	47.5	5.6	8.6	5.6	3.7	35.8	9.9	1.2	7.4	6.2	1.2	3.7	0.6	14.8	0.0	29.6			

Q25.群馬県では、県ホームページのほか、情報紙やSNS等を使って食の安全に関する情報を発信しています。以下の情報をご覧になったことはありますか。(回答はいくつでも)

		n	「ぐんま食の安全・安心ポータルサイト」(群馬県ホームページ)	群馬県公式X(旧Twitter)	群馬県公式YouTube(tsukenos YouTube)	情報	Facebook「ぐんま食の安全情報」	X(旧Twitter)「ぐんま食の安全情報」	LINE「ぐんま食の安全情報」(群馬県デジタル窓口)	情報紙「ぐんま食の安全情報」	情報紙「ぐんま知っ得食品表示」	講演会・出前講座等	特になし
全体		1500	13.9	6.3	4.1	2.1	3.6	4.8	4.9	2.5	0.8	74.4	
年代別	20代以下	300	11.3	11.0	3.3	1.7	6.0	4.0	3.0	1.3	0.0	73.3	
	30代	300	12.3	8.7	5.7	2.7	7.3	7.0	4.0	2.7	1.3	73.3	
	40代	300	13.3	5.7	4.3	2.3	2.7	3.7	3.7	2.7	0.0	76.3	
	50代	300	14.7	4.3	4.0	2.3	1.3	4.0	6.3	2.3	1.0	76.0	
	60代以上	300	17.7	1.7	3.3	1.7	0.7	5.3	7.7	3.7	1.7	73.0	
食品の関心有無	関心有	1227	16.1	6.8	4.8	2.4	3.8	5.4	5.5	2.8	0.8	71.7	
	関心無	273	3.7	4.0	1.1	0.7	2.6	2.2	2.6	1.5	0.7	86.4	
食品の安全意識	安心	787	16.4	7.5	3.8	2.2	4.1	5.6	4.6	2.8	0.9	72.9	
	不安	551	13.6	5.3	5.1	2.5	3.3	4.4	6.0	2.4	0.7	72.8	
	わからない	162	2.5	3.7	2.5	0.6	2.5	2.5	3.1	1.9	0.6	87.0	

Q26.食品の安全性について理解を深める方法として、どのような手段が有効だと思いますか。(回答はいくつでも)

		n	専門の講師による講演・セミナー	消費者と事業者の意見交換会	学・現場体験	農場、工場など食の見学	紙面による情報提供	広報紙、チラシなど	ホームページなどによる情報提供	YouTubeによる動画配信	YouTubeによる動画配信	Facebookによる動画配信	Twitterによる動画配信	Instagramによる動画配信	LINEによる情報提供	LINEによる情報提供	出張講座(担当職員が解説)	出張講座(担当職員が解説)	電話・メールなどによる相談対応	その他
全体		1500	18.4	12.4	27.0	36.8	41.3	29.9	5.1	17.7	14.8	7.1	14.1	4.5	7.5	0.6				
年代別	20代以下	300	18.3	11.3	23.7	25.0	28.3	40.7	4.3	36.0	32.3	14.3	18.7	4.3	8.0	0.3				
	30代	300	22.7	12.7	26.0	27.0	40.3	32.7	6.3	24.7	19.7	7.0	15.3	4.0	9.3	0.3				
	40代	300	14.0	13.0	28.7	36.3	40.0	29.3	6.7	14.3	11.3	8.0	13.3	4.0	7.0	1.3				
	50代	300	17.7	14.3	27.3	37.3	43.0	26.0	5.0	9.3	6.3	4.7	11.0	3.3	7.3	1.0				
	60代以上	300	19.3	10.7	29.3	58.3	55.0	20.7	3.3	4.3	4.3	1.7	12.0	7.0	6.0	0.0				
食品の関心有無	関心有	1227	19.6	13.9	29.2	39.4	43.7	31.5	5.9	18.5	16.1	7.7	15.6	5.1	7.1	0.7				
	関心無	273	13.2	5.9	17.2	24.9	30.8	22.7	1.8	14.3	8.8	4.8	7.3	2.2	9.5	0.4				
食品の安全意識	安心	787	18.8	12.6	28.8	38.6	41.9	31.0	5.3	20.8	17.0	8.9	14.6	4.4	8.1	0.5				
	不安	551	19.2	13.4	27.8	37.0	41.6	31.4	5.8	14.5	12.9	4.5	14.7	4.7	5.6	0.7				
	わからない	162	13.6	8.0	15.4	27.2	37.7	19.1	1.9	13.6	10.5	7.4	9.3	4.3	11.1	0.6				

Q27.食品の安全性について、どんな情報を知りたいと思いますか。(回答はいくつでも)

		n	食中毒	農薬	食品添加物	輸入食品	遺伝子組換え食品	健康食品	食品表示	食物アレルギー	放射性物質	食べものと健康の関係	正しい情報選択・情報読み解き方	その他
全体		1500	42.8	35.5	44.8	32.5	29.1	17.3	21.7	26.6	24.5	28.5	26.8	0.0
年代別	20代以下	300	45.0	27.7	38.7	23.0	21.7	21.7	19.0	31.7	17.0	27.7	24.7	0.0
	30代	300	39.0	30.7	45.3	27.3	24.3	21.0	26.7	28.3	21.7	30.7	30.0	0.0
	40代	300	39.7	38.0	46.0	34.3	29.3	16.7	21.3	23.3	26.0	30.0	24.7	0.0
	50代	300	43.7	36.3	41.3	32.7	30.7	11.7	18.3	23.7	24.7	26.7	27.3	0.0
	60代以上	300	46.7	44.7	52.7	45.0	39.7	15.7	23.3	26.0	33.3	27.3	27.3	0.0
食品の関心有無	関心有	1227	45.4	40.7	51.1	36.7	32.9	18.8	24.2	28.9	27.5	29.1	25.8	0.0
	関心無	273	31.1	12.1	16.5	13.6	12.1	10.6	10.6	16.1	11.4	25.6	31.1	0.0
食品の安全意識	安心	787	48.3	32.7	39.5	32.1	25.8	18.4	20.6	26.6	22.6	28.5	26.0	0.0
	不安	551	36.8	44.3	58.1	37.4	37.7	18.3	25.2	28.7	30.3	27.6	25.2	0.0
	わからない	162	36.4	19.1	25.3	17.3	16.0	8.6	15.4	19.8	14.2	31.5	35.8	0.0

2 アンケート画面

あなたご自身に関するアンケート

モニターの皆様へのお願い

本アンケートには、一般に公開していない情報が含まれる場合があります。

本アンケート内で知り得た情報について、決して第三者に口外しないよう、お願いします。

「第三者への口外」に含まれる例

- 口頭、電話、メール等で友人・知人に話す
- SNSやブログ、掲示板等へ書き込む
- その他、手段を問わず、情報を第三者に伝達する行為

注意事項

- 複数のアンケート画面を同時に開くと、正常に回答できません。アンケートはひとつずつご回答ください。
- アンケートへの回答は、「動作環境」に記載の環境からお願いします。
- 本アンケートは、回答を中断してから1時間以内は中断した質問から再開可能です。（システム緊急対応等により再開できない場合もありますので、予めご了承ください。）
- 未成年者、成年被後見人、被保佐人または被補助人である方は、必ず保護者その他の法定代理人に同意を得た上でご参加ください。アンケートの途中で同意をいただく場面が生じた場合も、個別に保護者その他の法定代理人に同意を得ていただくよう、お願いします。
- 回答結果は、当社の「個人情報保護方針」に基づいて取り扱います。
- 回答結果は、性別・年齢・居住都道府県等を付記した上で、本アンケートの依頼主に提供されます。
- 本アンケート内で個別に同意を得ない限り、氏名・メールアドレス等の個人を特定できる情報を削除または加工（暗号化を含みます）せずに依頼主に提供することはありません。
- 当社は依頼主から回答や分析結果の一部を取得して、後日別の調査の案内を送付するために利用することがあります。
- 回答内容や分析結果に健康情報や疾患傾向等の要配慮個人情報が含まれていた場合、当社が当該要配慮個人情報を取得することがあります。

上記の内容をご確認いただき、同意してご協力いただける場合のみ、「同意し、アンケート開始」を押してアンケートを開始してください。

同意し、アンケート開始

SC1
必須 あなたの年齢をお答えください。

- 1. 10歳代
- 2. 20歳代
- 3. 30歳代
- 4. 40歳代
- 5. 50歳代
- 6. 60歳代
- 7. 70歳以上

次へ

SC2
必須 あなたのご職業をお答えください。

- 1. 会社員・公務員
- 2. 自営業
- 3. パート・アルバイト
- 4. 専業主婦（主夫）
- 5. 学生
- 6. 無職
- 7. その他

次へ

SC3
必須

あなたのお住まいの市町村をお答え下さい。

- 1. 安中市
- 2. 伊勢崎市
- 3. 板倉町
- 4. 上野村
- 5. 邑楽町
- 6. 大泉町
- 7. 太田市
- 8. 片品村
- 9. 川場村
- 10. 神流町
- 11. 甘楽町
- 12. 桐生市
- 13. 草津町
- 14. 渋川市
- 15. 下仁田町
- 16. 昭和村
- 17. 榛東村
- 18. 高崎市
- 19. 高山村
- 20. 館林市
- 21. 玉村町
- 22. 千代田町
- 23. 嬭恋村
- 24. 富岡市
- 25. 中之条町
- 26. 長野原町
- 27. 南牧村
- 28. 沼田市
- 29. 東吾妻町
- 30. 藤岡市
- 31. 前橋市

- 32. みどり市
- 33. みなかみ町
- 34. 明和町
- 35. 吉岡町
- 36. 群馬県以外の地域

次へ

必須 このアンケートは、群馬県にお住まいの方を対象に「食の安全・安心」について調査を行い、群馬県の計画策定や施策を行うための基礎資料として活用させていただくものです。御多忙とは存じますが、趣旨を御理解の上、御回答くださいますようお願い申し上げます。

次へ

生活上のリスクについてお伺いいたします

Q1 必須 我が国が直面している次の諸問題の中で、不安に感じているものはどれですか。（回答は3つまで）

- 1. 環境・エネルギー問題
- 2. 自然災害
- 3. 社会生活上の問題（教育上の諸問題、人間関係のトラブルなど）
- 4. 経済問題（経済悪化、経済不安定など）
- 5. 政治・行政の問題（政治不信、少子高齢化など）
- 6. 健康問題（生活習慣病、感染症など）
- 7. 食品問題
- 8. 犯罪
- 9. サイバー空間の問題（不正アクセス、なりすましなど）
- 10. 事故
- 11. 戦争
- 12. 特になし

次へ

Q2 食に関連する次の項目について、将来を見ずえて、今気になるものをお答えください。（回答はい
必須 くつでも）

- 1. 食中毒
- 2. 農薬
- 3. 食品添加物
- 4. 輸入食品
- 5. 遺伝子組換え食品
- 6. 健康食品
- 7. 食品表示
- 8. 食物アレルギー
- 9. 放射性物質
- 10. 有害物質（有機水銀、カドミウム等）
- 11. 食品検査
- 12. 事業者、生産者の自主衛生管理、HACCP
- 13. 情報発信（マスコミや行政機関による情報等）
- 14. トレーサビリティ（製造や流通の履歴を記録し、問題発生時に速やかに追跡・回収などができる仕組み）
- 15. テイクアウト
- 16. フードデリバリーサービス（宅配事業）
- 17. 動物用医薬品
- 18. 家畜伝染病
- 19. シビエ（野生鳥獣食）
- 20. オーガニック（有機栽培）
- 21. プラントベース食品（大豆肉やオーツミルクなど）
- 22. 昆虫食
- 23. 培養肉（人工肉）
- 24. 食品ロス
- 25. 業務妨害（動画投稿等）
- 26. 容器包装プラスチック
- 27. その他
- 28. 特になし

次へ

Q3 食に関連することで、今気になることがあれば具体的に内容をお答えください。

次へ

食品の安全等に関する全般についてお伺いいたします

Q4 **必須** 食品の安全性について関心がありますか。（回答は1つだけ）

- 1. たいへん関心がある
- 2. ある程度関心がある
- 3. ほとんど関心がない
- 4. 全く関心がない

次へ

Q5 **必須** 最近の食品の安全性について、どのように感じていますか。（回答は1つだけ）

- 1. 安心
- 2. どちらかといえば安心
- 3. どちらかといえば不安
- 4. 不安
- 5. わからない（特に安心も不安も感じていない）

次へ

Q6
必須

食品の安全性の観点からお答えください。
(1)～(10)の項目について、どのように感じていますか。それぞれあてはまると思うものを1～5よりお選びください。

		1.	2.	3.	4.	5.
		安心	どちらかといえば安心	どちらかといえば不安	不安	わからない (特に安心も不安も感じていない)
(1).	食中毒 (ノロウイルス、O157等)	<input type="radio"/>				
(2).	残留農薬	<input type="radio"/>				
(3).	食品添加物 (着色料・甘味料・保存料等)	<input type="radio"/>				
(4).	輸入食品	<input type="radio"/>				
(5).	遺伝子組換え食品	<input type="radio"/>				
(6).	放射性物質	<input type="radio"/>				
(7).	健康食品	<input type="radio"/>				
(8).	重金属 (有機水銀、カドミウム等)	<input type="radio"/>				
(9).	食物アレルギー	<input type="radio"/>				
(10).	食品の偽装表示	<input type="radio"/>				
		1.	2.	3.	4.	5.
		安心	どちらかといえば安心	どちらかといえば不安	不安	わからない (特に安心も不安も感じていない)

次へ

Q7 前問で、「3.どちらかといえば不安」「4.不安」と回答された方にお聞きします。不安の理由をお答えください。（回答は2つまで）
必須 また、理由として「8.その他」を選択された方は、具体的な理由をお答えください。

- 1. 法律、条例などの規制が不十分だから
- 2. 行政の監視指導や食品検査が不十分だから
- 3. 生産者や事業者の法令遵守や衛生管理が不安だから
- 4. 食の安全に関する事件・事故が発生しているから
- 5. 食品の安全性に関する情報提供が不十分だから
- 6. 食品の安全性に関する科学的根拠に不安があるから
- 7. 食品の安全性に関する自分の知識が不足しているから
- 8. その他

次へ

Q8 事業者（生産者・食品事業者）が行っている取組について、信頼できると思いますか。（回答は1つだけ）
必須

- 1. 信頼できる
- 2. ある程度信頼できる
- 3. どちらともいえない
- 4. あまり信頼できない
- 5. 信頼できない
- 6. 情報がなくてわからない

次へ

Q9 必須 食の安全に関する信頼を高めるため、事業者（生産者、食品事業者）はどのようなことに取り組むべきだと思いますか。（回答はいくつでも）

- 1. 法令などの遵守
- 2. 農薬や食品添加物などの適正使用
- 3. 原産地や期限表示などの適正表示
- 4. 検査などの自主衛生管理
- 5. 食品の安全性に関する従業員教育
- 6. 客観的な第三者機関による認証取得
- 7. 業界内での情報共有や協力体制の構築
- 8. 食品事故等の際の速やかな情報提供
- 9. 消費者からの相談窓口の充実
- 10. 消費者との交流事業の実施
- 11. 食品の品質と安全に関する情報の積極的な発信
- 12. その他

次へ

Q10
必須

食に関することで、現在どのようなことを実践していますか。（回答はいくつでも）

- 1. 家庭における日常の衛生管理（手洗い、食品の適切な取扱いなど）を徹底している
- 2. 食品表示を理解し、確認をしている
- 3. 食べ残しや食品の廃棄の削減に取り組んでいる
- 4. 食品と健康の関係を理解した食事をやっている
- 5. 食の安全・安心に関心を持ち、知識を得るよう努めている
- 6. 食に関する講演会、意見交換会等に参加している
- 7. 生産者・事業者との交流・話し合いの場に参加している
- 8. 食に関する意見を行政・事業者・生産者へ意見を伝えている。
- 9. 食の安全・安心に積極的に取り組んでいる事業者・生産者から商品を購入している
- 10. 食の安全・安心に関する知識や情報を持つ人が地域や職場で情報を伝えている
- 11. 地域や職場で食の安全・安心への関心が高まるよう活動している（出前講座の開催等）
- 12. その他
- 13. 特になし

次へ

Q11 食に関することで、**消費者**はどのようなことに取り組むべきだと思いますか。（回答はいくつでも）
必須

- 1. 家庭における日常の衛生管理（手洗い、食品の適切な取扱いなど）を徹底する
- 2. 食品表示を理解し、確認する
- 3. 食べ残しや食品の廃棄の削減する
- 4. 食品と健康の関係を理解した食事を行う
- 5. 食の安全・安心に関心を持ち、知識を得るように努める
- 6. 食に関する講演会、意見交換会等に参加する
- 7. 生産者・事業者との交流・話し合いの場に参加する
- 8. 食に関する意見を行政・事業者・生産者へ伝える
- 9. 食の安全・安心に積極的に取り組んでいる事業者・生産者から商品を購入する
- 10. 食の安全・安心に関する知識や情報を持つ人が地域や職場で情報を伝える
- 11. 地域や職場で食の安全・安心への関心が高まるよう活動する（出前講座の開催等）
- 12. その他

次へ

Q12 食の安全に関して、**行政**はどのようなことに取り組むべきだと思いますか。（回答はいくつでも）
必須

- 1. 食品の事業者（生産者、加工者、流通業者、製造業者）による自主的な衛生管理・食品表示の適正化の推進
- 2. 食品の事業者における自主的な衛生管理・食品表示の適正化を担う人材の育成
- 3. 食品事業者への衛生管理指導・食品表示指導の充実・強化
- 4. 食品事業者を指導する人材の育成
- 5. 食品安全検査の充実・強化
- 6. 輸入食品安全対策の推進
- 7. 食物アレルギー対策の推進
- 8. 食の安全に関するホームページやSNSによる情報発信
- 9. 食の安全に関する講習会の開催
- 10. 消費者・生産者・食品営業者・行政等の相互理解の促進
- 11. 危機管理体制の充実
- 12. その他

次へ

Q13-1 「生鮮食品」を購入する時、どのようなことを重視しますか。(回答はいくつでも)
必須

- 1. 鮮度
- 2. 品質
- 3. 重量
- 4. パッケージ
- 5. 品種、ブランド
- 6. 価格
- 7. 生産地
- 8. 国産品か輸入品か
- 9. 生産者情報
- 10. 販売者のイメージ
- 11. 農業使用の有無
- 12. 栄養成分
- 13. 自身や家族の健康
- 14. マスコミ情報（評判）
- 15. その他
- 16. 生鮮食品は購入しない

次へ

Q13-2
必須

「加工食品」を購入する時、どのようなことを重視しますか。（回答はいくつでも）

- 1. 期限
- 2. 品質
- 3. 内容量
- 4. パッケージ
- 5. ブランド
- 6. 価格
- 7. 原料原産地(加工食品の原材料の生産国。例えば、きゅうりの漬物の場合、きゅうりの生産国)
- 8. 原産国(加工食品を最終的に加工した国。例えば、きゅうりの漬物の場合、漬物を製造した国)
- 9. 製造者のイメージ
- 10. 販売者のイメージ
- 11. 添加物の有無
- 12. 栄養成分
- 13. 自身や家族の健康
- 14. マスコミ情報（評判）
- 15. その他
- 16. 加工食品は購入しない

次へ

食中毒についてお伺いいたします

Q14 食中毒を防ぐためには、食中毒菌を「つけない」・「ふやさない」・「やっつける」ことが重要です。これを「食中毒予防の3原則」といいます。
必須 食中毒にならないようにするための「食中毒予防の3原則」を知っていましたか。（回答は1つだけ）

- 1. よく知っていた
- 2. ある程度知っていた
- 3. あまり知らなかった
- 4. 全く知らなかった

次へ

Q15 ふだん、食中毒を予防するために、どのようなことを行っていますか。（回答はいくつでも）
必須

- 1. 肉・魚はなるべく新鮮なものを選び、期限表示を確認する
- 2. 傷みやすい食品は、早めに冷蔵庫・冷凍庫に保存する
- 3. 冷蔵庫は容量の7割を目安に詰めすぎない
- 4. 冷蔵庫・冷凍庫の温度管理に注意する
- 5. 調理する前や生ものを触った後は、石けんと流水で手をよく洗う
- 6. 包丁やまな板などの調理器具は、よく洗ってから消毒する
- 7. 調理するときはしっかり加熱する
- 8. 肉類は生や半生で食べない
- 9. 調理した食品は、できるだけ早めに食べる
- 10. 弁当などは必ず当日に調理し、暑いところに放置しない
- 11. 時間がたちすぎていたり、少しでもあやしいと思った食品は、思い切って捨てる
- 12. その他
- 13. 特になし

次へ

農薬についてお伺いたします

Q16 **必須** 農薬取締法により、農薬は、使用できる作物や使用できる時期・量など、決められた使用基準のとおりを使用すれば、安全である仕組み（農薬の登録制度）になっています。
この安全である仕組み（農薬の登録制度）について知っていましたか。（回答は1つだけ）

- 1. よく知っていた
- 2. ある程度知っていた
- 3. あまり知らなかった
- 4. 全く知らなかった

次へ

Q17 **必須** 農産物への農薬の使用について、どのように考えますか。（回答は1つだけ）

- 1. 使用基準に基づいて適正に使用されていれば、問題ない
- 2. 農産物を安定的に収穫するため、使用はやむを得ない
- 3. 基準を守るだけでなく、使用はなるべく少なくするようにしてほしい
- 4. 虫食い等があってもよいので、一切使用しないでほしい
- 5. 気にしていない
- 6. わからない

次へ

食品添加物についてお伺いいたします

Q18 必須 食品添加物の使用について、どのように考えますか。(回答は1つだけ)

- 1. 使用基準に基づいて適正に使用されていれば、問題ない
- 2. 食品の保存性や品質の向上、見た目を整えるなど、食生活の利便性を考えると、使用はやむを得ない
- 3. 基準を守るだけでなく、使用はなるべく少なくするようにしてほしい
- 4. 食品の保存性や品質が低下しても、一切使用しないほしい
- 5. 気にしていない
- 6. わからない

次へ

食物アレルギーについてお伺いいたします

Q19 必須 食物アレルギーの症状には、かゆみや息苦しさ、吐き気、おう吐など様々な症状があることを知っていましたか。(回答は1つだけ)

- 1. よく知っていた
- 2. ある程度知っていた
- 3. あまり知らなかった
- 4. ほとんど知らなかった

次へ

Q20 必須 家族以外の子どもに食べものを提供する際、食物アレルギーの有無を確認していますか。(回答は1つだけ)

- 1. よく確認している
- 2. ある程度確認している
- 3. あまり確認していない
- 4. ほとんど確認していない
- 5. 子どもに食べものを提供する機会はない

次へ

食品表示についてお伺いいたします

Q21 必須 食品を購入する時、(1)～(12)の表示について、どのくらい見るようにしていますか。それぞれあてはまるものを1～5よりお答えください。

		1.	2.	3.	4.	5.
		必ず見る	ほとんど見る	とまど非見る	ほとんど見ない	全く見ない
(1).	原材料	<input type="radio"/>				
(2).	食品添加物	<input type="radio"/>				
(3).	期限（消費期限・賞味期限）	<input type="radio"/>				
(4).	保存方法	<input type="radio"/>				
(5).	使用方法（生食用、加熱用など）	<input type="radio"/>				
(6).	栄養成分等	<input type="radio"/>				
(7).	製造者・販売者・輸入者	<input type="radio"/>				
(8).	原産地・原産国・原料原産地	<input type="radio"/>				
(9).	遺伝子組換え食品の表示	<input type="radio"/>				
(10).	アレルギー表示（アレルゲン）	<input type="radio"/>				
(11).	保健機能の表示※【特定保健用食品（トクホ）、栄養機能食品、機能性表示食品】	<input type="radio"/>				
(12).	有機栽培などのマーク（有機JAS、特別栽培等）	<input type="radio"/>				
		1.	2.	3.	4.	5.
		必ず見る	ほとんど見る	とまど非見る	ほとんど見ない	全く見ない

次へ

Q22
必須

「消費期限」と「賞味期限」の意味と違いを理解していましたか。(回答は1つだけ)

- 1. よく理解していた
- 2. ある程度理解していた
- 3. あまり理解していなかった
- 4. ほとんど理解していなかった

(※)

消費期限と賞味期限の違いについては、以下をご確認ください。

群馬県HP : <https://www.pref.gunma.jp/uploaded/attachment/138443.pdf>

次へ

Q23
必須

エネルギー等の栄養成分表示について見方を知っていますか。(回答は1つだけ)

- 1. よく知っている
- 2. ある程度知っている
- 3. あまり知らない
- 4. ほとんど知らない

次へ

食の安全に関する情報についてお伺いいたします

Q24
必須

食の安全に関する情報を何から入手していますか。(回答はいくつでも)

- 1. テレビ
- 2. ラジオ
- 3. 新聞
- 4. 書籍・雑誌
- 5. 店舗や行政機関等の掲示物・配布物
- 6. インターネット
- 7. YouTube (ユーチューブ)
- 8. Facebook (フェイスブック)
- 9. X (旧Twitter (旧ツイッター))
- 10. Instagram (インスタグラム)
- 11. TikTok (ティックトック)
- 12. LINE (ライン)
- 13. 講演会・セミナー
- 14. 家族や友人・知人
- 15. その他
- 16. 特になし

次へ

Q25 群馬県では、県ホームページのほか、情報紙やSNS等を使って食の安全に関する情報を発信して
必須 います。以下の情報をご覧になったことはありますか。（回答はいくつでも）

- 1. 「ぐんま食の安全・安心ポータルサイト」（群馬県ホームページ）
- 2. 群馬県公式X（旧Twitter）
- 3. 群馬県公式YouTube（tsulunos（ツルノス））
- 4. Facebook「ぐんま食の安全情報」
- 5. X（旧Twitter）「ぐんま食の安全情報」
- 6. LINE「ぐんま食の安全情報」（群馬県デジタル窓口）
- 7. 情報紙「ぐんま食の安全情報」
- 8. 情報紙「ぐんま知っ得食品表示」
- 9. 講演会・出前講座等
- 10. 特になし

次へ

Q26 食品の安全性について理解を深める方法として、どのような手段が有効だと思いますか。（回答必須 はいくつでも）

- 1. 専門の講師による講演会・セミナー
- 2. 消費者と事業者の意見交換会
- 3. 農場、工場など食の見学・現場体験
- 4. 広報紙、チラシなど、紙面による情報提供
- 5. ホームページなどによる情報提供
- 6. YouTubeによる情報提供（動画、ショート動画配信）
- 7. Facebookによる情報提供（文章、画像等配信）
- 8. X（旧Twitter）による情報提供（短文、画像等配信）
- 9. Instagramによる情報提供（写真、ストーリー等配信）
- 10. TikTokによる情報提供（ショート動画配信）
- 11. LINEによる情報提供（短文、画像等配信）
- 12. 出前講座（担当職員が出張して解説）
- 13. 電話・メールなどによる相談対応
- 14. その他

次へ

Q27
必須

食品の安全性について、どんな情報を知りたいと思いますか。（回答はいくつでも）

- 1. 食中毒
- 2. 農薬
- 3. 食品添加物
- 4. 輸入食品
- 5. 遺伝子組換え食品
- 6. 健康食品
- 7. 食品表示
- 8. 食物アレルギー
- 9. 放射性物質
- 10. 食べものと健康の関係
- 11. 正しい情報の選択・情報の読み解き方
- 12. その他

次へ

アンケートにご回答いただき、ありがとうございました。

【あなたご自身に関するアンケート】の獲得ポイント

〇〇ポイント

閉じる

JRA あなたの中に未来がある。
一財団法人 日本マーケティングリサーチ協会
正会員 No. 20158